

令和7年度
神奈川県保育士登録者アンケート
調査結果

令和8年2月
神奈川県子どもの笑顔応援プロジェクト
受託運営：株式会社シグマスタッフ

目次

I.	本調査の概要	3
1	本調査の目的	3
2	本調査の設計	4
3	回収結果	4
4	調査結果の見方	4
5	調査項目	5
II.	調査結果の概要	7
III.	調査結果詳細	10
	全員回答	10
	現任保育士（現在、保育士として就業中の方）回答	15
	潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）回答	24
	クロス集計	36
IV.	調査票	64

I. 本調査の概要

1 本調査の目的

本調査は、保育所等で就業中の保育士に対する就業継続及び潜在保育士の保育現場への就業促進に向けて、その課題の洗い出しや対応策の検討を目的に実施しました。

本調査の背景として、県内では積極的に保育所整備に取り組んでいますが、待機児童の解消にはいたっていません。保育ニーズが多様化し、今後も更なる保育サービスの充実が求められる中、保育サービスを担う保育士の確保は困難で、本県においても保育士不足の状況が続いています。

そこで、保育士確保のために、県内に約8万人いるとされている、保育士資格を持ちながら保育所等で就業されていない、いわゆる潜在保育士の方々に職場復帰してもらうための方策が喫緊の課題となっています。さらに、県内常勤保育士の離職率は10.0%と全国平均の7.4%より高いため、現在就業中の保育士が継続して保育現場で活躍してもらうための方策も併せて必要となっています。

こうしたことから、県では、本県に保育士登録をされている方を対象に、現在の就業状況、保育士として就業中の方には保育の仕事のやりがいや魅力、保育士として就業していない方には復帰の意向や復帰の際の条件等について質問し、保育士の実態及び意向を把握するためのアンケート調査を実施しました。

本調査結果を十分に活用し、保育士の確保・育成に重点的に取り組み、引き続き、保育の質の向上を図ってまいります。

2 本調査の設計

(1) 調査対象

令和4年度及び令和5年度の新規保育士登録者 9,583人

(2) 調査時期

令和7年8月

(3) 調査方法

B5はがき郵送配布・e-kanagawaのアンケート機能による回収

3 回収結果

送付数	回収数	回答率
9,583	742	7.74%

4 調査結果の見方

- 表、グラフ等に使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 回答率（％）の母数は、当該質問項目の回答者の総数であり、その数は「n」で示している。
- 回答率（％）については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までは表示している。（一部、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示）このため、その合計数値は必ずしも100%にはならない場合がある。

5 調査項目

(1) 全員を対象とした質問

調査項目	質問項目
①回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・年齢 ・在住市町村名
②保育士資格を取得した方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格の取得方法 ・保育士資格を取得した理由 ・幼稚園教諭免許の有無
③現在の就業状況	(選択肢回答)
④保育・子育て支援関係の情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供や案内を受け取る範囲 ・送付番号 ・電子メールアドレス

(2) 保育士として就業中の方を対象とした質問

調査項目	質問項目
①現在の就業先施設	<ul style="list-style-type: none"> ・施設種別 ・施設の所在地 ・雇用形態
②就職活動方法	(選択肢回答)
③保育の仕事のやりがいや魅力	(選択肢回答)
④保育士退職経験	<ul style="list-style-type: none"> ・中途退職経験の有無・回数 ・中途退職理由
⑤現在の職場の要改善点	(選択肢回答)
⑥保育士として働き続けるための知識技術	(選択肢回答)

(3) 現在、保育士として就業していない方を対象とした質問

調査項目	質問項目
①保育士として就業していない理由	(選択肢回答)
②保育士として就業していない期間	・約()年
③保育士の仕事を辞めた理由	(選択肢回答)
④今後保育士の仕事をするうえで不安な点	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の保育の知識や技術などの不足 ・家事との両立 ・育児との両立 ・介護との両立 ・家族の理解 ・収入 ・勤務時間 ・仕事の負担 ・体力の低下 ・保育の現場での人間関係 ・園児の保護者対応 ・その他
⑤神奈川県内で保育士の仕事をするについて	(選択肢回答)
⑥保育士として働く際の就職活動方法	(選択肢回答)
⑦保育士資格を生かして働く際に重視する点	(選択肢回答)
⑧保育士として仕事をする場合の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態 ・年収、時給 ・勤務時間 ・勤務日数 ・通勤時間 ・重視する条件
⑨今後保育士として仕事をしない理由	(選択肢回答)

II. 調査結果の概要

1. 全回答者の状況

(1) 回答者の属性について

回答者の性別は「女性」が9割以上であり、年齢は40代の回答者（約33%）が最も多かった。

(2) 保育士資格を取得した方法について

回答者の資格取得方法としては、「保育士試験合格者」が81.7%、「保育士養成校卒業」が18.4%という結果となった。令和4年度調査（以下、「前回調査」という。）時は、「保育士試験合格者」が48.1%であったが、今回調査では「保育士試験合格者」の割合が約34%増加している結果となった。

(3) 現在の就業状況について

回答者の約55.5%が「現在、保育士として働いている」と回答した。前回調査時の64.0%より同回答が約8.5%減少しており、「勤務体制」「処遇面」の不満等で離職された方が多かったと考えられる。

2. 現任保育士（現在、保育士として就業中の方）回答

(1) 現在の保育所等へ就職した際に就職活動方法について

回答者の就職活動方法については、「求人サイト」が130件（31.6%）と最も多く、次いで「友人等の紹介」が64件（15.5%）であった。利用しやすさから「求人サイト」を利用する人が多く、求人にあたっては有効と考えられる。

(2) 途中で保育士の仕事を退職した経験について

中途退職経験は「無」と75%が回答し、前回調査時と同様の結果であった。中途退職の理由は「職場の人間関係の問題」が最も多く、次いで「妊娠・出産のため」が多い結果となった。

(3) 現在の食職場に対して改善してほしいと思っていることについて

現在の職場に対する改善事項としては、「給与・賞与等の改善」が最も多く、次いで「職員数の増員」が多い結果となり、前回調査時から変化はなかった。

3. 潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）回答

(1) 保育士としての仕事を辞めた理由

仕事を辞めた理由は、「勤務体制の不満」が最も多く、次いで「処遇（賃金）面の不満」であった。今後は、保育士の処遇改善や職場環境づくり等の対策にさらに取り組む必要がある。

(2) 今後、保育士として仕事をする場合の不安な点について

「収入」、「仕事の負担」、「保育の職場での人間関係」、「勤務時間」、「体力の低下」及び「園児の保護者対応」において「特に不安」「不安」と回答する割合が高い結果となり、保育士復帰の不安要因となっている。前回調査時より「仕事の負担」、「勤務時間」「収入」において「不安」と回答する方が多くなった。

(3) 保育士として働く際の就職活動方法

現任保育士の現在の保育所等への就職した際の就職活動方法（2（1））と同様に、「求人サイト」が最も多く、求人にあたっては有効と考えられる。

(4) 保育士資格を活かして働く際に重視する点について

働く際に重視する点について、「職場の雰囲気」が最も多く、次いで「勤務体制」が多い結果となった。前回調査時は「収入」が最も多かったが、「職場の雰囲気」を重視する割合が増加した。

(5) 保育士として仕事をする場合の条件について

希望する勤務形態については「非常勤・パート」が約7割を占めており、希望時給額は「1,500～1,600円未満」が最も多い結果となった。希望日数は「週3日」が、希望する1日あたりの勤務時間数は「5時間」が最も多かった。

なお、正職員希望年収額は「301～400万円」が最も多く、次いで「401～500万円」が多い結果となった。

4. クロス集計

(1) 年代別と現在の就業状況

年代別の現在の就業状況において、「現在、保育士として働いている」と回答した割合が「20代」では71.9%であった一方、「30代」においては34.5%とどの世代よりも低い結果となった。「30代」は子育て中の方が多いと推測され、子育てと仕事の両立における課題がまだ多くあると考えられる。

(2) 現在保育士の仕事をしていない方の年代と保育士資格を活かして働くために重視する点

年代が上がるにつれて「収入」を重視する割合が低下している一方、「通勤条件」「勤務時間」「勤務体制」等の勤務条件の割合が上昇している傾向となった。仕事を始めて間もない20代では収入面を重視しているが、30代以降は、子育てとの両立、ワークライフバランス等の勤務条件を重視していると考えられる。

(3) 現在保育士の仕事をしていない方の年代と今後保育士として就業しない理由

30代、50代では「保育士以外の仕事をしたいため」と回答する割合が最も高かったが、20代、40代では「処遇（賃金）面が不十分」と回答する割合が最も高い結果となった。20代は働き始める年代であり、収入面を重視していると考えられる。

当項目からも、保育士の就職にあたって、給与面を重要視していることがみてとれ、賃金改善の重要性を示している。

Ⅲ. 調査結果の詳細

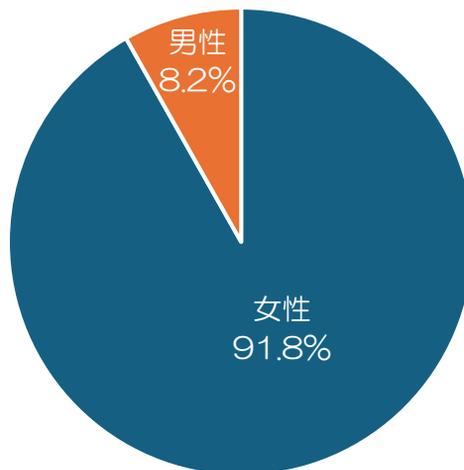
全員回答

1. 回答者の属性について

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が8.2%「女性」が91.8%であった。

【図1-1 性別】

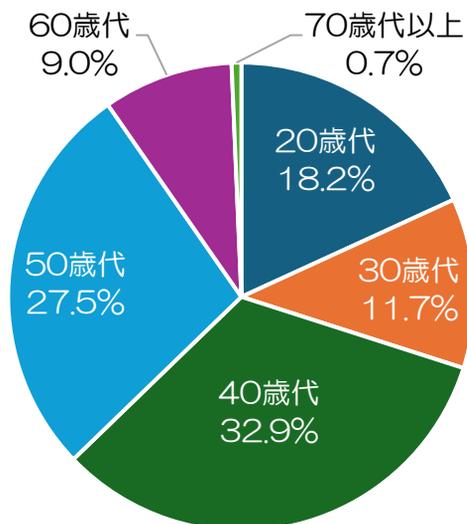


(n=742)

(2) 年齢

回答者の年齢は、40代の回答者が32.9%で一番多く、次いで50代が27.5%、20代が、18.2%の回答であった。

【図1-2 年齢】



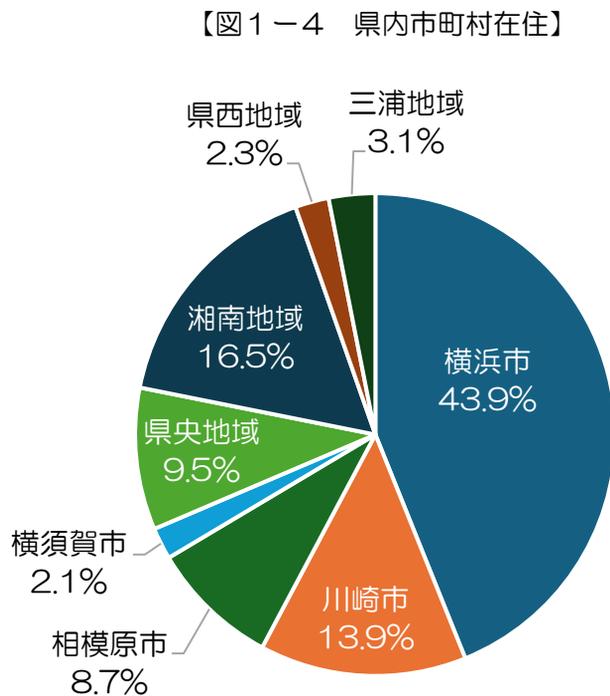
(n=742)

(3) 在住市町村

回答者のうち、神奈川県在住者は94.9%であった。県内の在住市町村は「横浜市」が43.9%と最も多く、次いで「川崎市」が13.9%であった。



(n=742)



(n=704)

【三浦地域】 鎌倉市/逗子市/三浦市/葉山町

【県央地域】 厚木市/大和市/海老名市/座間市/綾瀬市/愛川町/清川村

【湘南地域】 平塚市/藤沢市/茅ヶ崎市/秦野市/伊勢原市/寒川町/大磯町/二宮町

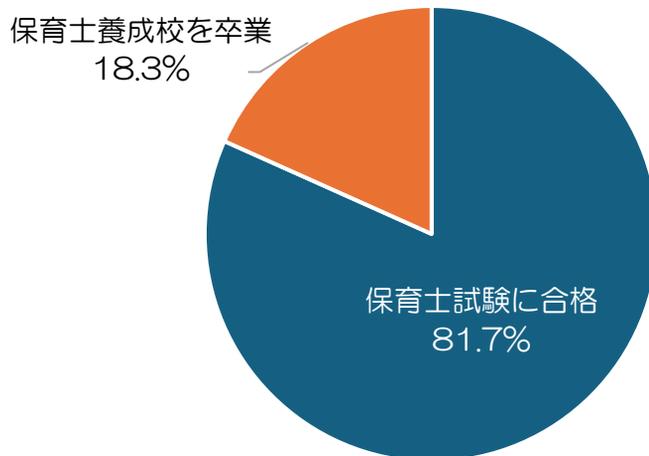
【県西地域】 小田原市/南足柄市/中井町/大井町/松田町/山北町/開成町/箱根町/真鶴町/湯河原町

1. 保育士資格を取得した方法について

(1) 保育士資格取得方法

「保育士試験合格」が81.7%、「保育士養成学校卒業」が18.3%と試験に合格し取得された方が多かった。

【図2-1 資格取得方法】

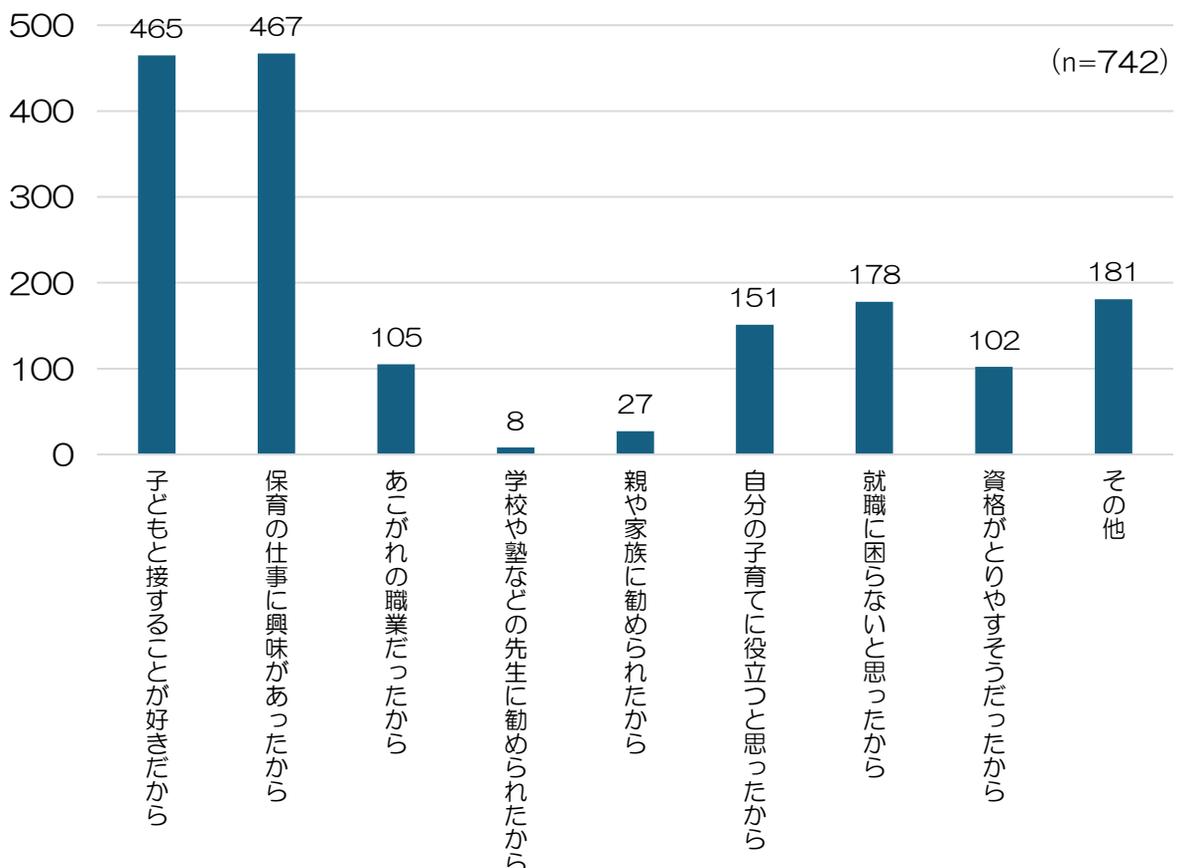


(n=742)

(2) 保育士資格取得理由 ※3つまで選択可

「保育の仕事に興味があったから」が467件と最も多く、次いで「子どもと接することが好きだから」が465件であった。

【図2-2 資格取得理由】



(n=742)

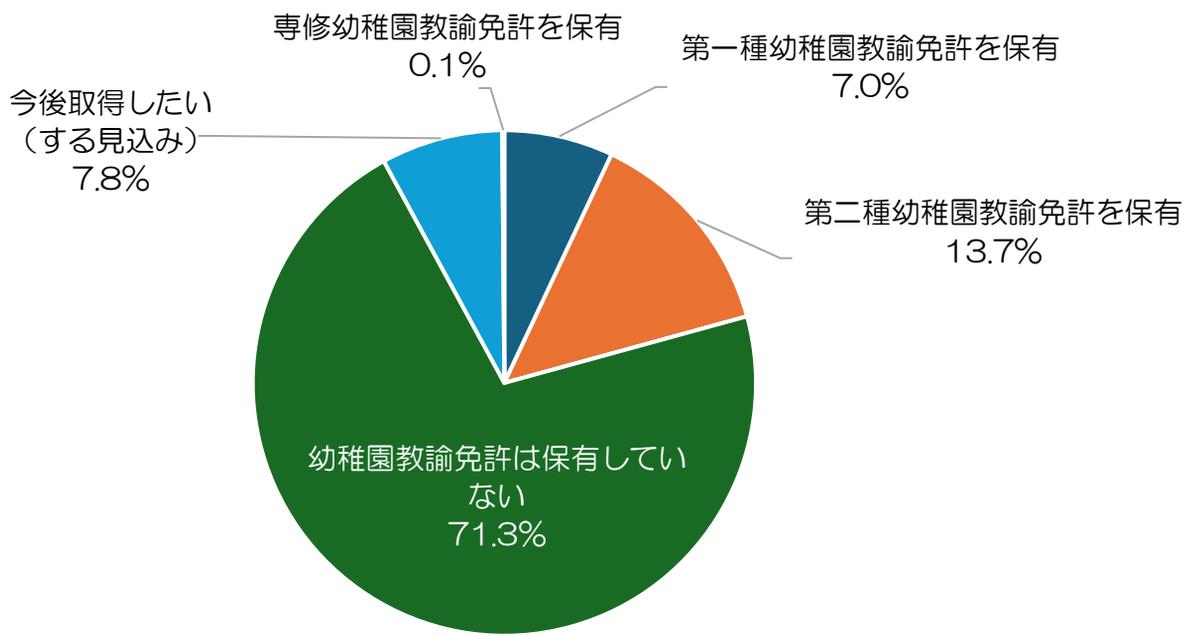
※「その他」の記載内容

- 今の仕事をする上で必要な知識を学べるため
- 社会活動に復帰したかったため
- 保育補助の仕事をしたから 等

(3) 幼稚園教諭免許保有状況

「幼稚園教諭免許」保有者が20.9%、保有していない者は79.1%であった。

【図2-3 幼稚園教諭免許保有状況】

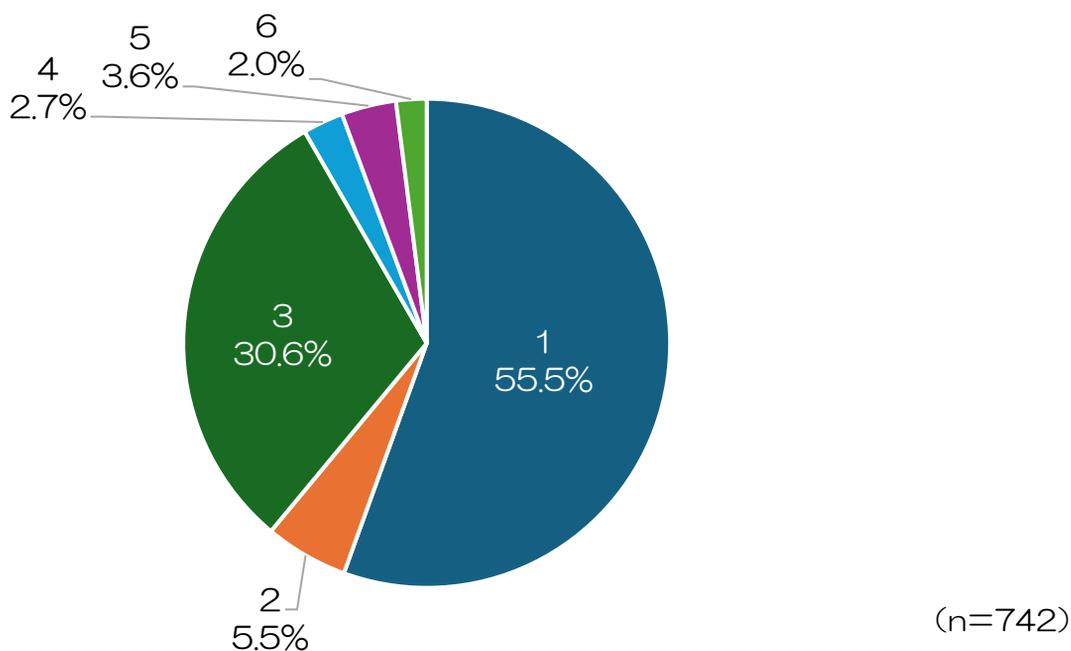


(n=742)

3. 現在の就業状況について

「現在、保育士として働いている」が55.5%と半数以上を占めており、次いで「現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない」が30.6%であった。

【図3 現在の就業状況】



- 1 現在、保育士として働いている
- 2 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 3 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 4 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 5 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
- 6 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない

現任保育士（現在、保育士として就業中の方） 回答

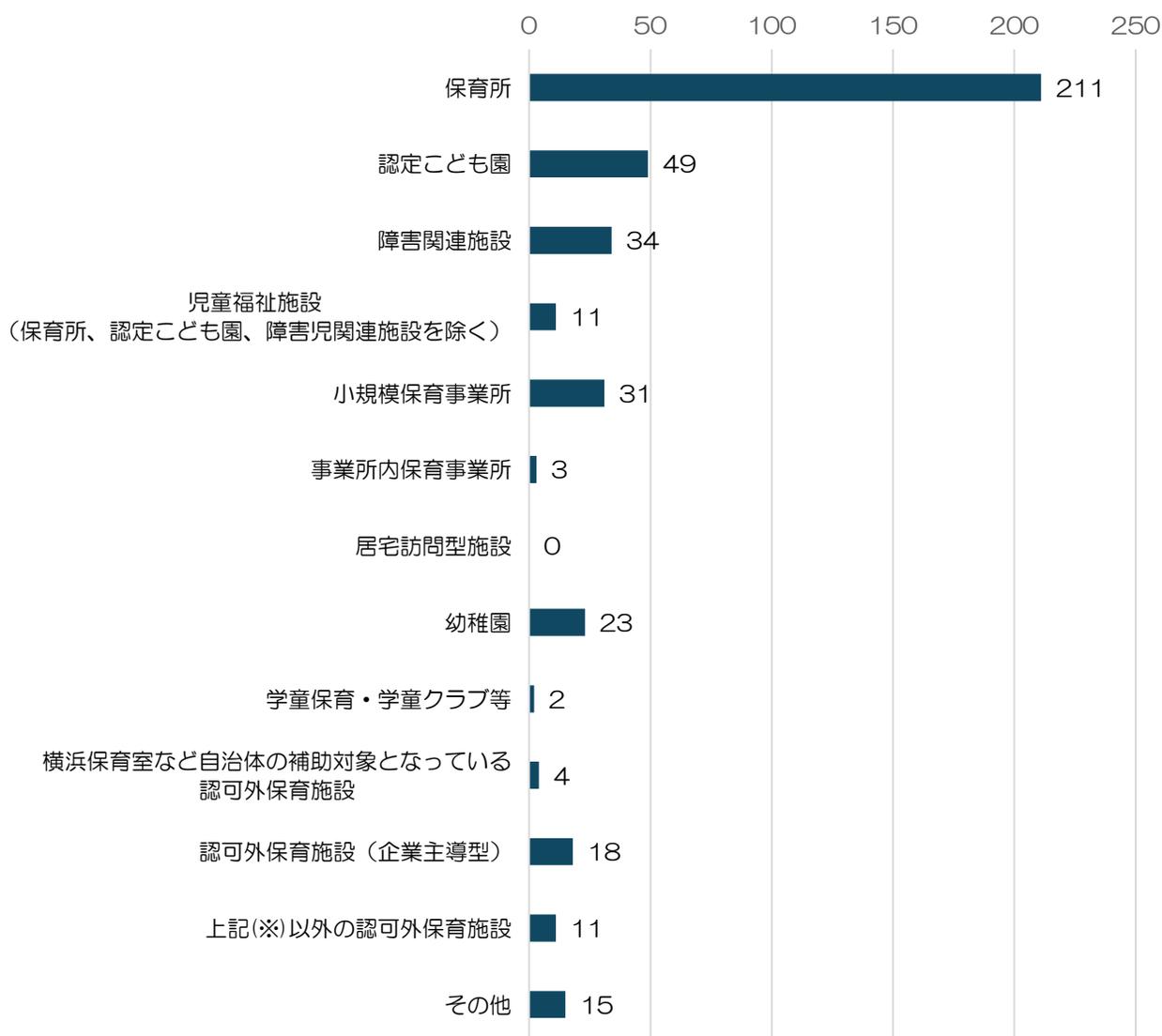
1. 現在の職業について

(1) 施設種別

「保育所」の勤務が211件と突出しており、次いで「認定こども園」の勤務が49件であった。

その他の中には保育所と認定こども園を掛けもちでアルバイトをしているとの回答もあった。

【図1-1 施設種別】



(n=412)

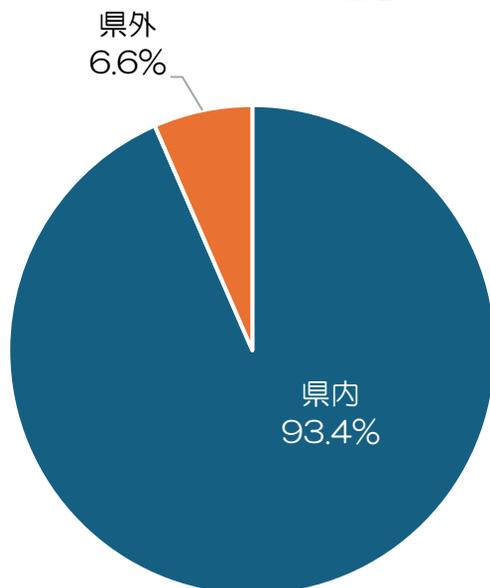
(※) 横浜保育室など自治体の補助対象となっている認可外保育施設、認可外保育施設（企業主導型）

(2) 勤務先の所在地について

勤務先は「県内」が93.4%を占め（図1-2）、その中でも「横浜市」が43.4%と約半数を占めている。（図1-3）

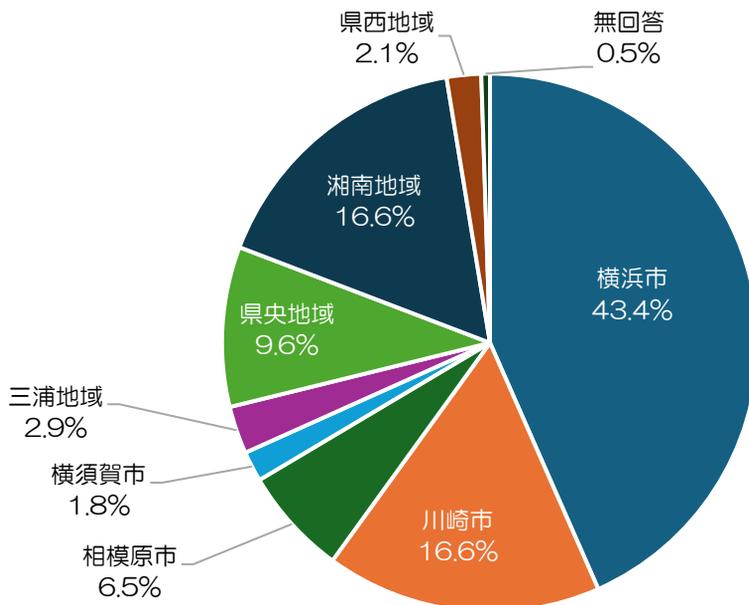
県外では、81.5%が「東京都」であった。（図1-4）

【図1-2 施設所在地】



(n=412)

【図1-3 県内施設所在】



(n=385)

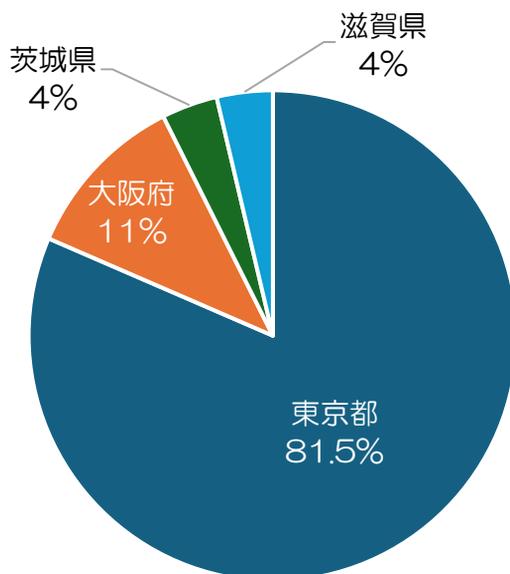
【三浦地域】 鎌倉市/逗子市/三浦市/葉山町

【県央地域】 厚木市/大和市/海老名市/座間市/綾瀬市/愛川町/清川村

【湘南地域】 平塚市/藤沢市/茅ヶ崎市/秦野市/伊勢原市/寒川町/大磯町/二宮町

【県西地域】 小田原市/南足柄市/中井町/大井町/松田町/山北町/開成町/箱根町/真鶴町/湯河原町

【図1-4 県外施設所在地】

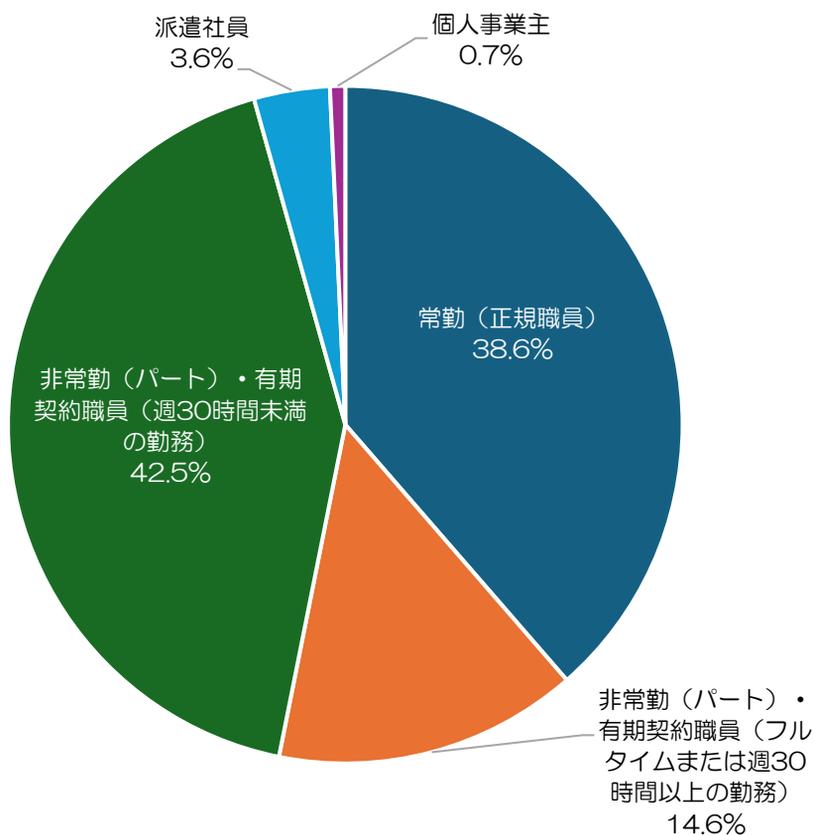


(n=27)

(3) 雇用形態について

「非常勤（パート）・有期契約職員（週30時間未満の勤務）」の割合が42.5%と最も多く、次いで「常勤（正規職員）」が38.6%であった。

【図1-5 雇用形態】

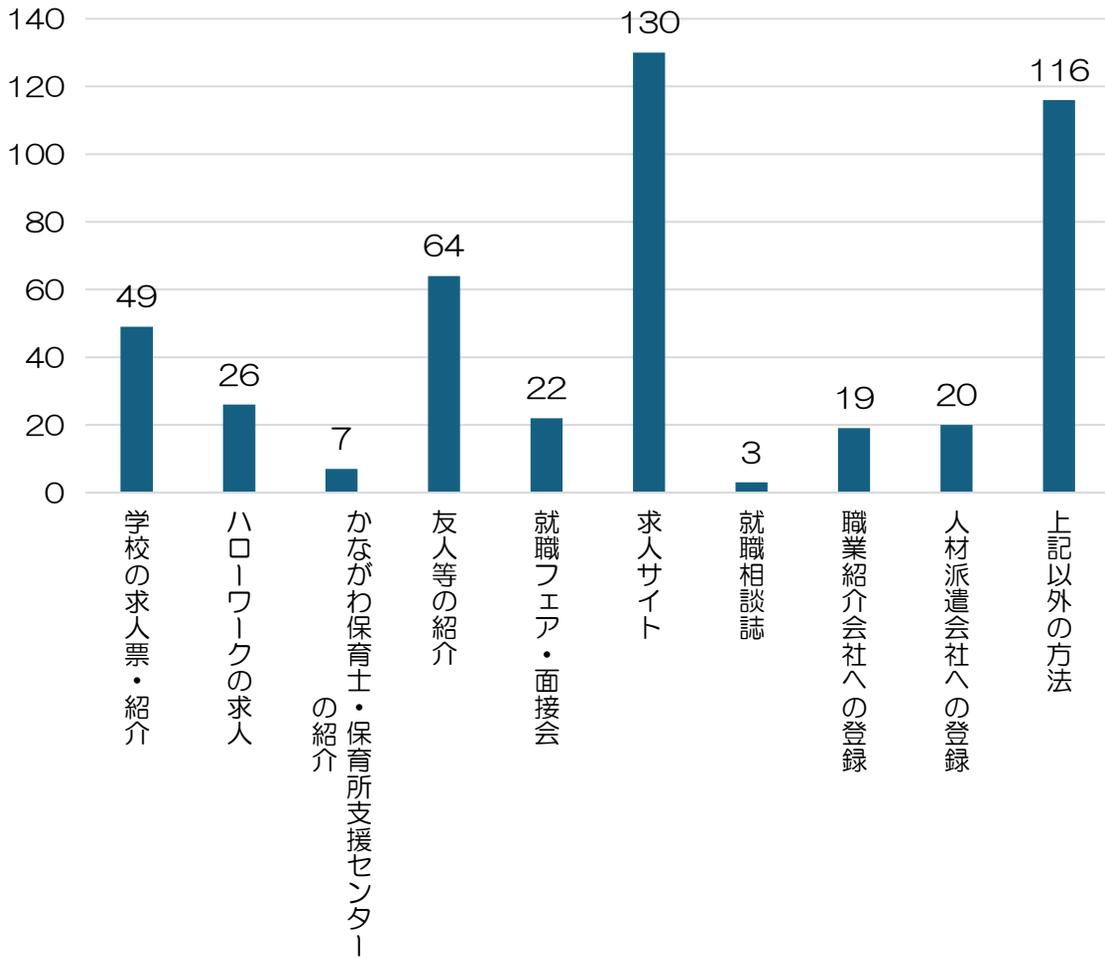


(n=412)

2. 現在の保育所等へ就職した際の就職活動方法について ※複数選択可

「求人サイト」が130件と最も多く、次いで「友人等の紹介」が64件であった。

【図2 就職活動方法】

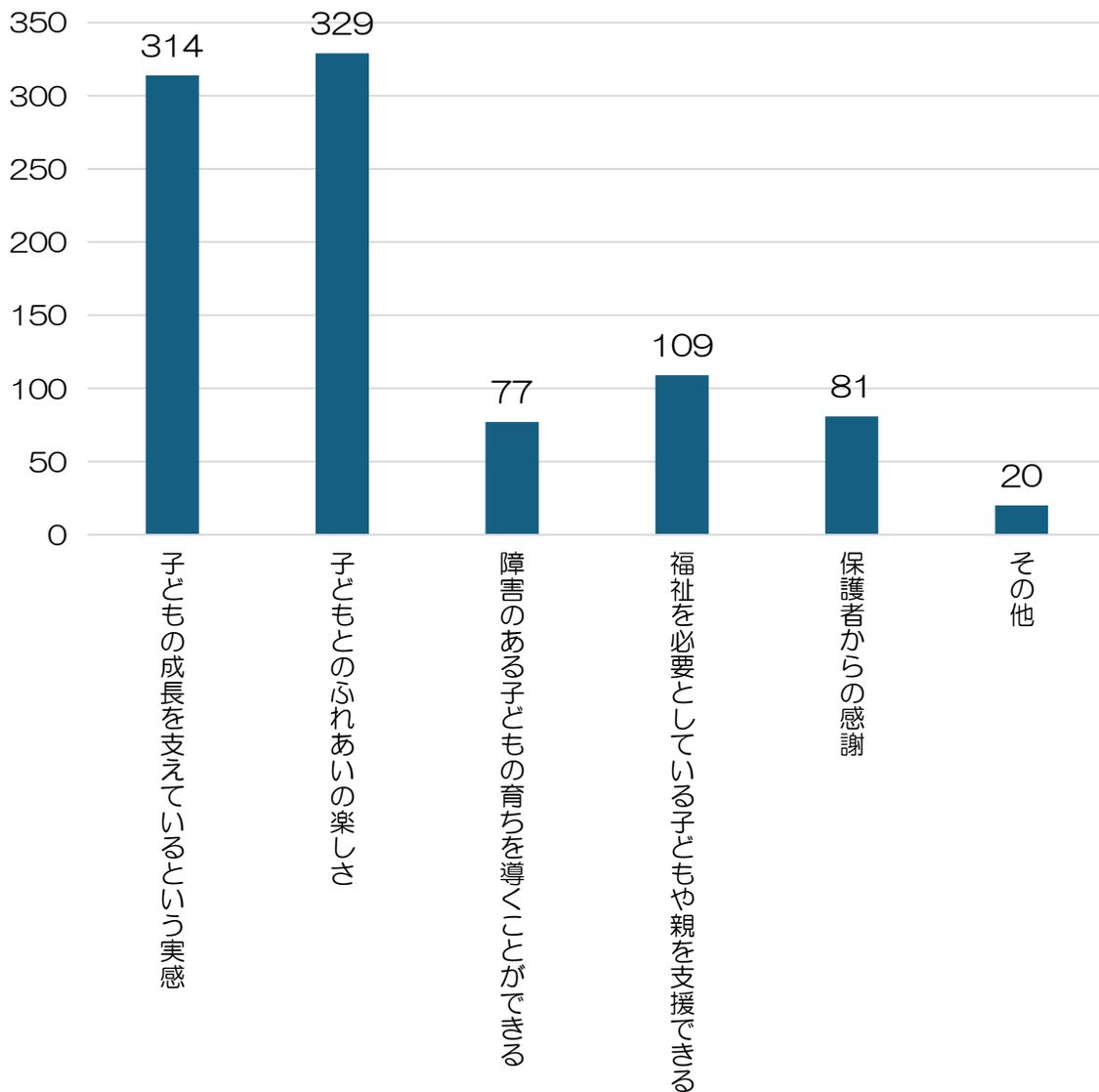


(n=412)

3. 保育の仕事のやりがいや魅力について ※複数選択可

「子どもとのふれあいの楽しさ」が329件と最も多く、次いで「子どもの成長を支えているという実感」が314件であった。

【図3 仕事のやりがいや魅力について】



(n=412)

※「その他」の記載内容

- 収入が上がった
- 少子化対策の一助けとして働ける喜びを感じる
- 英語を教えているので、子供たちが母国語以外を理解していき、コミュニケーションが取れるたのしさ
- 保護者支援、行政との連携 等

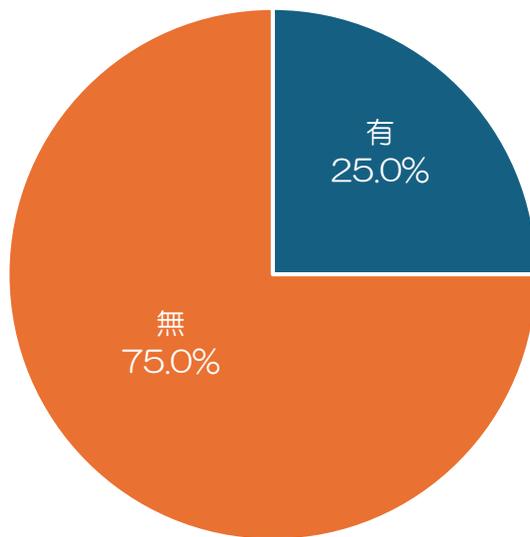
4. 途中で仕事を退職した経験について ※保育士以外の仕事を含む

(1) 途中退職の経験

中途退職の有無は「無」が75%であった。(図4-1)

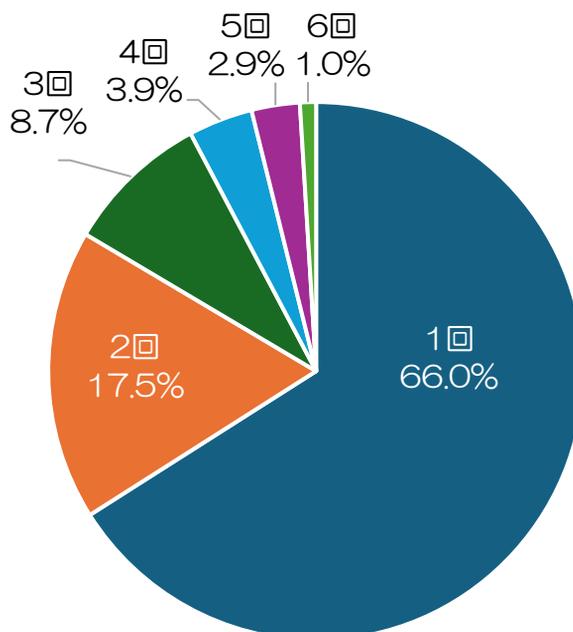
中途退職の経験のうち、66%が退職回数は「1回」と回答している。(図4-2)

【図4-1 途中退職経験】



(n=412)

【図4-2 退職回数】

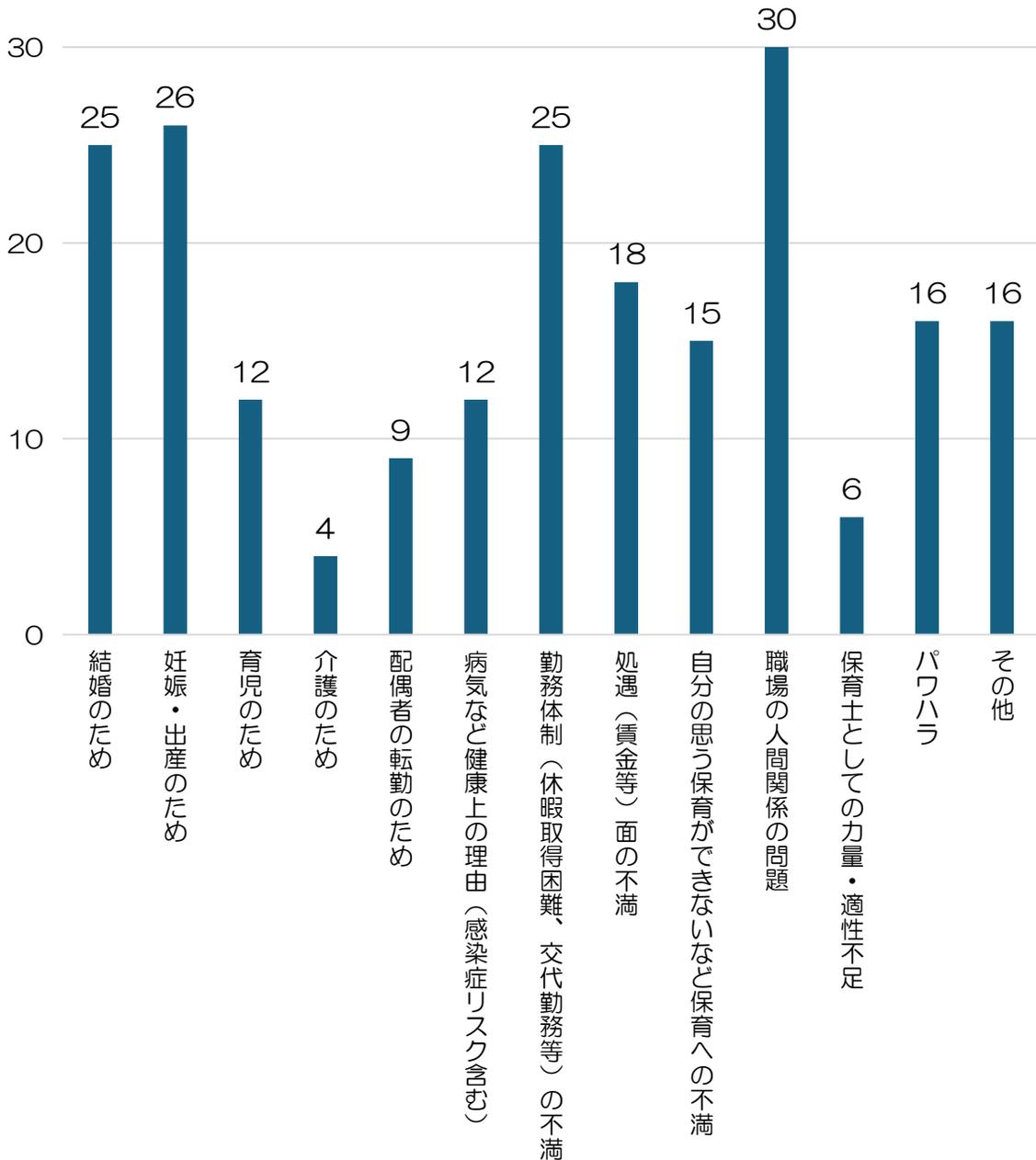


(n=412)

(2) 途中退職の理由 ※3つまで選択可

途中退職の理由は、「職場の人間関係の問題」が30件と最も多く、次いで「妊娠・出産のため」26件、「結婚のため」と「勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）の不满」がそれぞれ25件ずつであった。

【図4-3 途中退職理由】



(n=103)

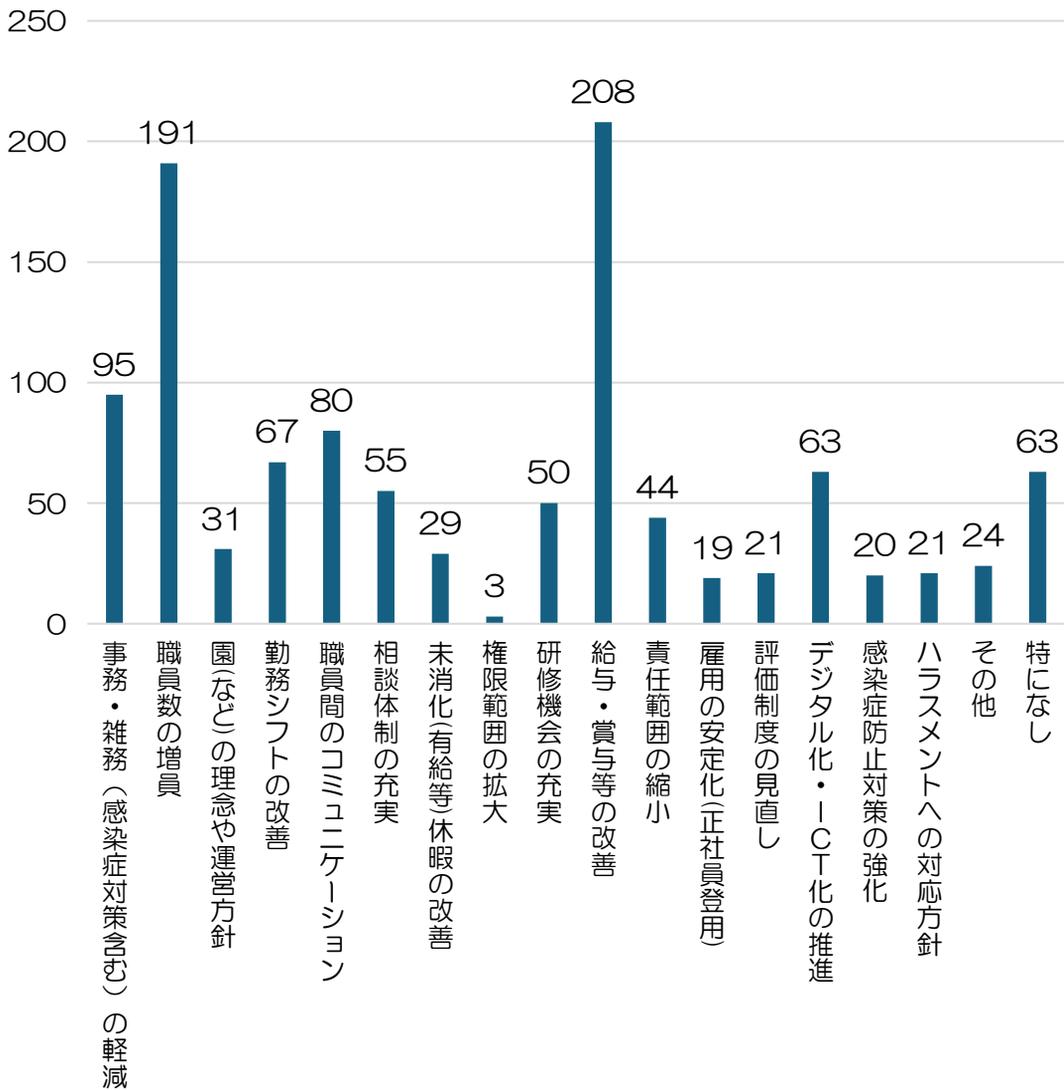
※「その他」の記載内容

- ・ 保育士以外の仕事に興味を持ったため
- ・ 子どもの利用人数減少により、大幅な勤務時間削減を余儀なくされたため
- ・ 異動になったため 等

5. 現在の職場に対して改善してほしいと思っていることについて ※複数選択可

「給与・賞与等の改善」が208件と最も多く、次いで「職員数の増員」が191件となった。

【図5 改善希望点】



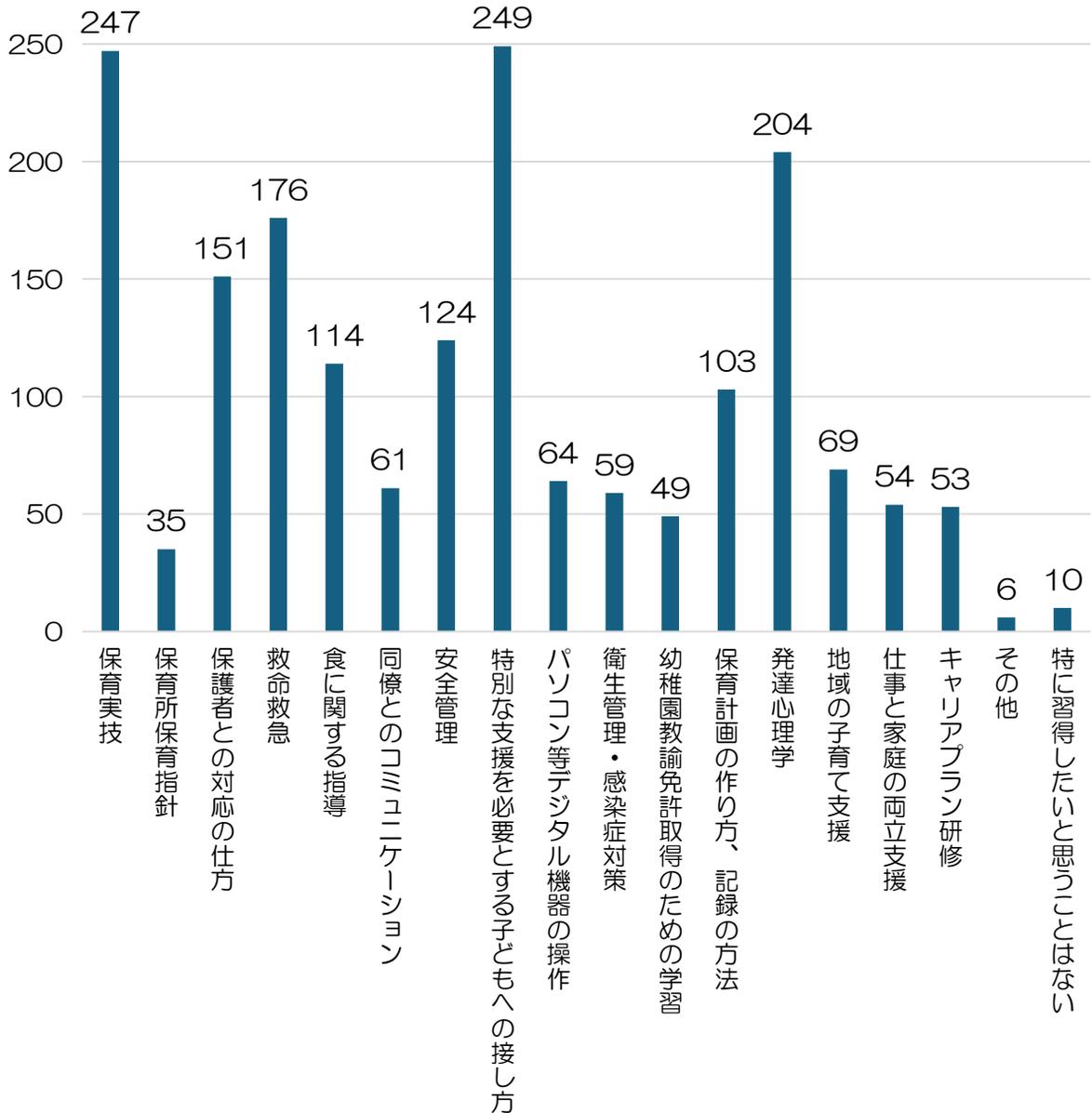
※「その他」の記載内容

- ・ 園内の設備
- ・ 複数の正規職員からのバラバラの指示
- ・ 処遇面（給料が低い、残業代がでない、休憩が取れない等）
- ・ 新人いじめ、子への差別・虐待
- ・ 正規職員でないと研修を受けさせてもらえない 等

6. 保育士として働くにあたり習得したい知識や技術について ※複数選択可

「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が249件と最も多く、次いで「保育実技」が247件となった。

【図6 習得したい知識】



(n=330)

※「その他」の記載内容

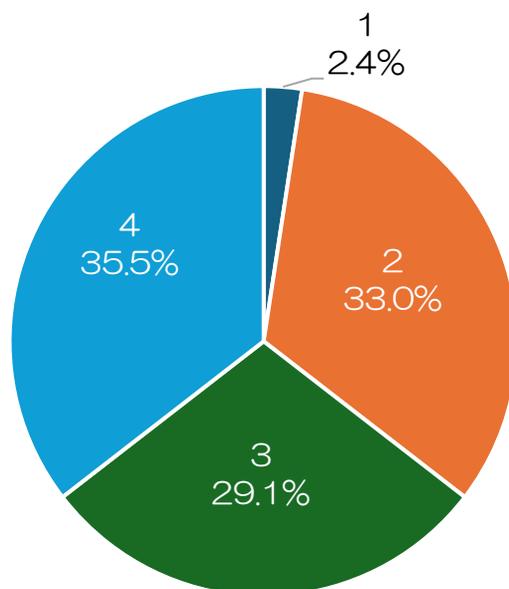
- ・ 発達障害グレーゾーンの子たちへのアプローチ
- ・ 重度心身障害児ケア
- ・ ワークライフバランス
- ・ 正規職員とパートの情報共有の取り方 等

潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）回答

1. 保育士として就業していない理由

「保育士としてすぐに働くつもりがないため」が33.0%、「保育士資格を活かして他職種で勤務しているため」が29.1%であった。

【図1 就業しない理由】



- 1 保育士として神奈川県内で就職活動中
- 2 保育士としてすぐに働くつもりがないため
- 3 保育士資格を活かして他職種で勤務しているため
- 4 その他

(n=330)

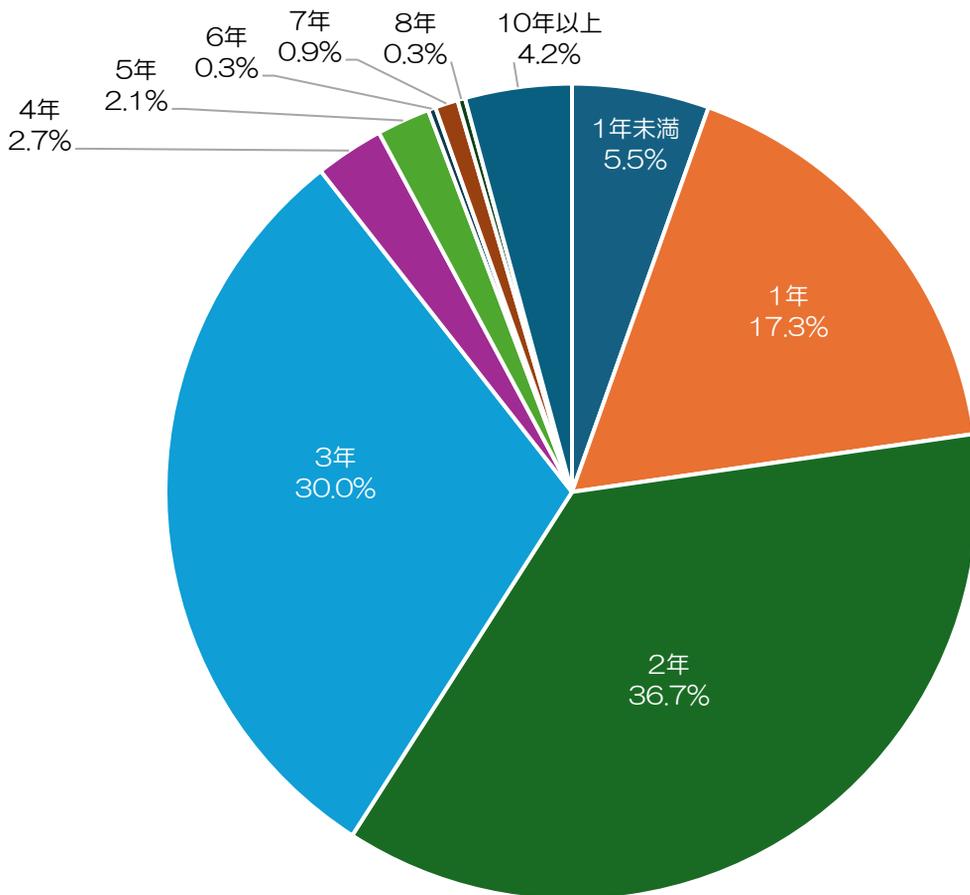
※回答4（その他）の記載内容

- ・ 働きたいと思っていたが給料が低すぎる
- ・ 幼稚園教諭として働いている
- ・ 責任の重さを感じたり閉鎖的なところが合わない
- ・ 保育士試験で資格を取得したが、実践に不安がある
- ・ 家庭と仕事の両立が難しい
- ・ 人間関係に不安を感じる
- ・ 幼稚園教諭として働いている 等

2. 保育士として仕事をしていない期間（ブランク）について

ブランク期間は、「2年」が36.7%と最も割合が高く、次いで「3年」、「1年」、「1年未満」となった。

【図2 ブランク期間】



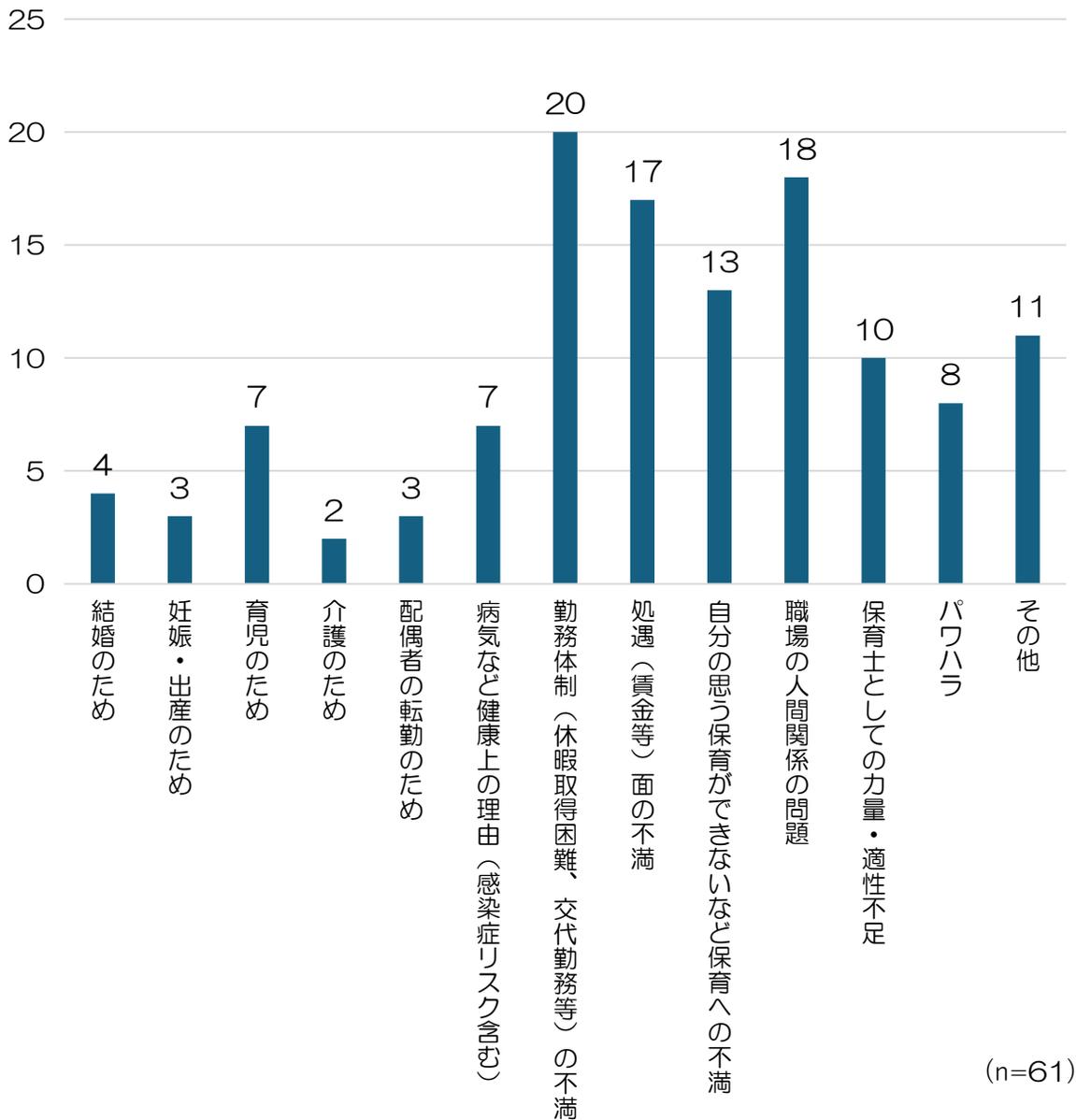
(n=330)

3. 保育士としての仕事を辞めた理由 ※3つまで選択可

※保育士として仕事の経験がある方のみ回答

「勤務体制（休暇取得困難、交代勤務制等）の不满」が20件と最も多く、次いで「職場の人間関係の問題」が18件となった。

【図3 仕事を辞めた理由】



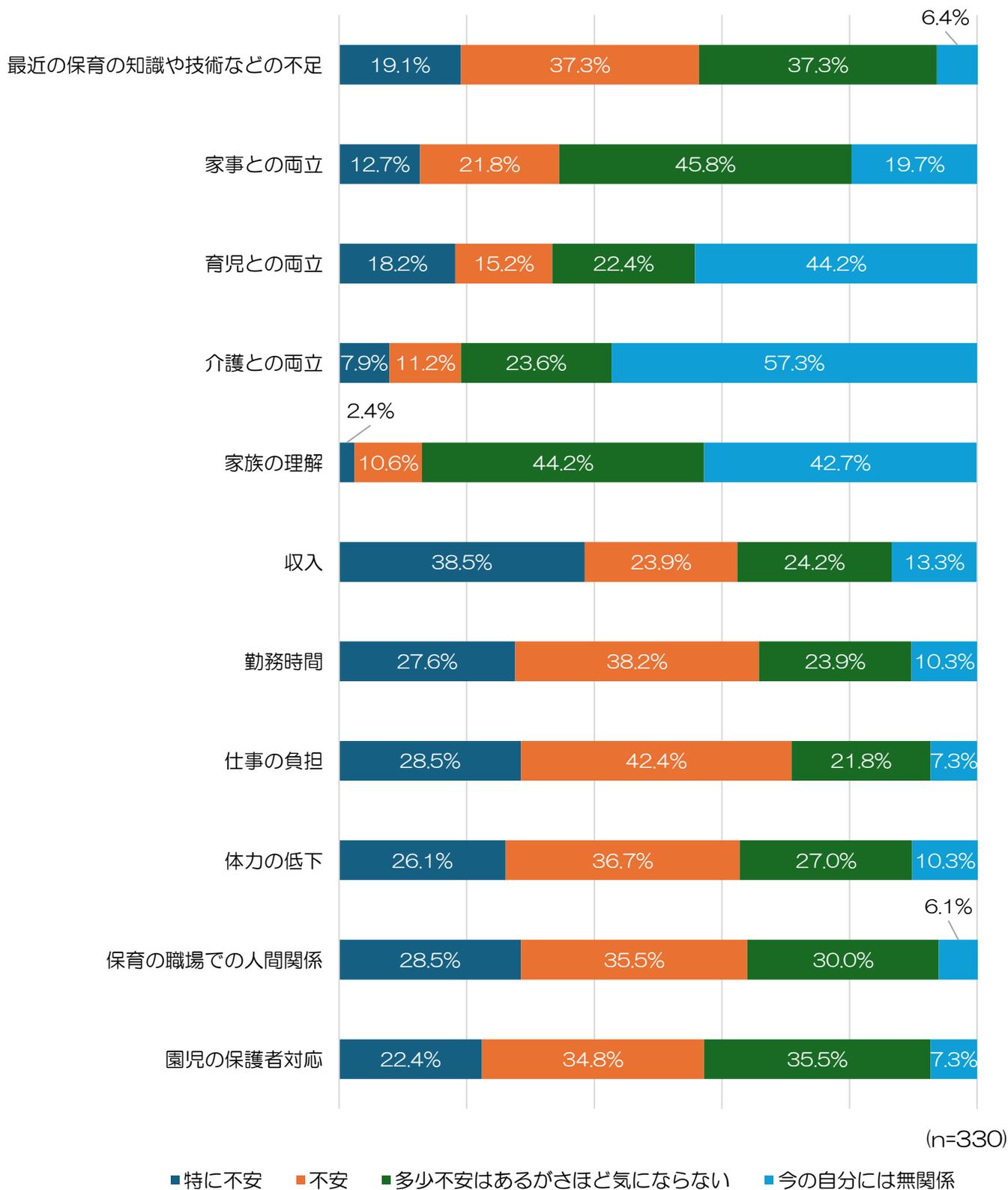
※「その他」の記載内容

- 引っ越しに伴い
- 新しい仕事に興味を持ったため
- 出産のため 等

4. 今後、保育士として仕事をする場合の不安な点について

「最近の保育の知識や技術などの不足」、「収入」、「勤務時間」、「仕事の負担」、「体力の低下」、「保育の現場での人間関係」及び「園児の保護者対応」について、「特に不安」「不安」の割合が高い結果となった。

【図4 不安な点】

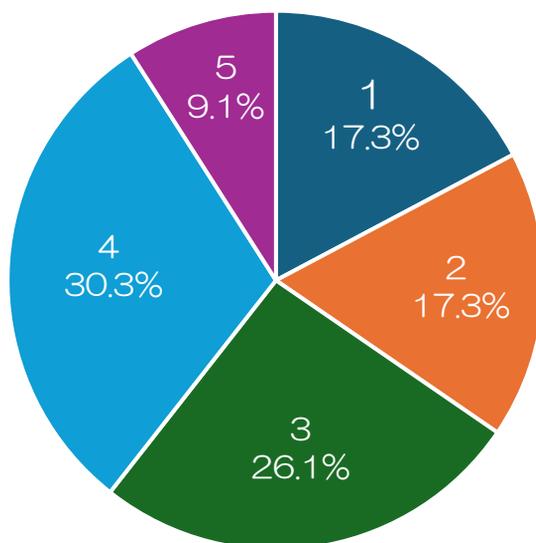


5. 神奈川県内で、保育士として仕事をする事について

「保育士として仕事をする事は当面考えられないと思う」割合が30.3%と最も多く、次いで「子育て、介護などが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」の割合が26.1%であった。

前回調査時より「保育士として仕事する事は当面考えられないと思う」と回答した割合が1.8%減少する結果となった。「条件が合うところがあればやってみたい」は8.6%減少したが、「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」は2.8%、「子育て、介護などが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」は9%増加する結果となった。

【図5 県内で保育士として仕事をする事について】



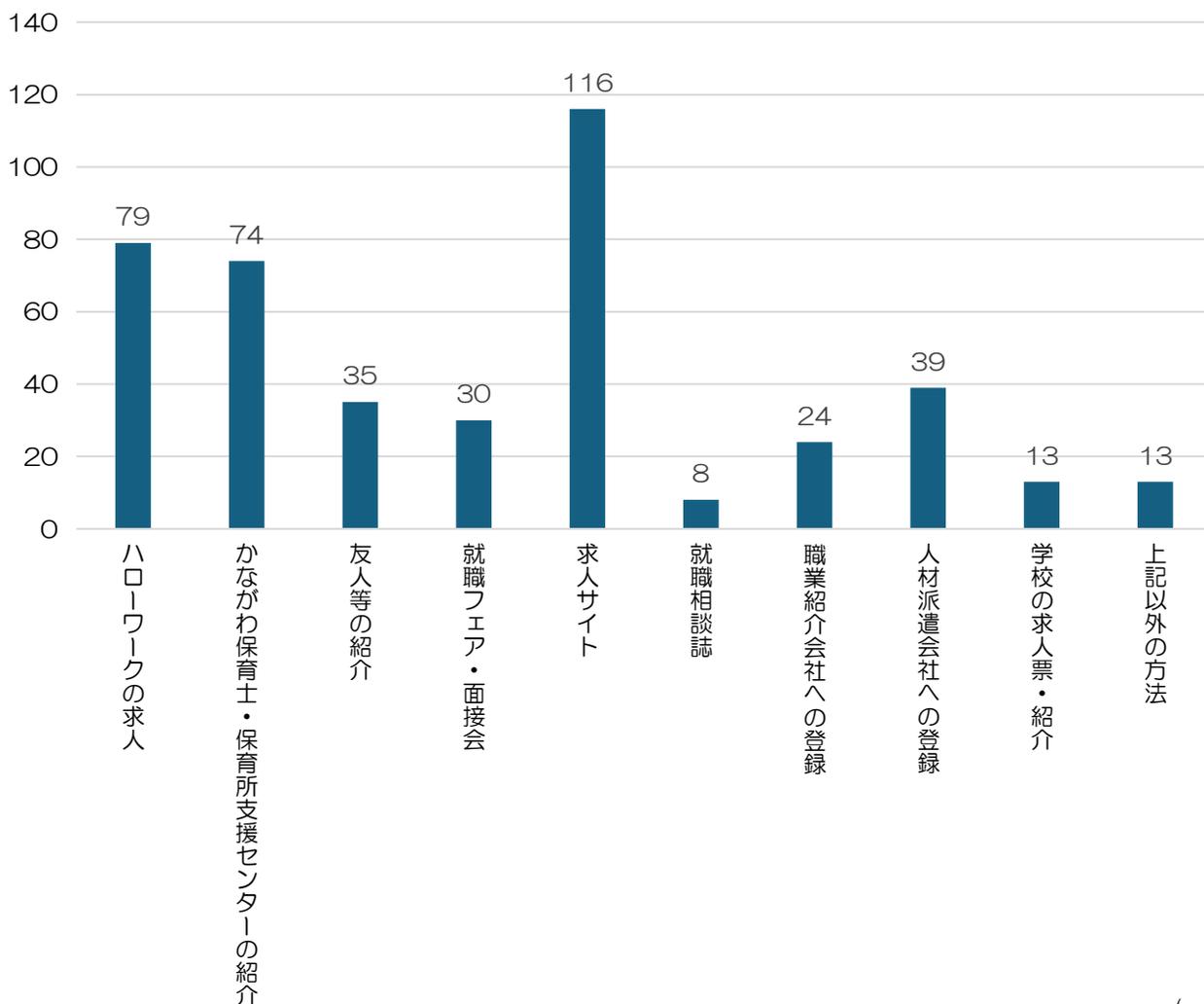
- 1 条件に合うところがあればやってみたいと思う
- 2 条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う
- 3 子育て、介護などが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う
- 4 保育士として仕事することは当面考えられないと思う
- 5 保育士としての仕事は今後することはないと思う

(n=330)

6. 保育士として働く際の就職活動方法について ※複数選択可

「求人サイト」が116件と最も多く、次いで「ハローワークの求人」が79件であった。

【図6 保育士として働く際の就職活動方法】

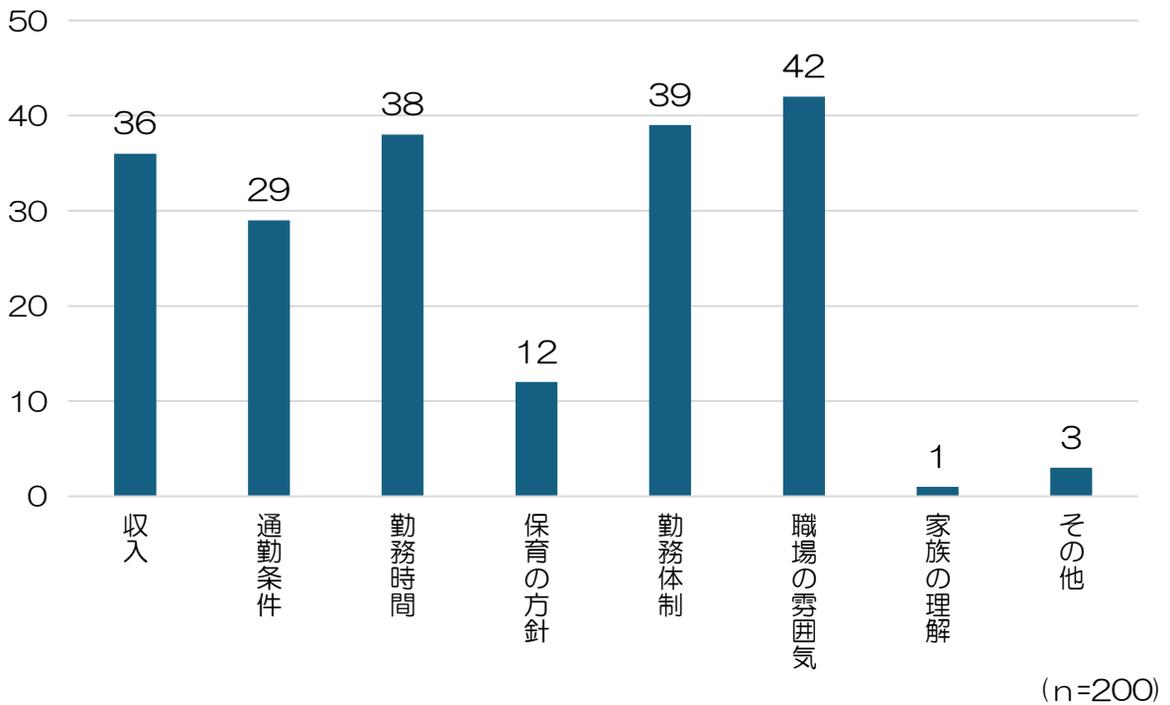


(n=200)

7. 保育士資格を活かして働く際に重視する点について

「職場の雰囲気」が42件と最も多く、次いで「勤務体制」が39件であった。

【図7 重視する点】



※「その他」の記載内容

- 髪色やネイルが自由なこと
- 保育士の考えが統一されているか
- 無回答

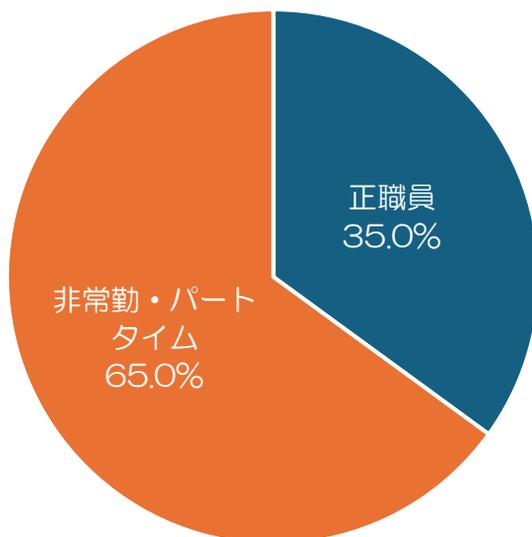
8. 保育士として仕事をする場合の条件について

(1) 勤務形態等について

ア 希望する勤務形態について

「非常勤・パートタイム」が65%、「正職員」が35%であった。

【図8-1 希望勤務形態】

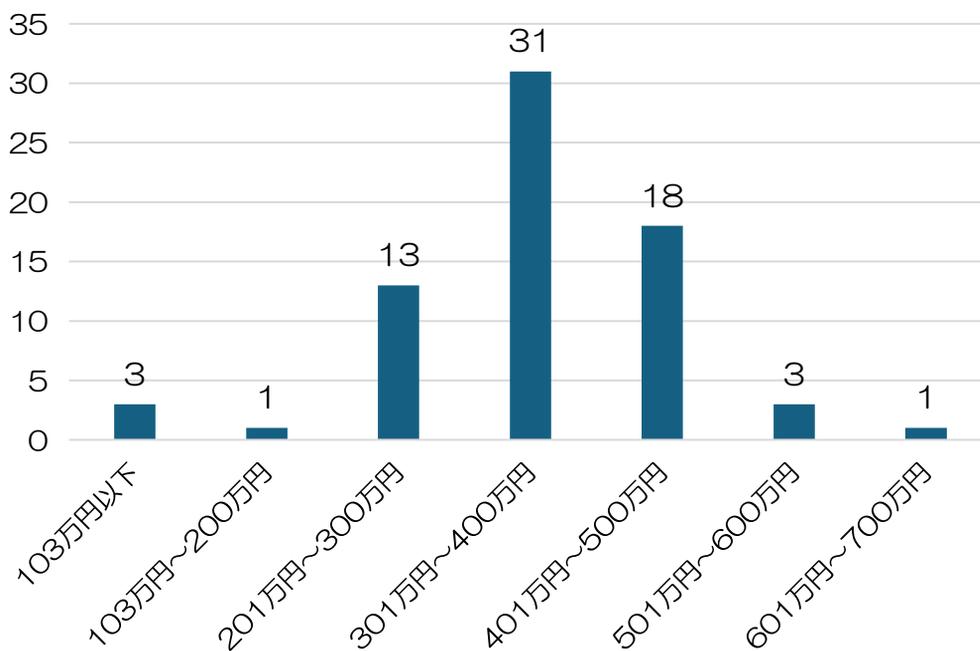


(n=200)

イ 正職員の場合、希望する年収について

前回同様「301万円～400万円」が31件と最も多く、次いで「401万円から500万円」が18件であった。前回調査時と同様の結果となった。

【図8-2 正規職員勤務での希望年収】

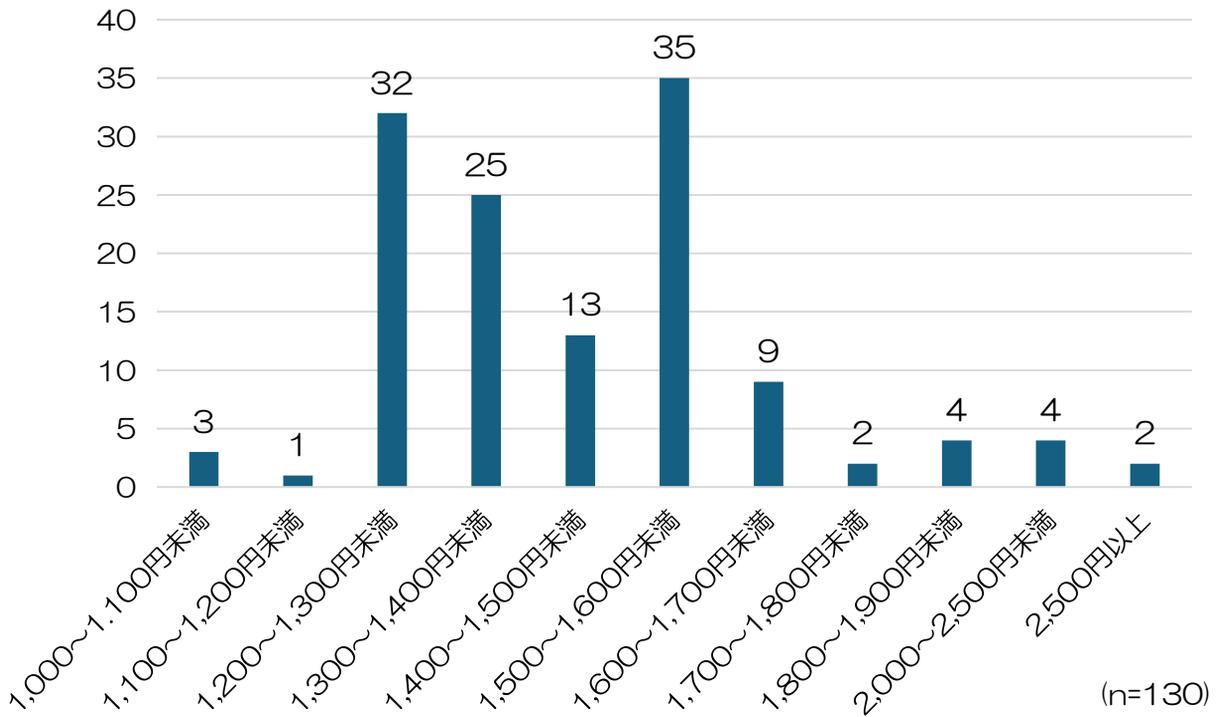


(n=70)

ウ 非常勤・パートの場合、希望する時給について

「1,500～1,600円未満」が35件と最も多く、次いで「1,200～1,300円未満」が32件であった。

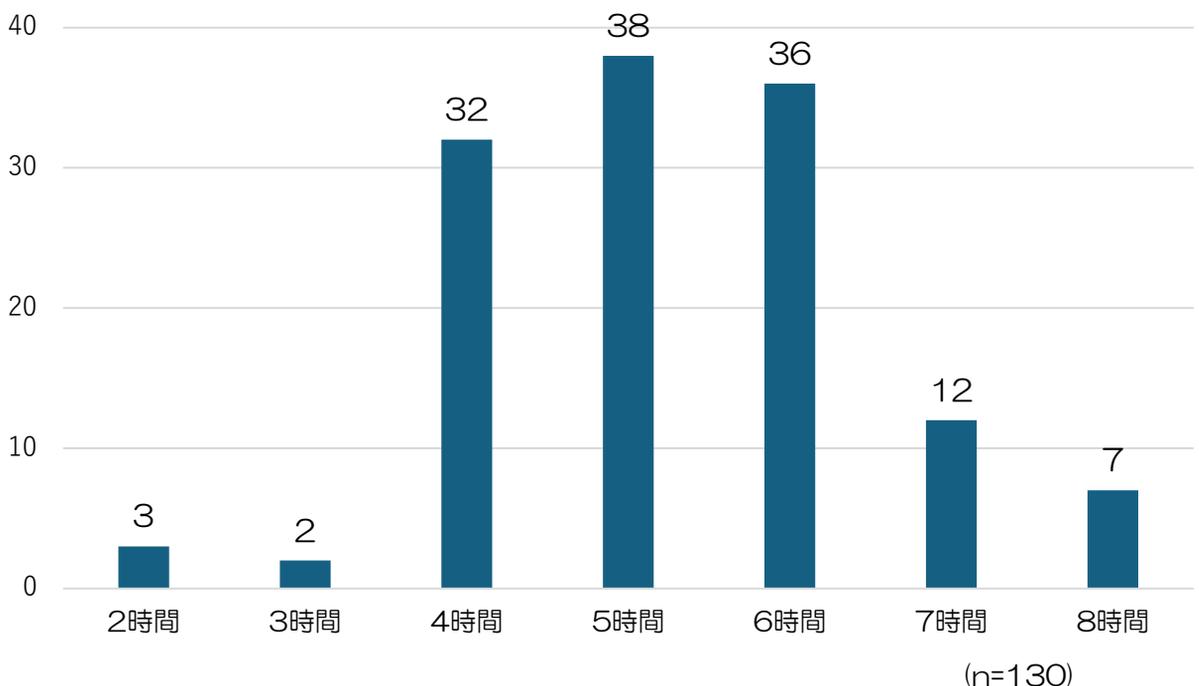
【図8-3 非常勤・パートタイム勤務でお希望時給】



エ 非常勤・パートタイムの場合、希望する1日あたりの勤務時間数について

「5時間」が38件と最も多く、次いで「6時間」が36件であった。

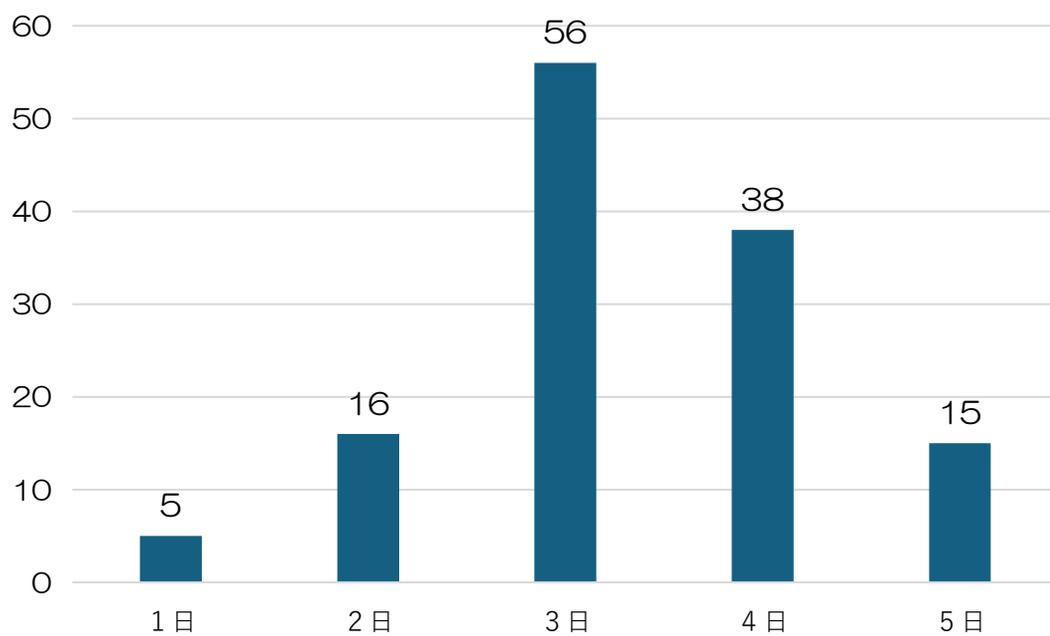
【図8-4 1日の希望時間数】



オ 非常勤・パートの場合、希望する週当たりの希望勤務日数について

「週3日」が56件と最も多く、次いで「週4日」が38件であった。

【図8-5 週当たりの希望勤務日数】

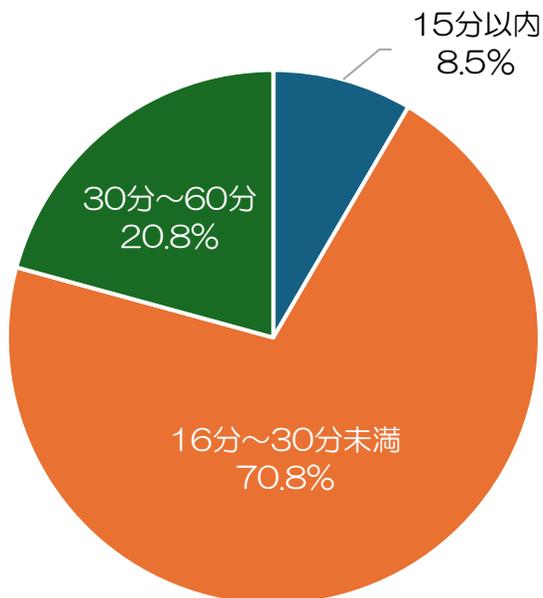


(n=130)

(2) 通勤時間の条件について

「16分～30分」が70.8%と半数以上となった。

【図8-6 希望通勤時間】

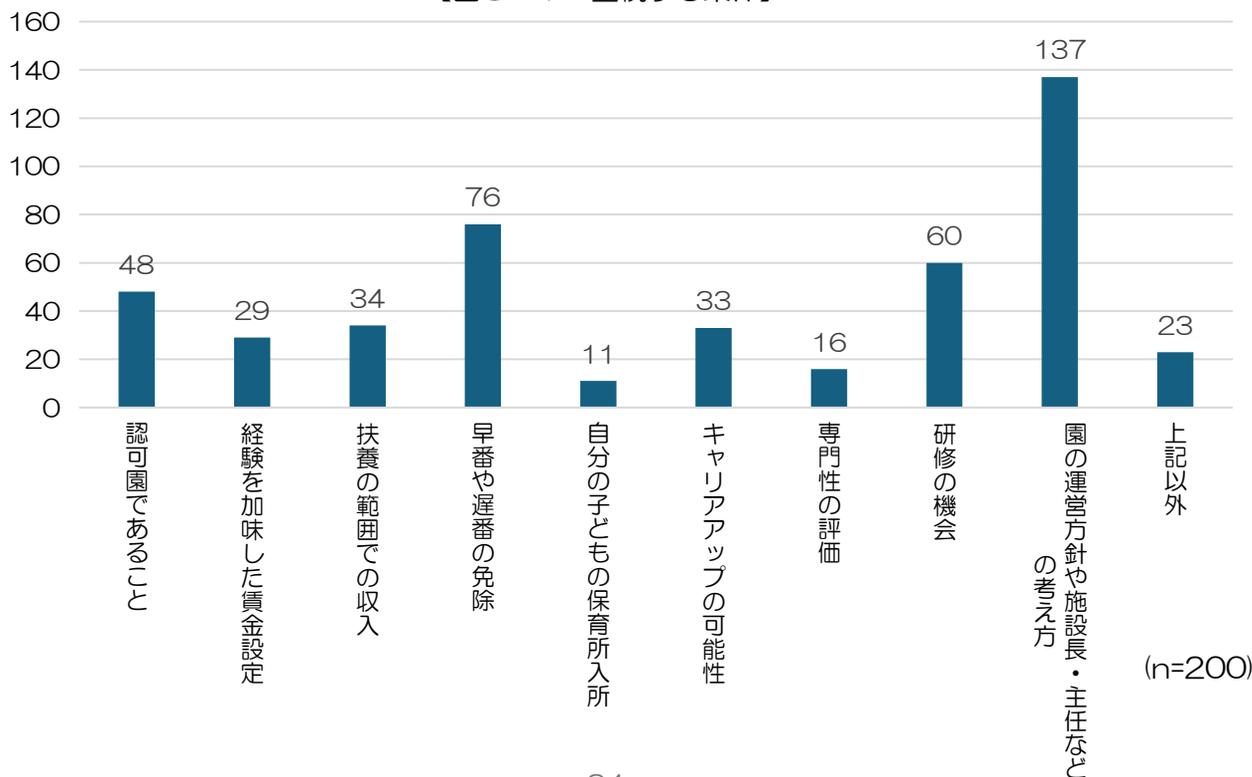


(n=130)

(3) 働くために重視する条件について ※3つまで選択可

「園の運営方針や施設長や・主任などの考え方」が137件と最も多く、次いで「早番や遅番の免除」が76件となった。

【図8-7 重視する条件】

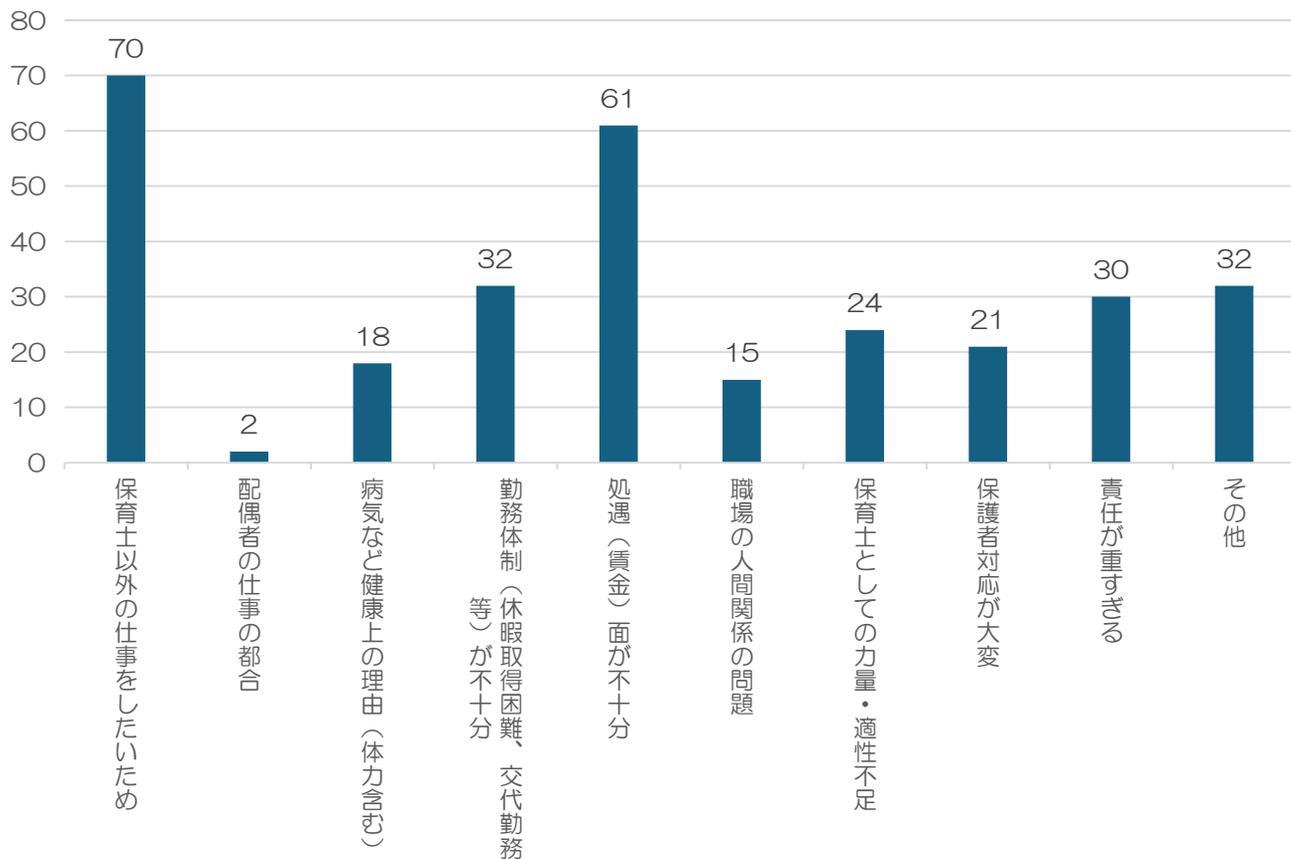


(n=200)

9. 保育士として今後仕事をしない理由について ※複数選択可

「保育士以外の仕事をしたいため」が70件と最も多く、次いで「処遇（賃金）面が不十分」が61件となった。

【図9 今後保育士として仕事をしない理由】



(n=130)

※「その他」の記載内容

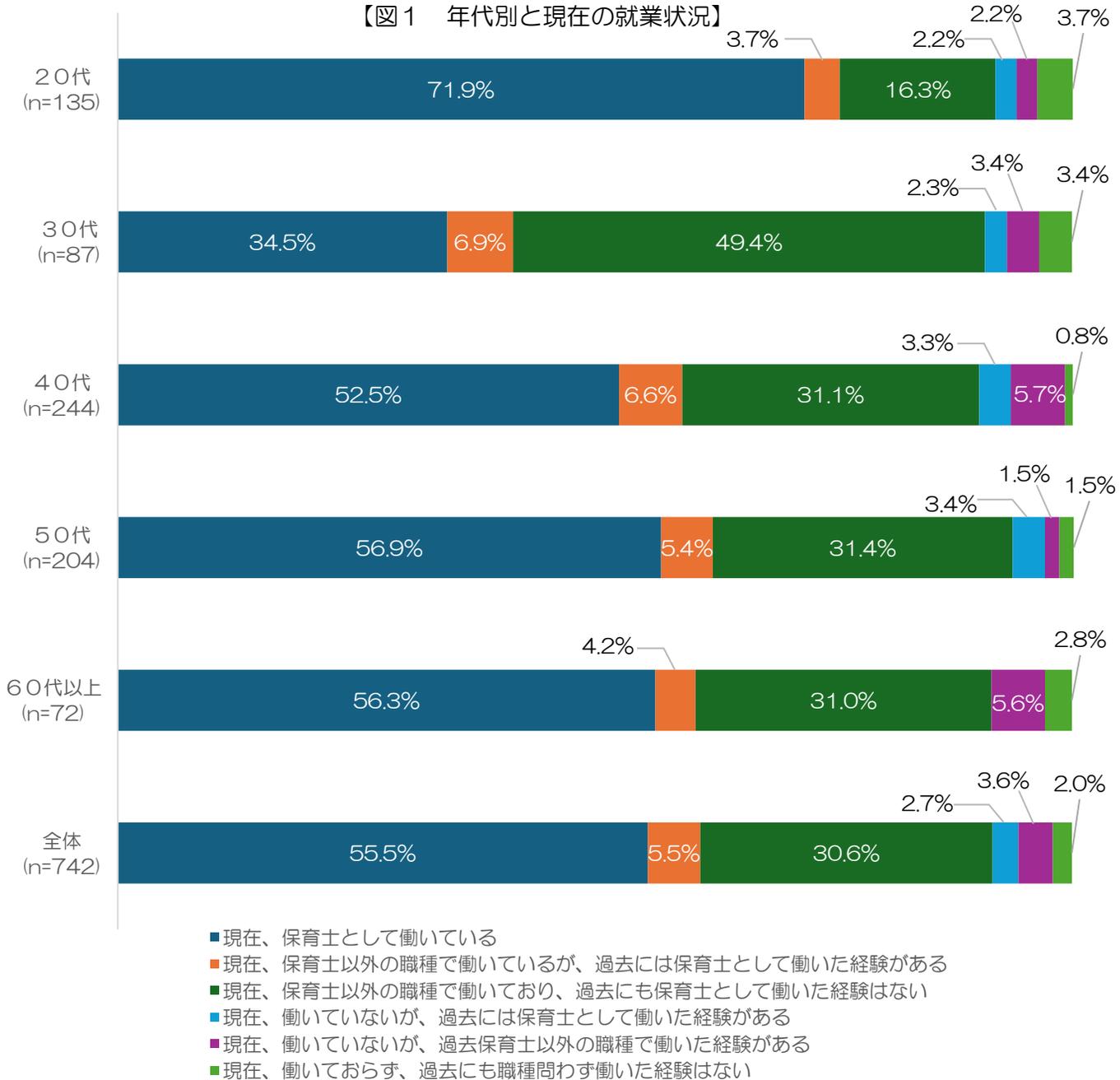
- 現職にて保育士スキルを役立てたいため
- 持ち帰り仕事やピアノの練習で家に帰っても自分の自由な時間が取れないと感じるから 等

クロス集計

1. 年代別と現在の就業状況

年代別の現在の就業状況において、「現在、保育士として働いている」と回答する割合が20代では71.9%と半数以上を占めている一方、30代において「現在、保育士として働いている」と回答した割合は34.5%とどの年代よりも低い結果となった。

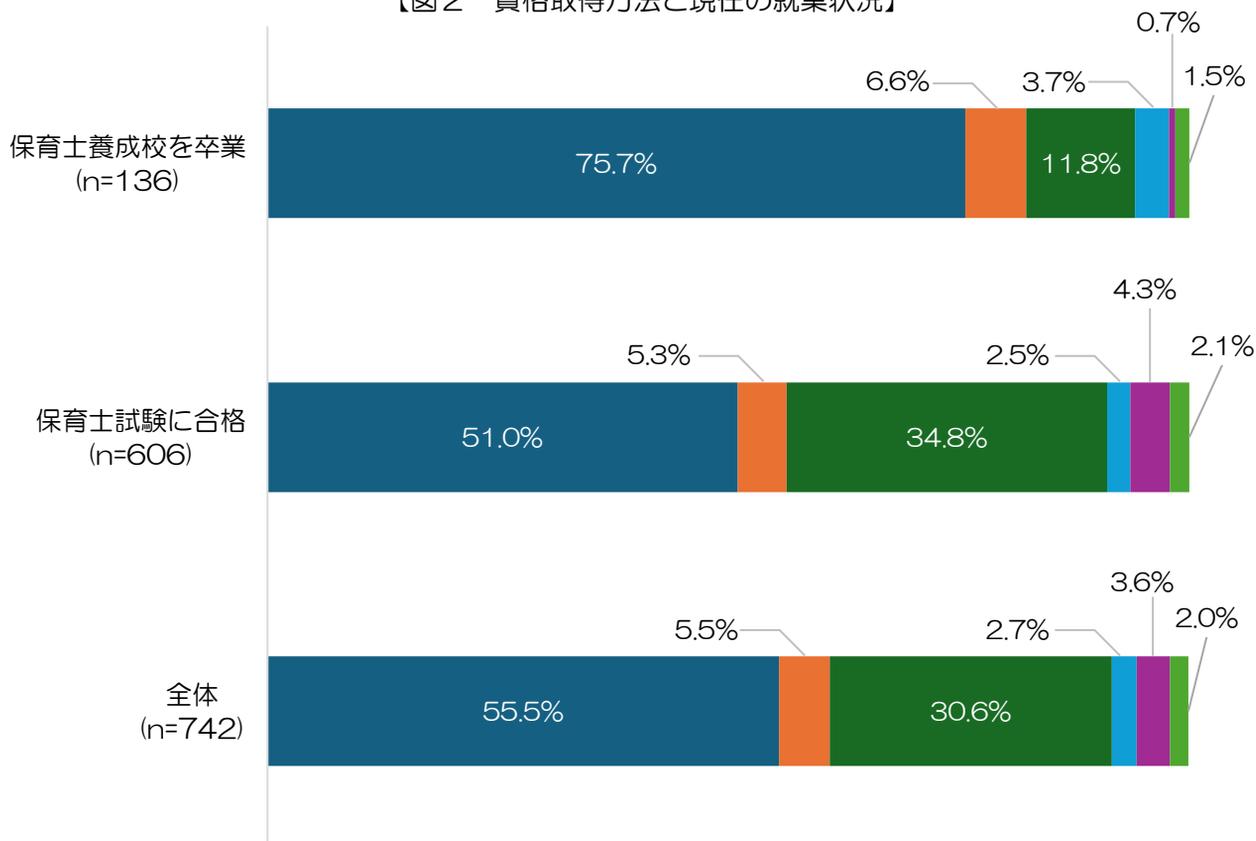
【図1 年代別と現在の就業状況】



2. 資格取得方法と現在就業状況

資格取得方法別の現在の就業状況において、保育士養成校卒業者の75.7%が「現在、保育士として働いている」と回答している一方、保育士試験合格者における割合は51%であった。

【図2 資格取得方法と現在の就業状況】

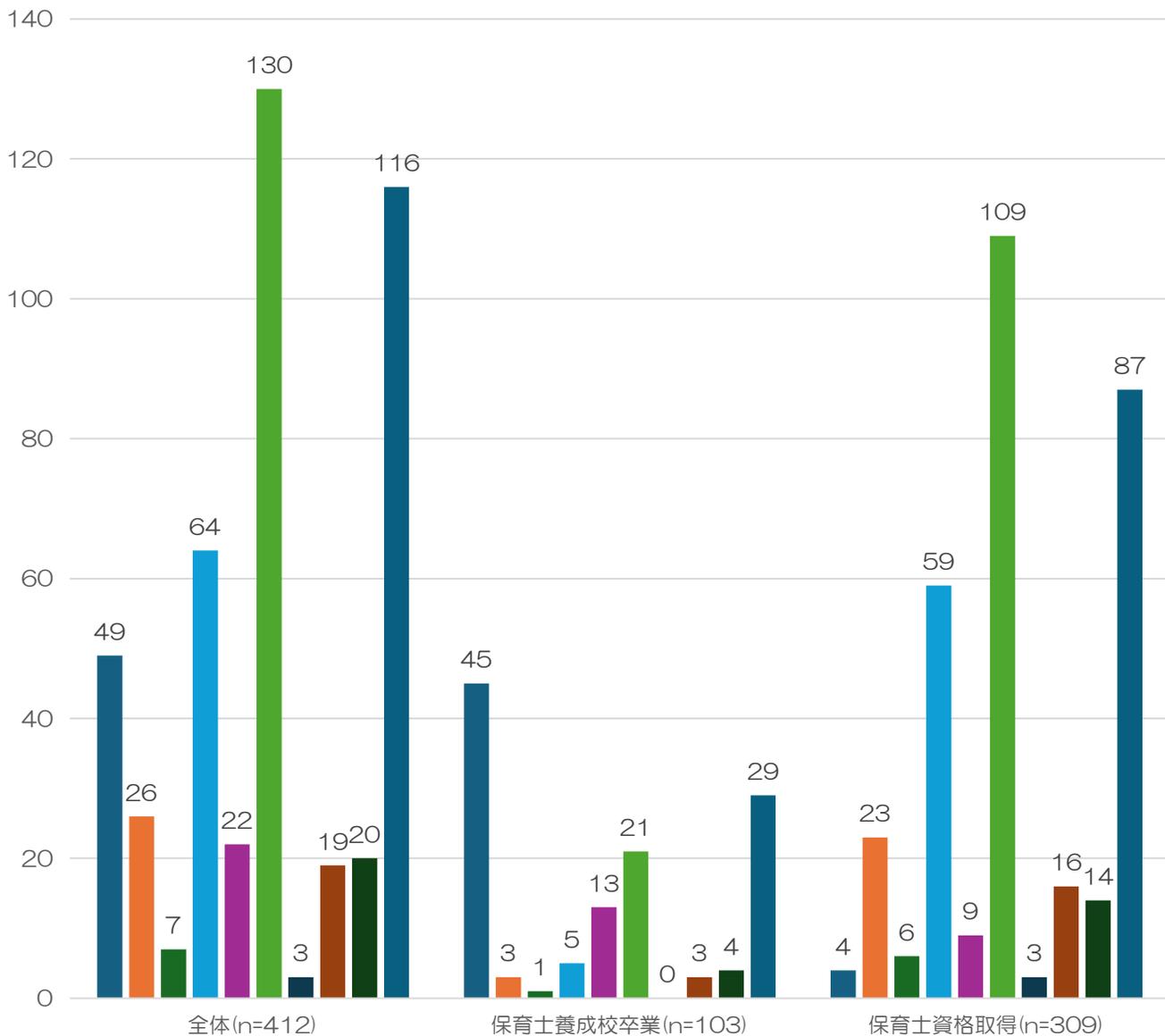


- 現在、保育士として働いている
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある

3. 現任保育士として就業中の方の就職活動方法と資格取得方法

資格取得方法別の現任保育士として就業中の方の就職活動方法において、保育士資格取得、の多くが就職活動の方法として「求人サイト」の利用しており、保育士養成校卒業者は「学校の求人票・紹介」を利用している結果となった。

【図3 現任保育士として就業中の方の就職活動方法と資格取得方法】



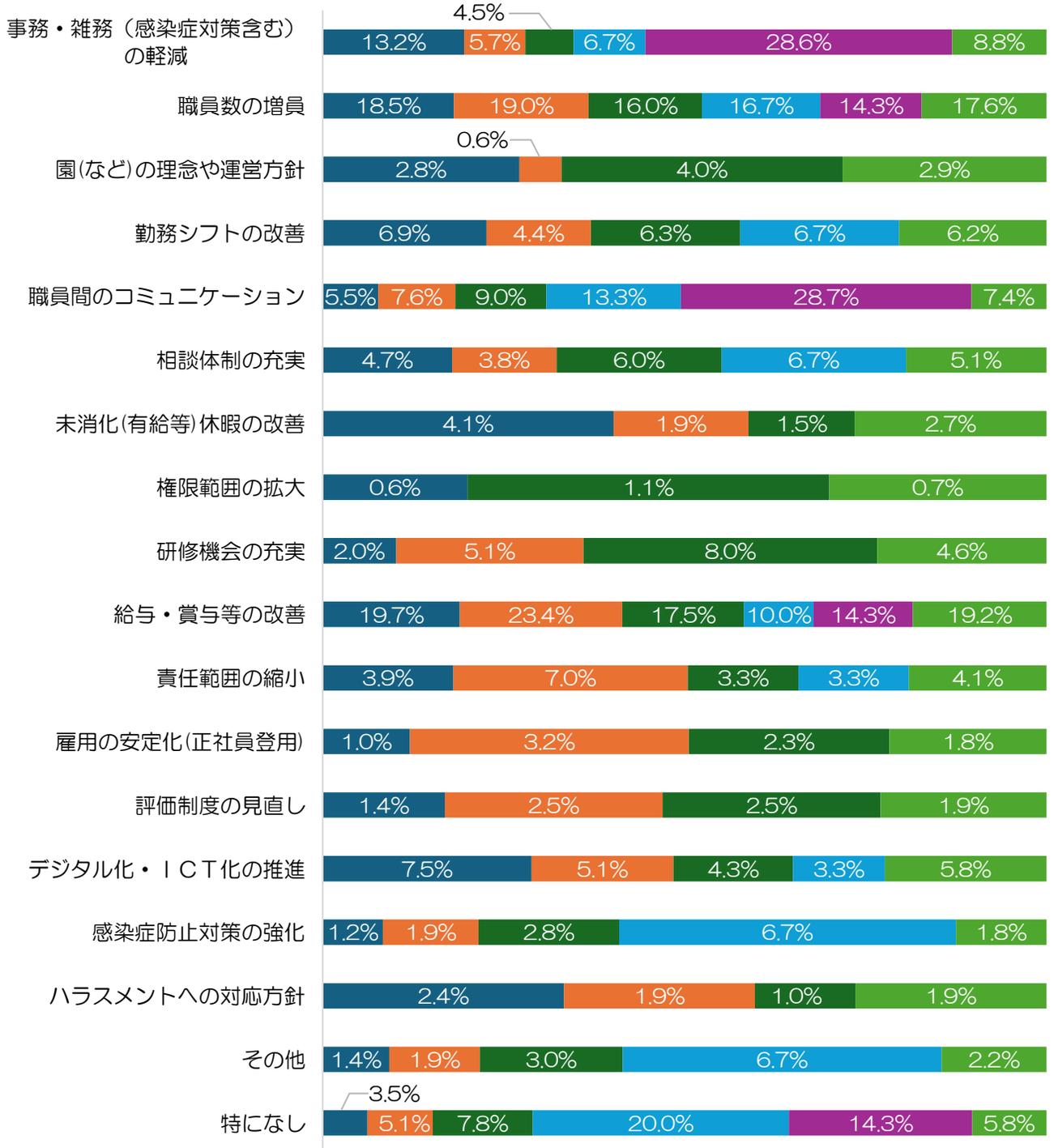
- 学校の求人票・紹介
- ハローワークの求人
- かながわ保育士・保育所支援センターの紹介
- 友人等の紹介
- 就職フェア・面接会
- 求人サイト
- 就職相談誌
- 職業紹介会社への登録
- 人材派遣会社への登録
- 上記以外の方法

4. 現在、保育士として就業中の方の雇用形態と職場への改善要望

現在、保育士として就業中の方の雇用形態別の職場への改善要望において、どの雇用形態においても「職員数の増員」と回答した割合が高かった。

常勤については「未消化（有給等）休暇の改善」、「デジタル化・ICT化の推進」及び「ハラスメントの対応方針」と回答した割合が他の雇用形態よりも高い結果となった。

【図4 現在、保育士として就業中の方の雇用形態と職場への改善要望】



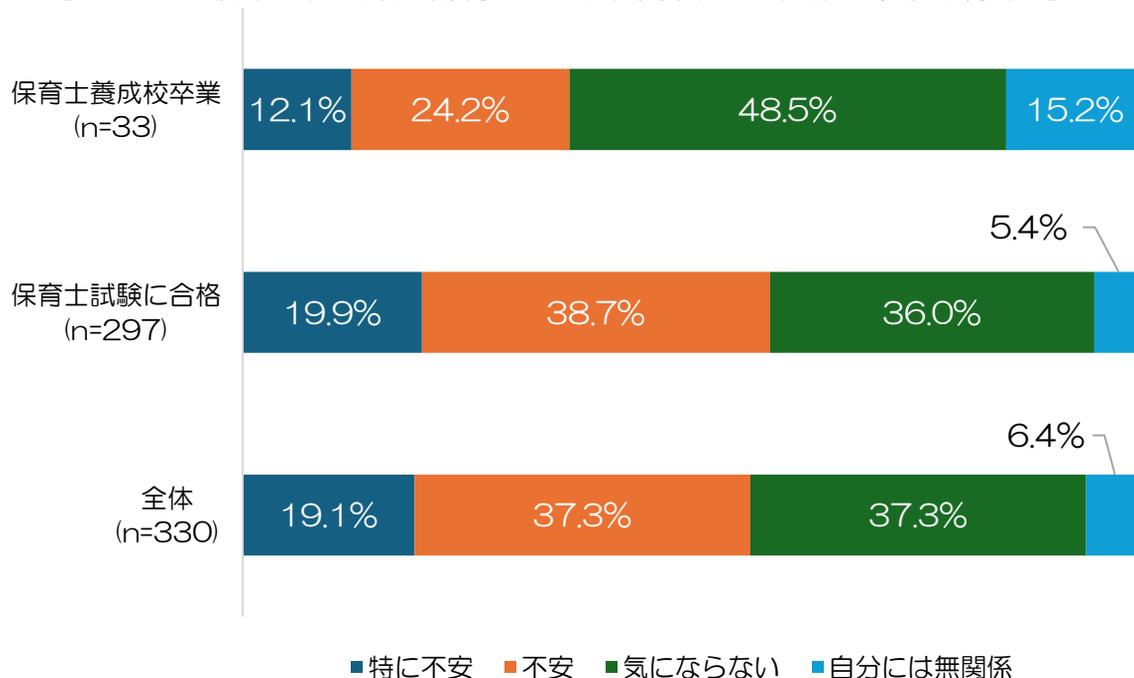
- 常勤 (正規職員) (n=159)
- 有期契約職員 (フルタイムまたは週30時間以上の勤務) (n=60)
- 有期契約職員 (週30時間未満の勤務) (n=175)
- 派遣社員 (n=15)
- 個人事業主 (n=3)
- 全体 (n=412)

5. 現在は保育の仕事をしていない方が保育士復帰に際して不安な点と資格取得方法

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

保育士試験合格者の半数近くが「特に不安」「不安」と回答している一方、保育士養成校卒業者の半数以上が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答している結果となった。

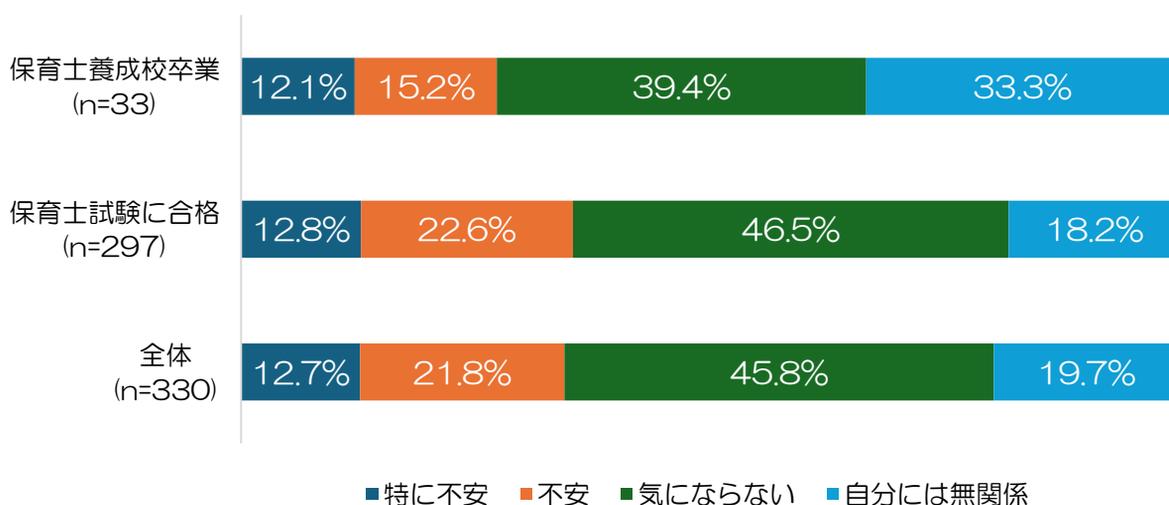
【図5-1 復帰の不安な点（保育上の知識や技術などの不足）と資格取得方法】



(2) 家事との両立

家事との両立については、保育士養成校卒業者と保育士試験合格者ともに「気にならない」の割合が多かった。

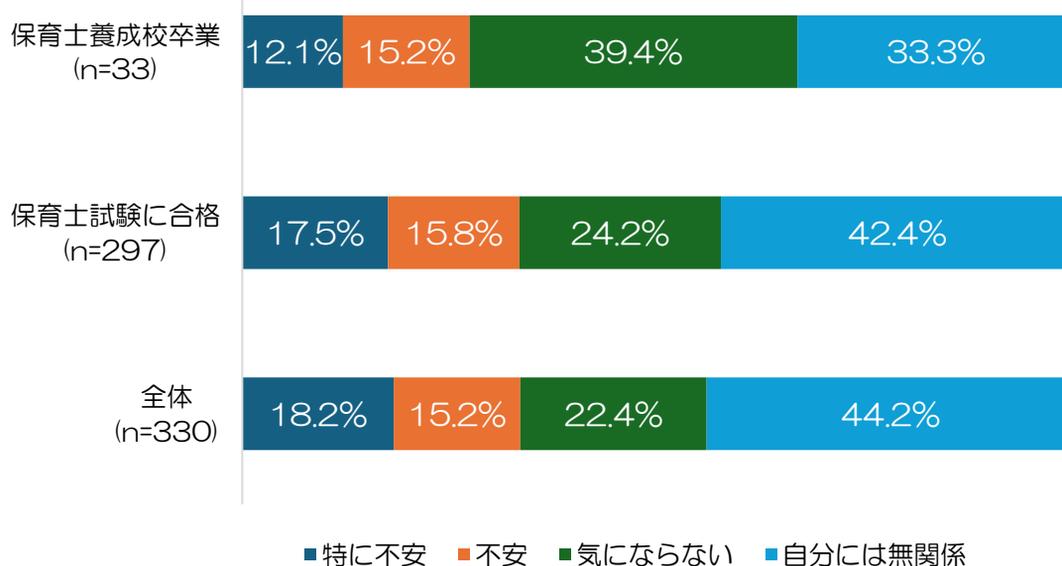
【図5-2 復帰の不安な点（家事との両立）と資格取得方法】



(3) 育児との両立

保育士養成校卒業者の27.3%が「特に不安」「不安」と回答している一方、保育士試験合格者のうち「特に不安」「不安」と回答した割合は33.3%と少し差が生じている。

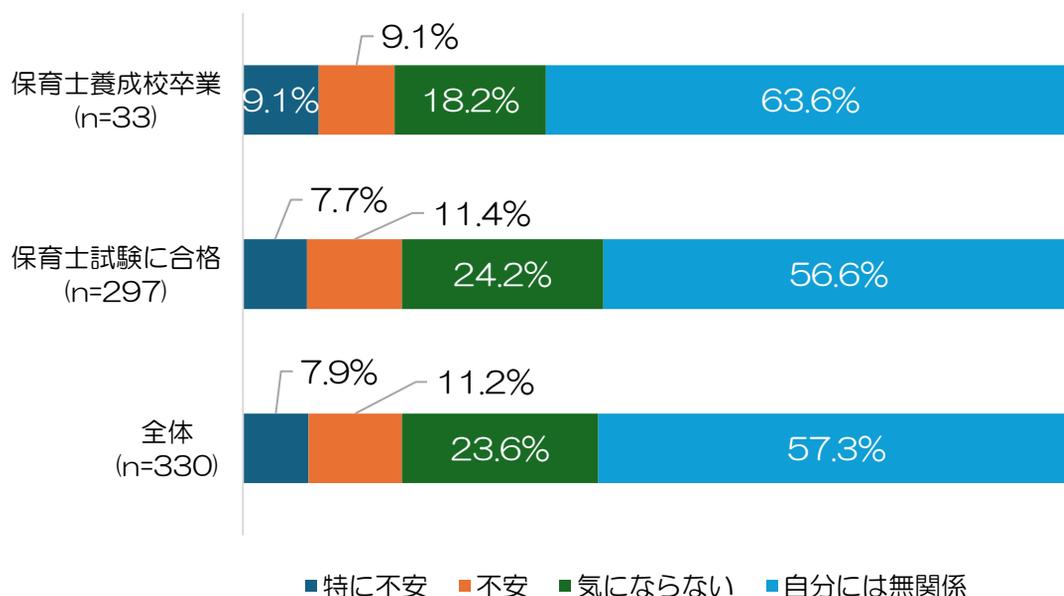
【図5-3 復帰の不安な点（育児との両立）と資格取得方法】



(4) 介護との両立

介護との両立については、資格取得方法を問わず、半数以上が「自分とは無関係」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

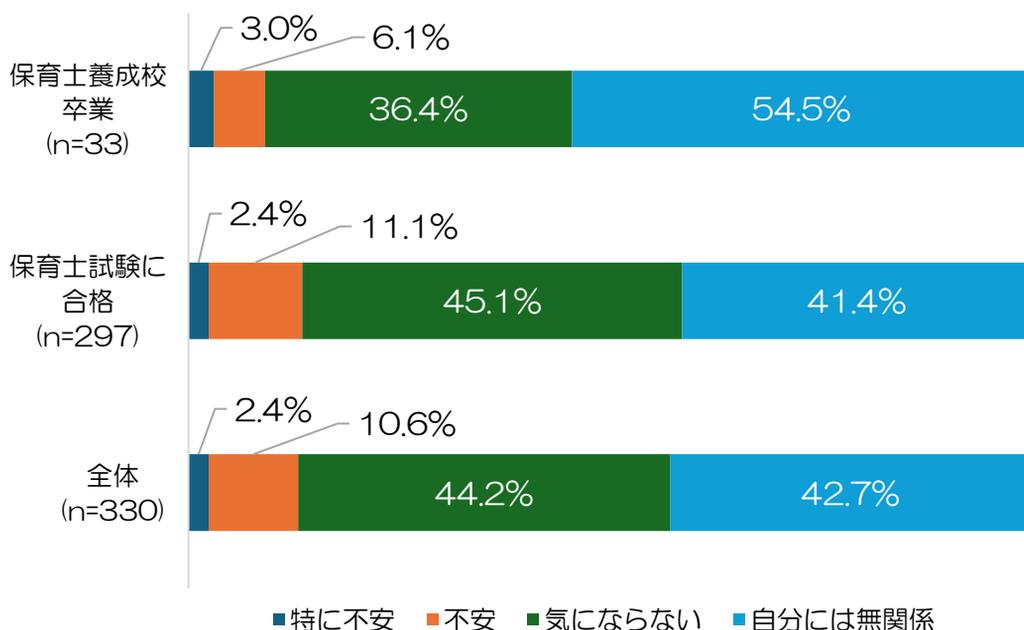
【図5-4 復帰の不安な点（介護との両立）と資格取得方法】



(5) 家族との理解

家族の理解については、保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに約8割が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答しており、資格取得方法を問わず、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

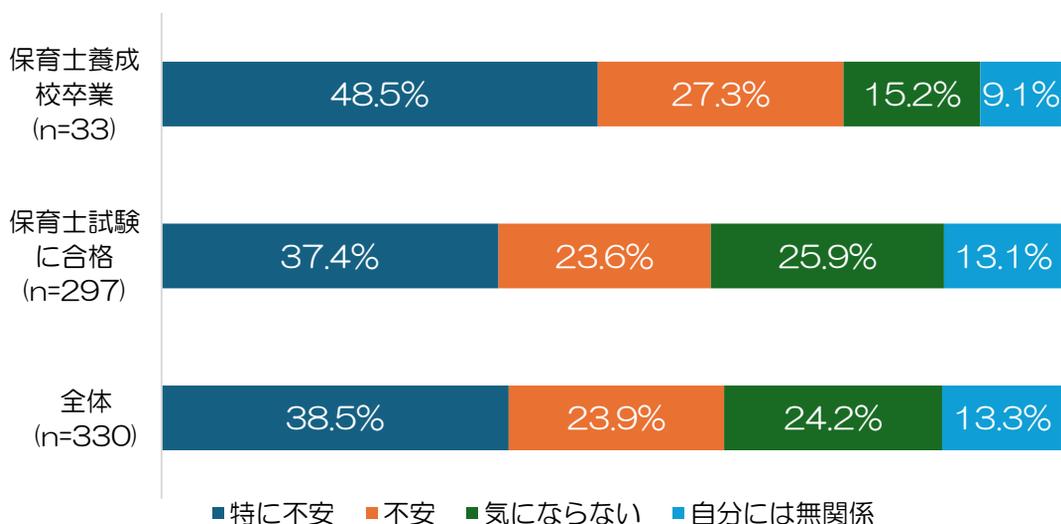
【図5-5 復帰の不安な点（家族の理解）と資格取得方法】



(6) 収入

収入については、保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに半数以上が「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、収入に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

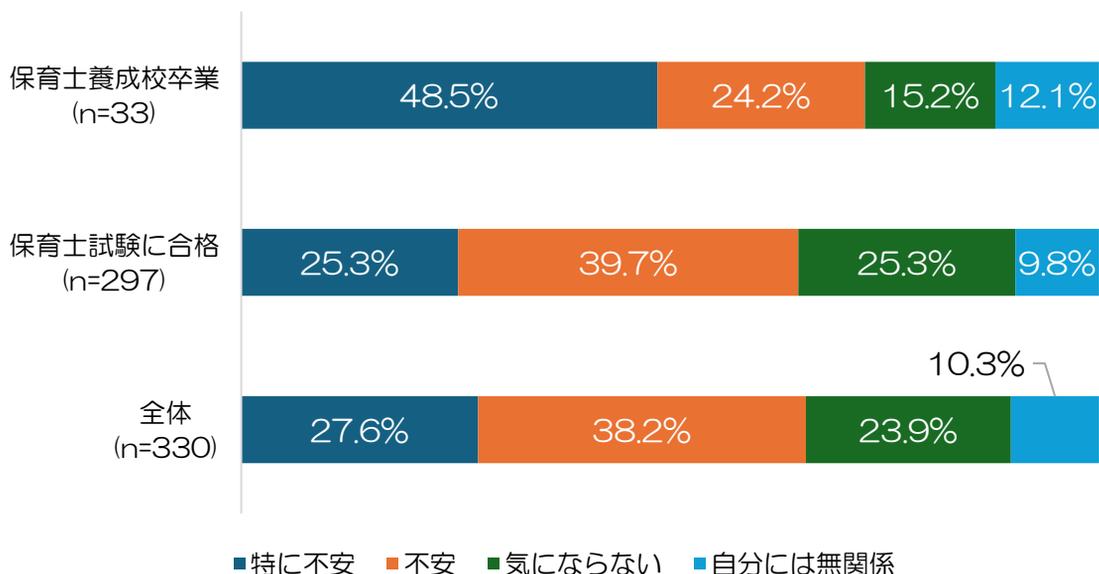
【図5-6 復帰の不安な点（収入）と資格取得方法】



(7) 勤務時間

保育士養成校卒業者では72.7%、保育士試験合格者では65%が勤務時間について「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、勤務時間に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

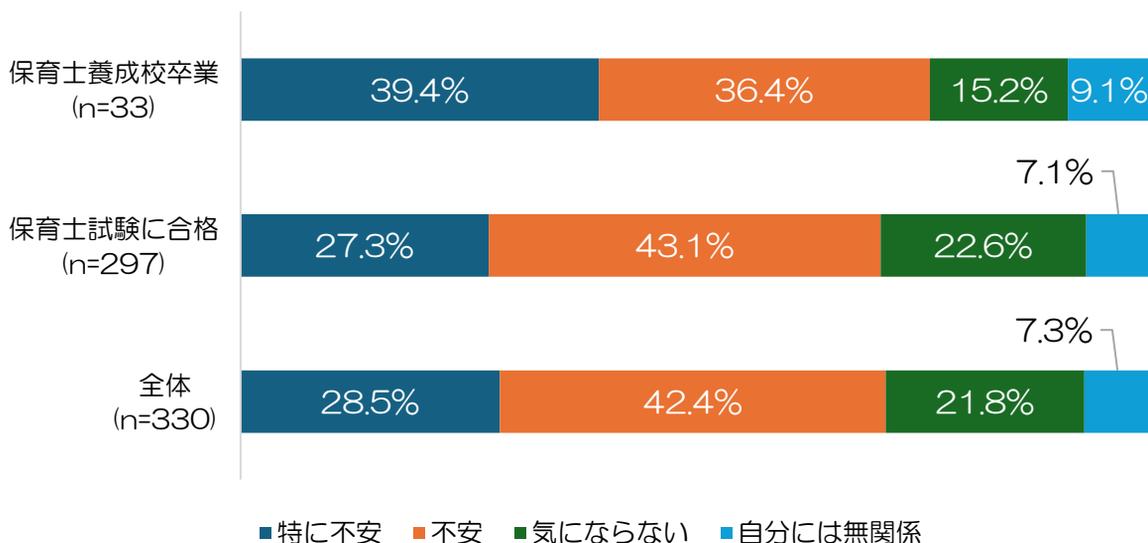
【図5-7 復帰の不安な点（勤務時間）と資格取得方法】



(8) 仕事の負担

保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに半数以上が仕事の負担に「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、仕事の負担に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

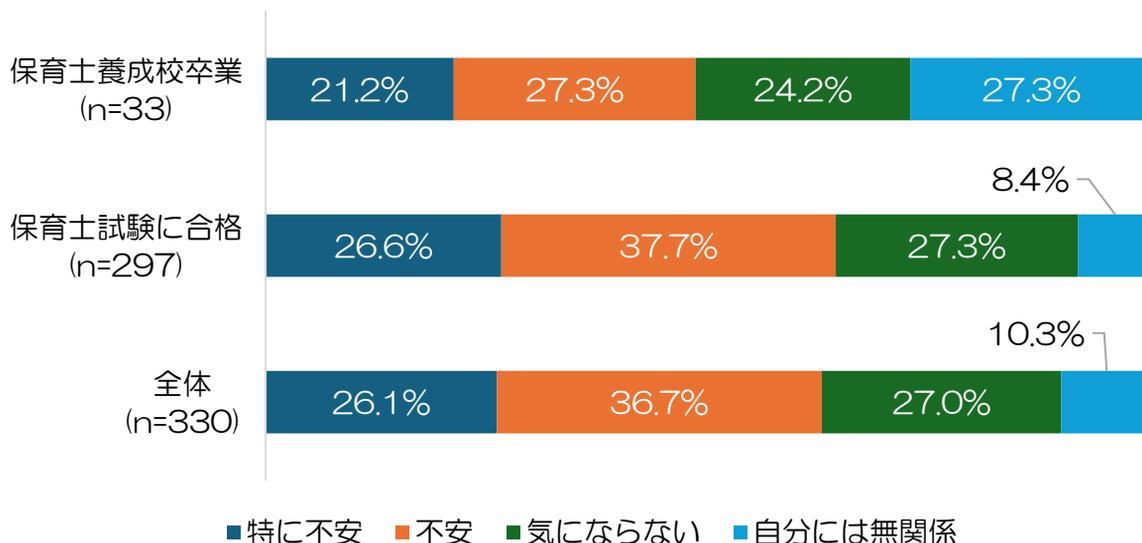
【図5-8 復帰の不安な点（仕事の負担）と資格取得方法】



(9) 体力の低下

保育士養成校卒業生では48.5%、保育士試験合格者では64.3%が体力の低下について「特に不安」「不安」と回答しており、資格取得方法によって不安と感じる割合に若干の差が生じている。

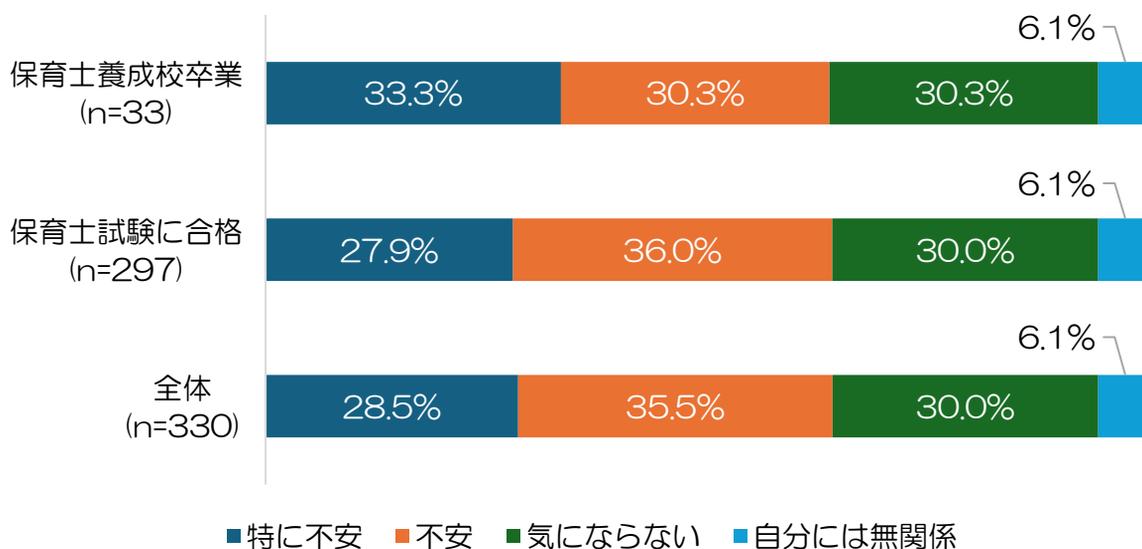
【図5-9 復帰の不安な点（体力の低下）と資格取得方法】



(10) 職場の人間関係

保育士養成校卒業生及び保育士試験合格者ともに半数以上が職場の人間関係に「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、職場の人間関係に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

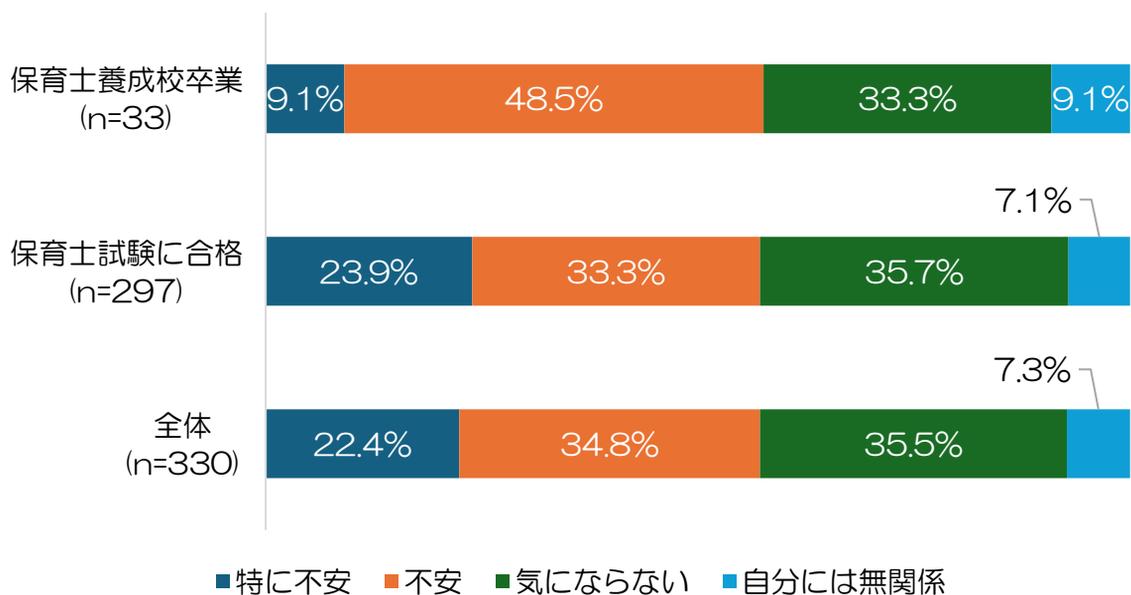
【図5-10 復帰の不安な点（保育の職場での人間関係）と資格取得方法】



(11) 園児の保護者対応

保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに半数以上が園児の保護者対応に「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、園児の保護者対応に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

【図5-11 復帰の不安な点（園児の保護者対応）と資格取得方法】

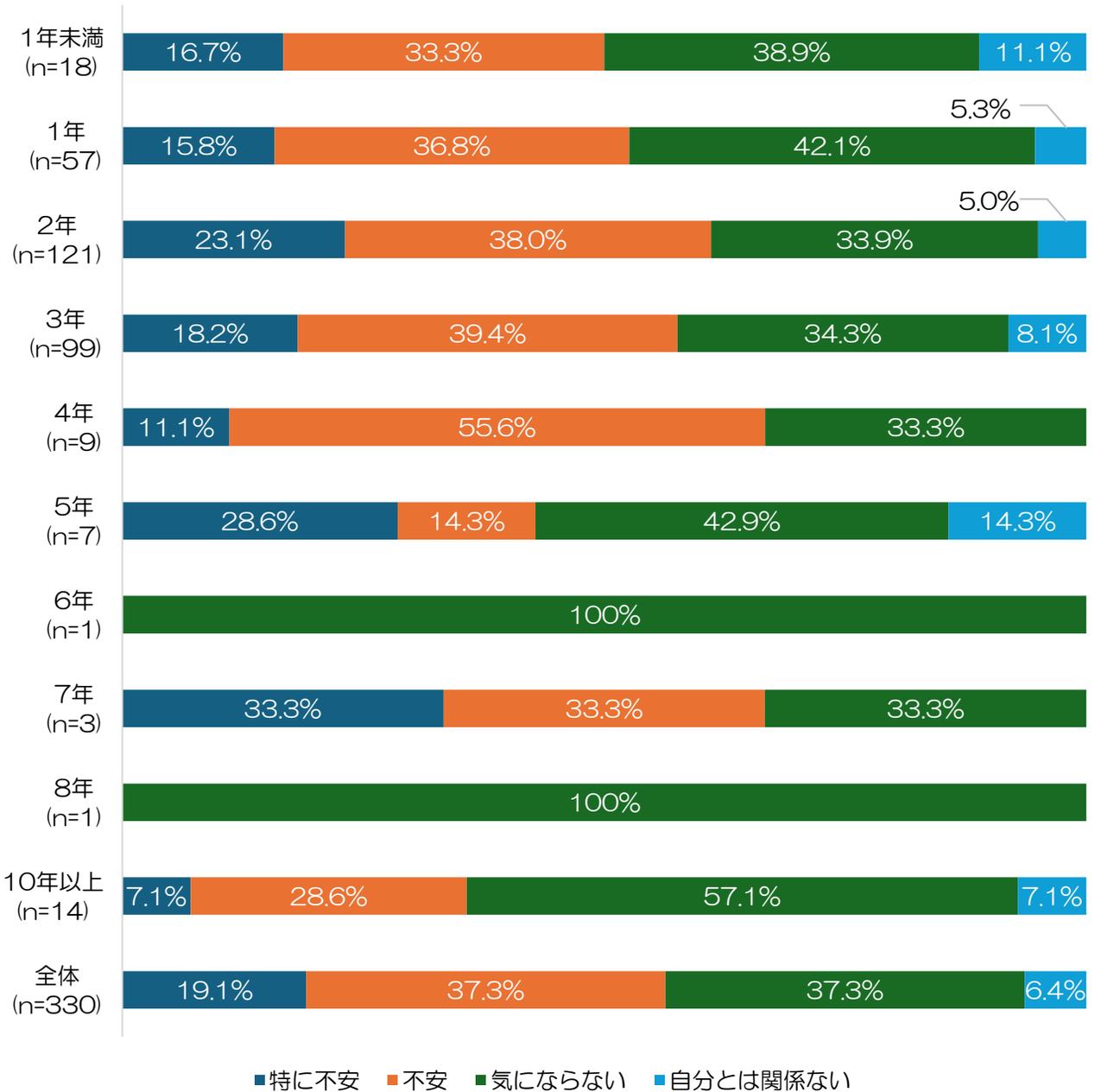


6. 現在は保育の仕事をしていない方のブランク期間と復帰する際の不安な点

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

最近の保育の知識や技術などの不足に不安を感じるかと質問には、ブランク期間「1年未満」「1年」「2年」「3年」「4年」「7年」において、半数近くが「特に不安」「不安」と回答している一方、ブランク期間「5年」「10年以上」においては、約4割が「特に不安」「不安」と回答する結果となった。ブランク期間によって、保育の知識や技術などの付属に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

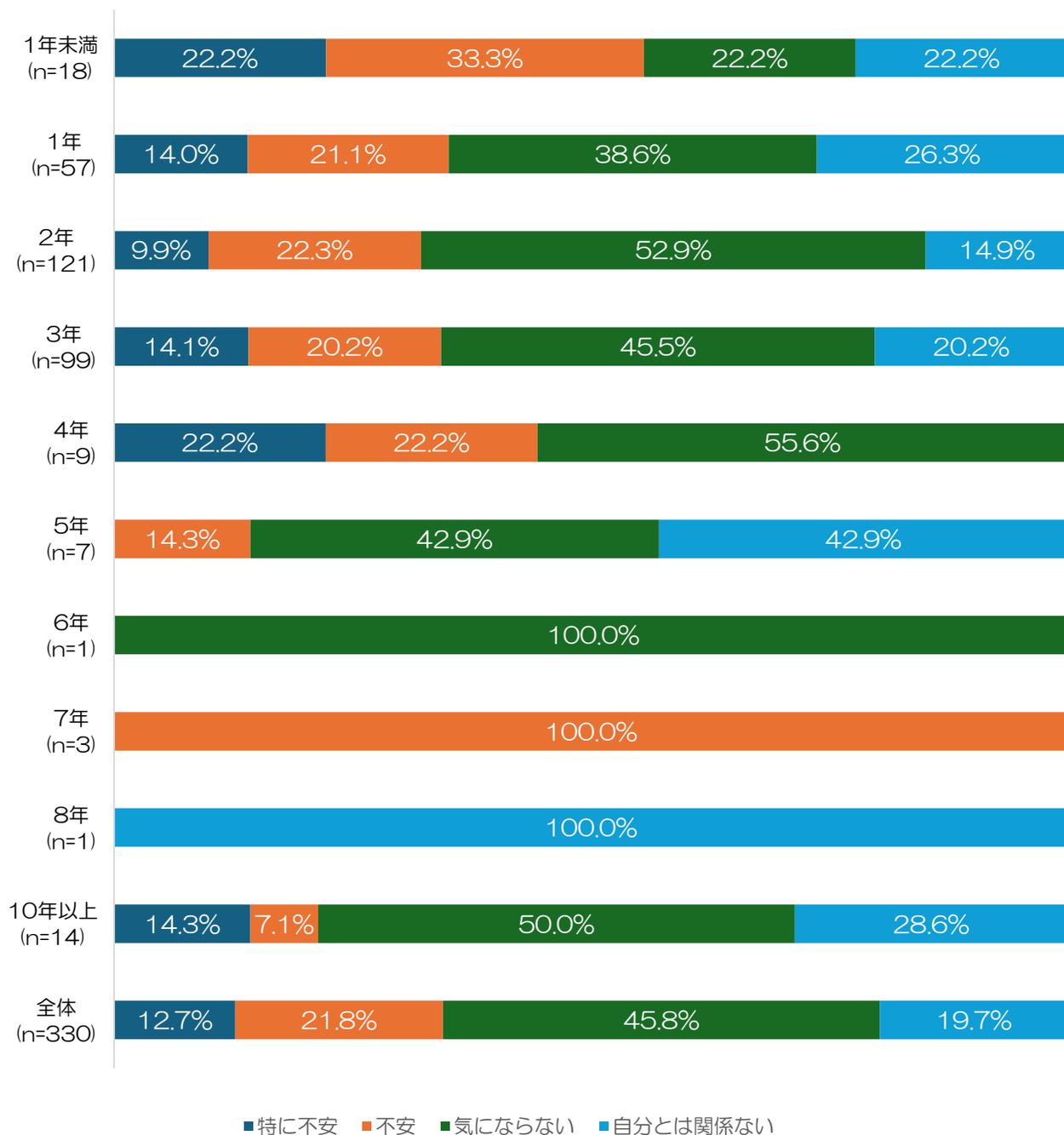
【図6-1 復帰の不安な点（最新の保育技術）とブランク期間】



(2) 家事との両立

家事との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間「1年未満」「7年」においては、「不安」と回答する方の割合が多く、それ以外のブランク期間においては約4割以上が「気にならない」と回答している。

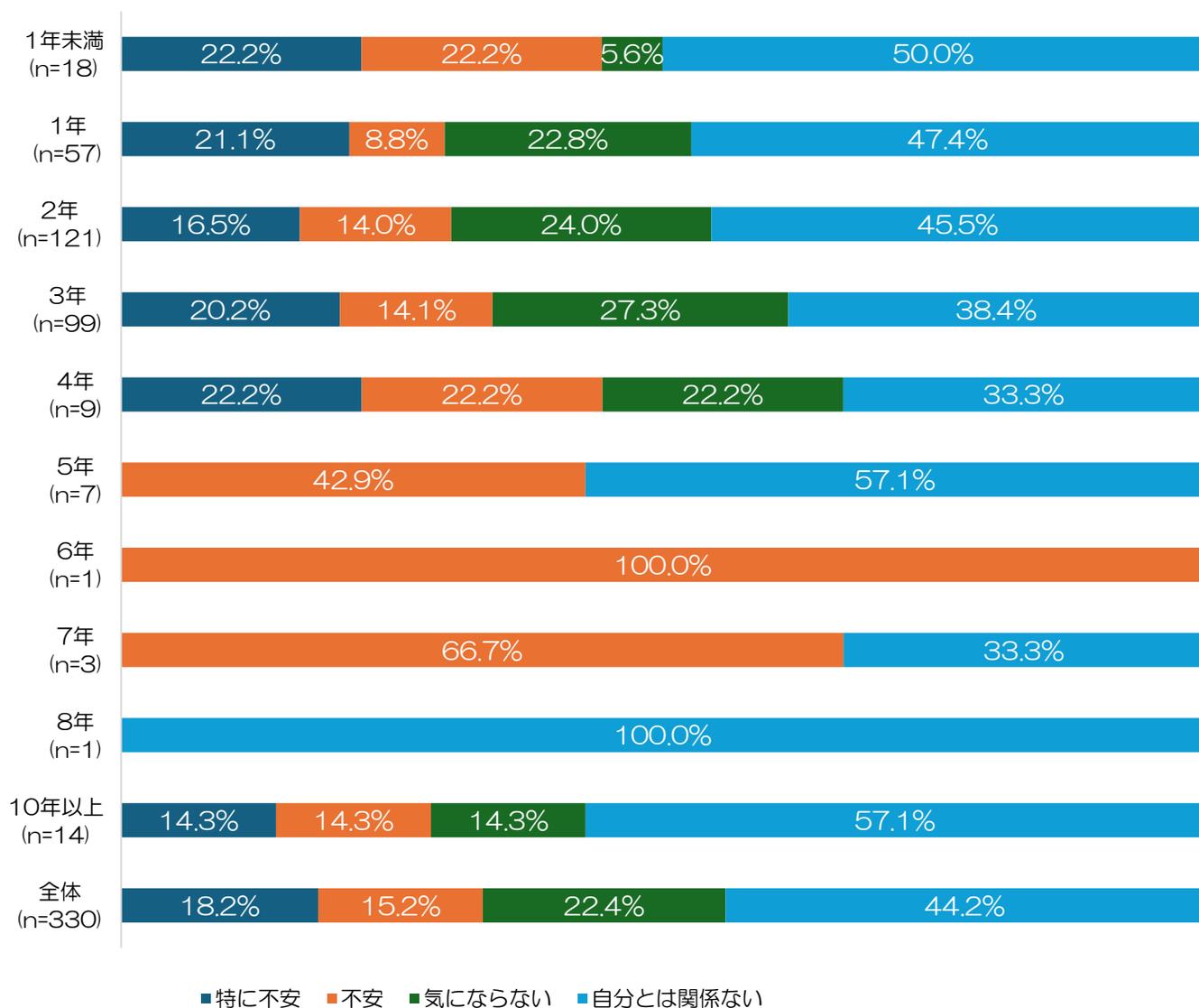
【図6-2 復帰の不安な点（家事との両立）とブランク期間】



(3) 育児との両立

育児との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間「5年」「7年」においては、「不安」と回答する方の割合が多く、それ以外のブランク期間においては半数以上が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答している。

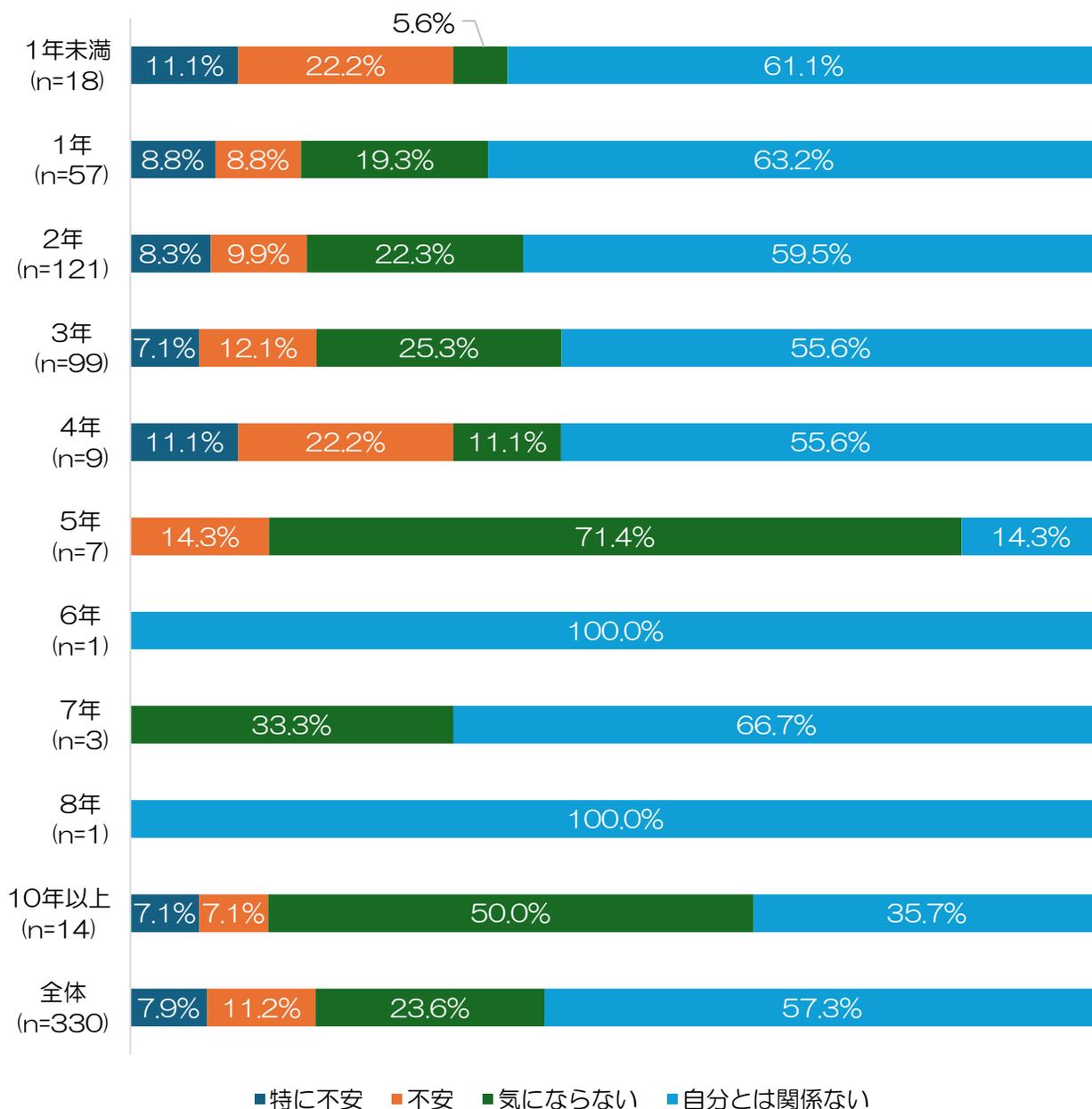
【図6-3 復帰の不安な点（育児との両立）とブランク期間】



(4) 介護との両立

介護との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間を問わず半数以上が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

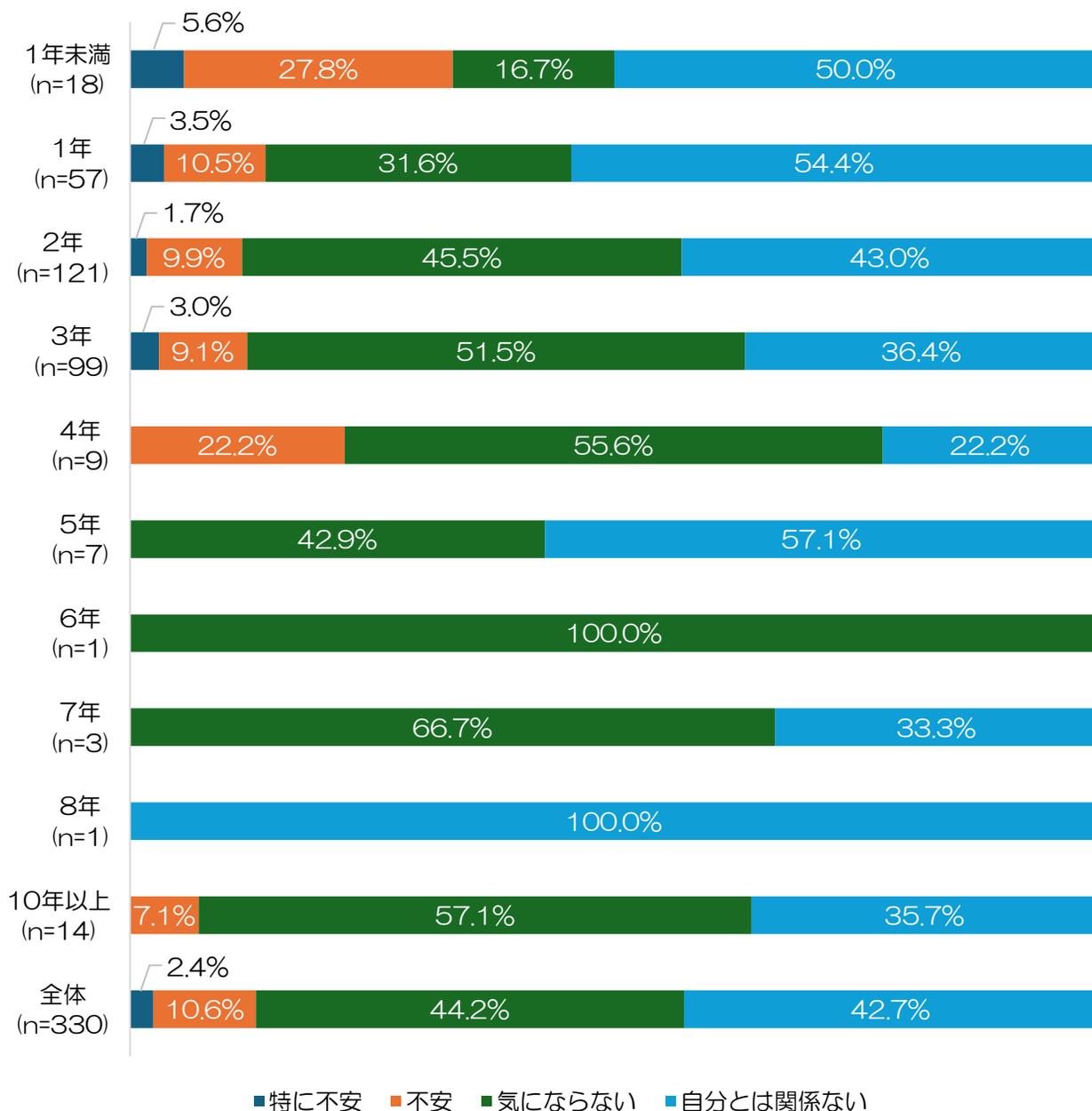
【図6-4 復帰の不安な点（介護との両立）とブランク期間】



(5) 家族の理解

家族の理解については、ブランク期間「1年未満」「4年」は2～3割「不安」と回答しているが、それ以外の期間は約8割以上「気にならない」「自分とは関係ない」と回答している。

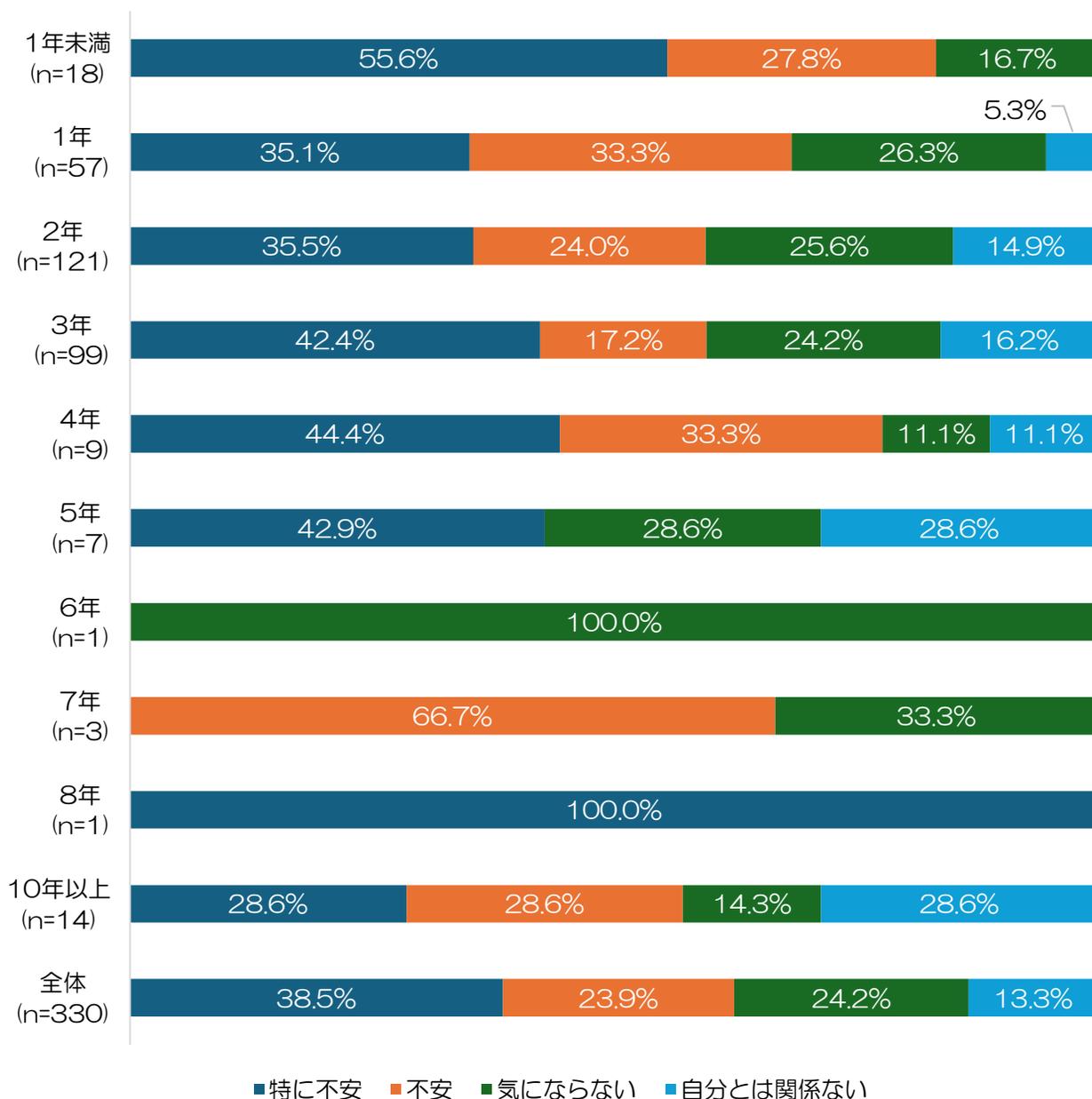
【図6-5 復帰の不安な点（家族の理解）とブランク期間】



(6) 収入

収入については、ブランク期間「6年」を除いて、全ての期間半数近く及び半数以上が「特に不安」「不安」と回答しており、保育士復帰の不安要因となっている。

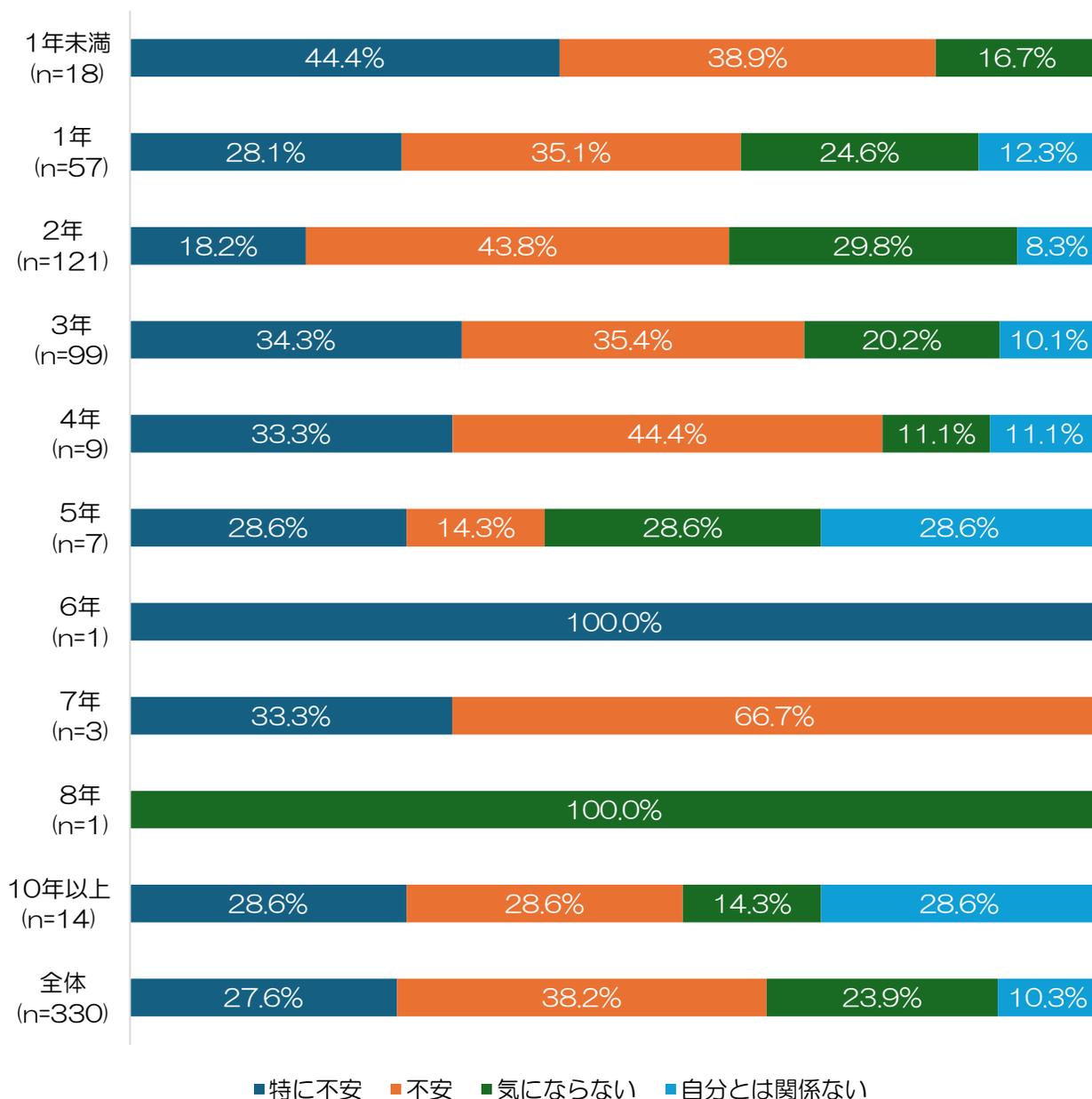
【図6-6 復帰の不安な点（収入）とブランク期間】



(7) 勤務時間

勤務時間については、ブランク期間「8年」を除いて、全ての期間半数近く及び半数以上が「特に不安」「不安」と回答しており、保育士復帰の不安要因となっている。

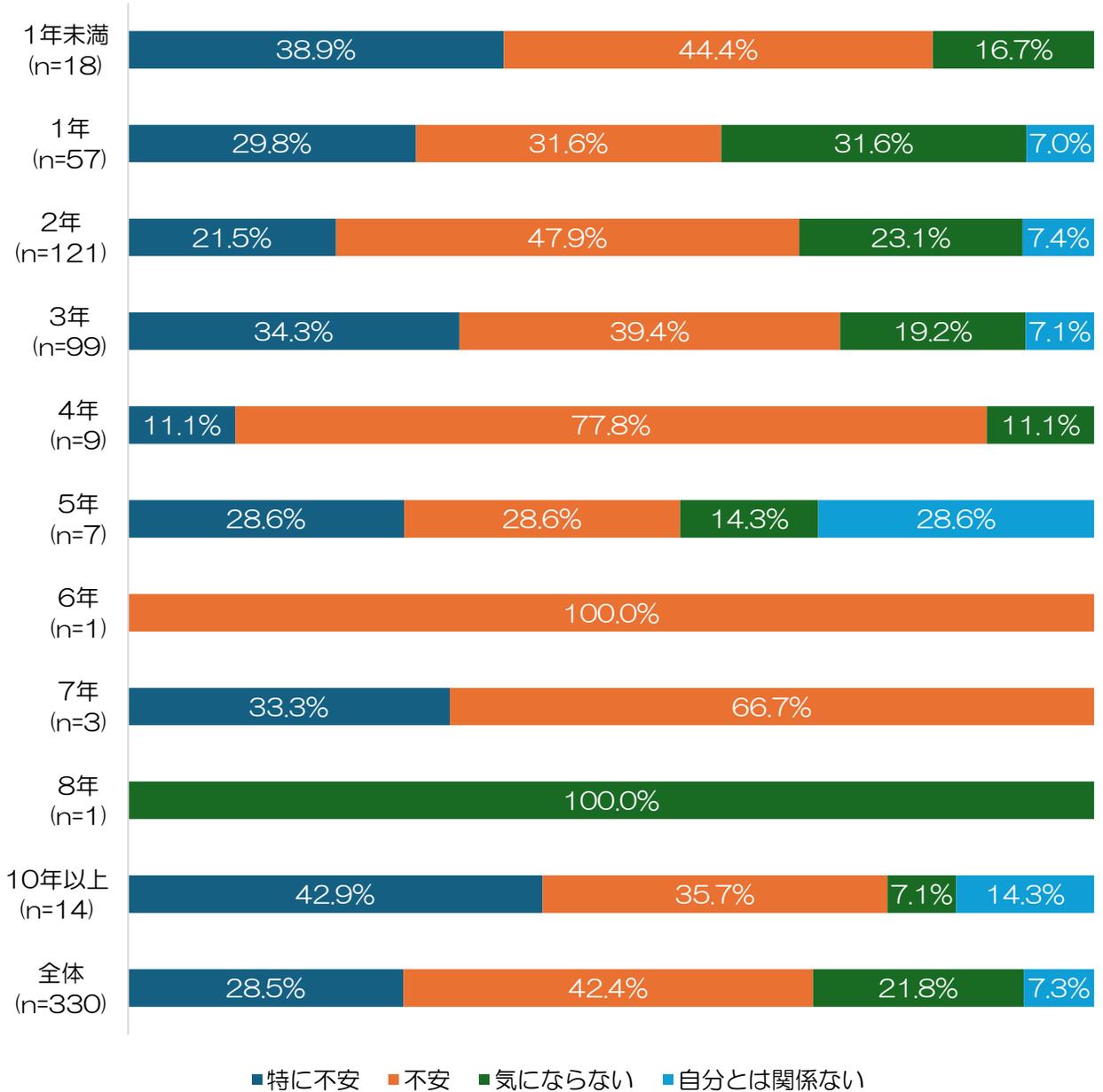
【図6-7 復帰の不安な点（勤務時間）とブランク期間】



(8) 仕事の負担

仕事の負担については、ブランク期間「8年」を除いて、全ての期間半数近く及び半数以上が「特に不安」「不安」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因となっている。

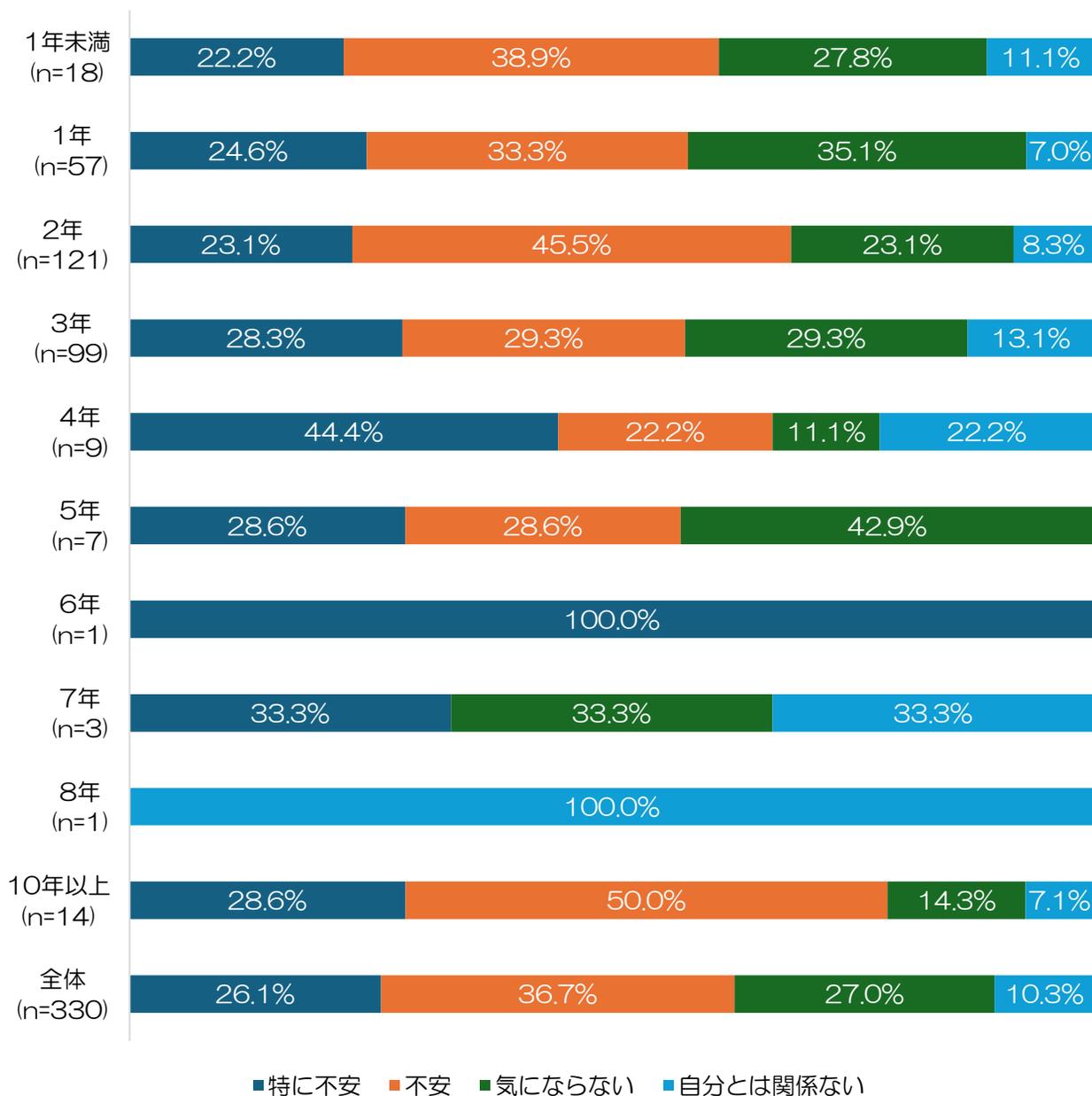
【図6-8 復帰の不安な点（仕事の負担）とブランク期間】



(9) 体力の負担

体力の負担については、ブランク期間「7年」「8年」を除いて、全ての期間半数近く及び半数以上が「特に不安」「不安」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因となっている。

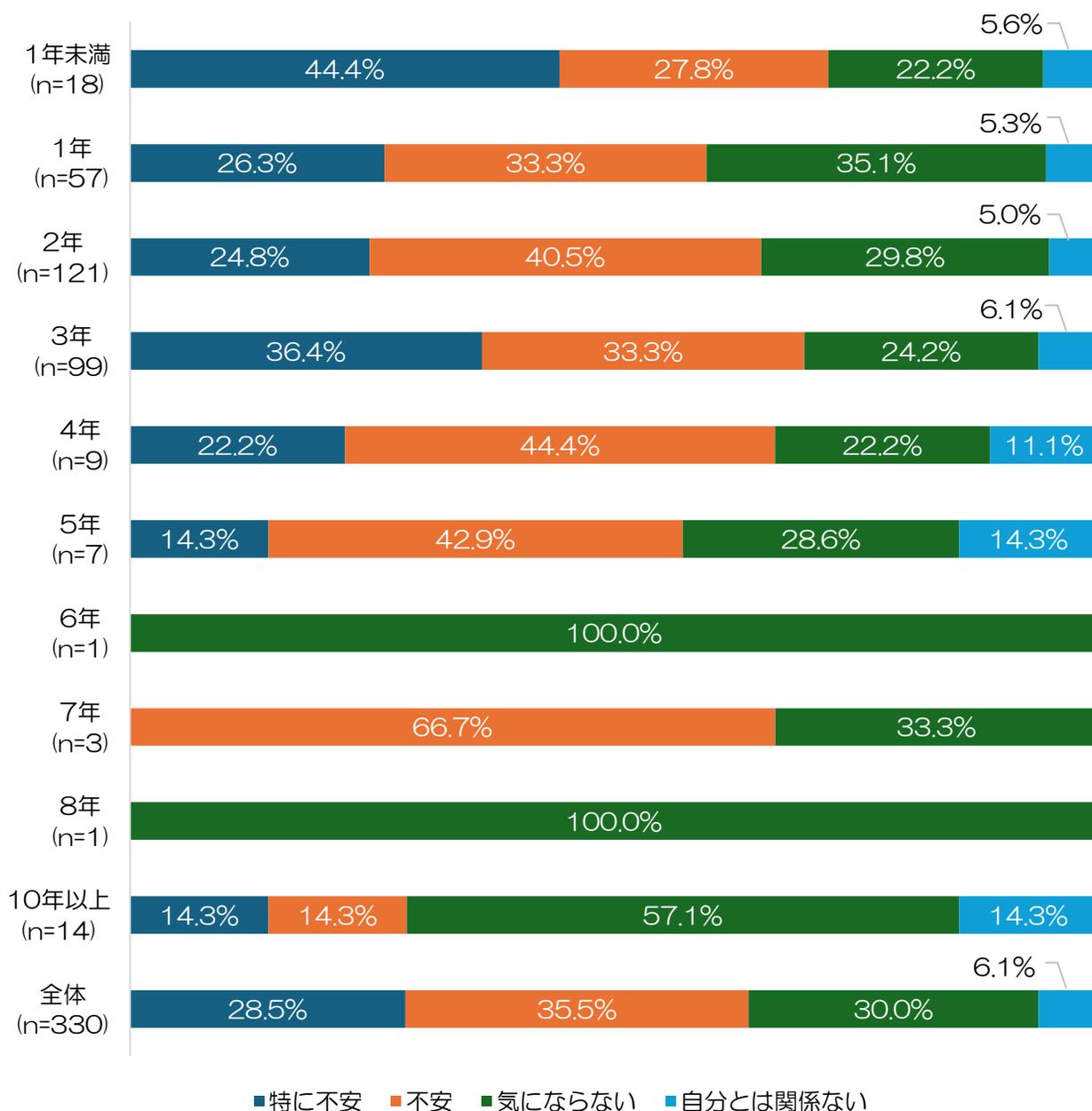
【図6-9 復帰の不安な点（体力の負担）とブランク期間】



(10) 保育の職場での人間関係

保育の職場の人間関係については、ブランク期間「6年」「8年」「10年以上」は半数以上が気にならないと回答しており、それ以外の期間半数以上が「特に不安」「不安」と回答しており、保育士復帰の不安要因となっている。

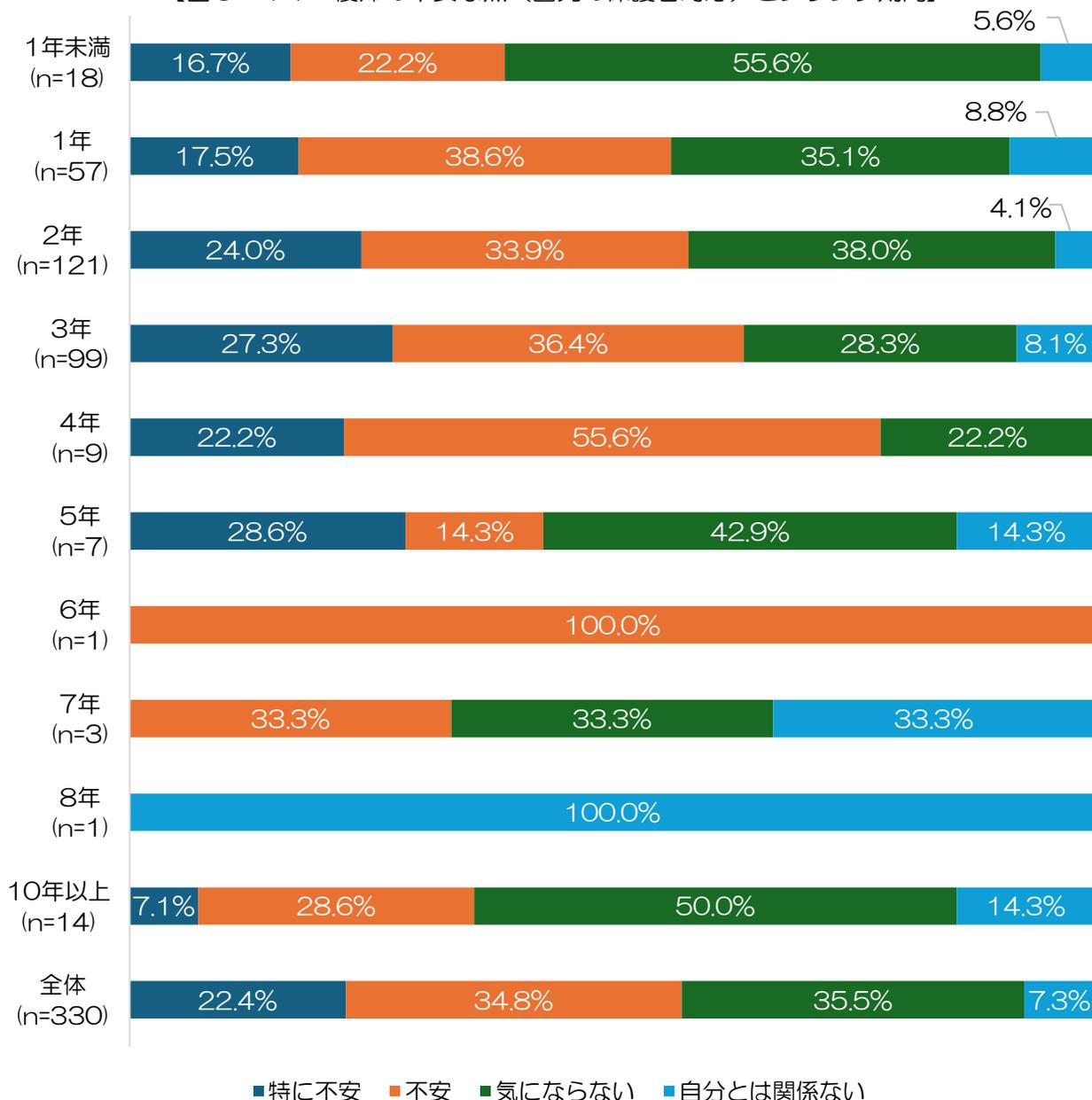
【図6-10 復帰の不安な点（保育の現場での人間関係）とブランク期間】



(11) 園児の保護者対応

園児の保護者対応については、ブランク期間「8年」を除き、ほぼ全ての期間において半数以上が「特に不安」「不安」と回答し、保育士復帰の不安要因となっている。

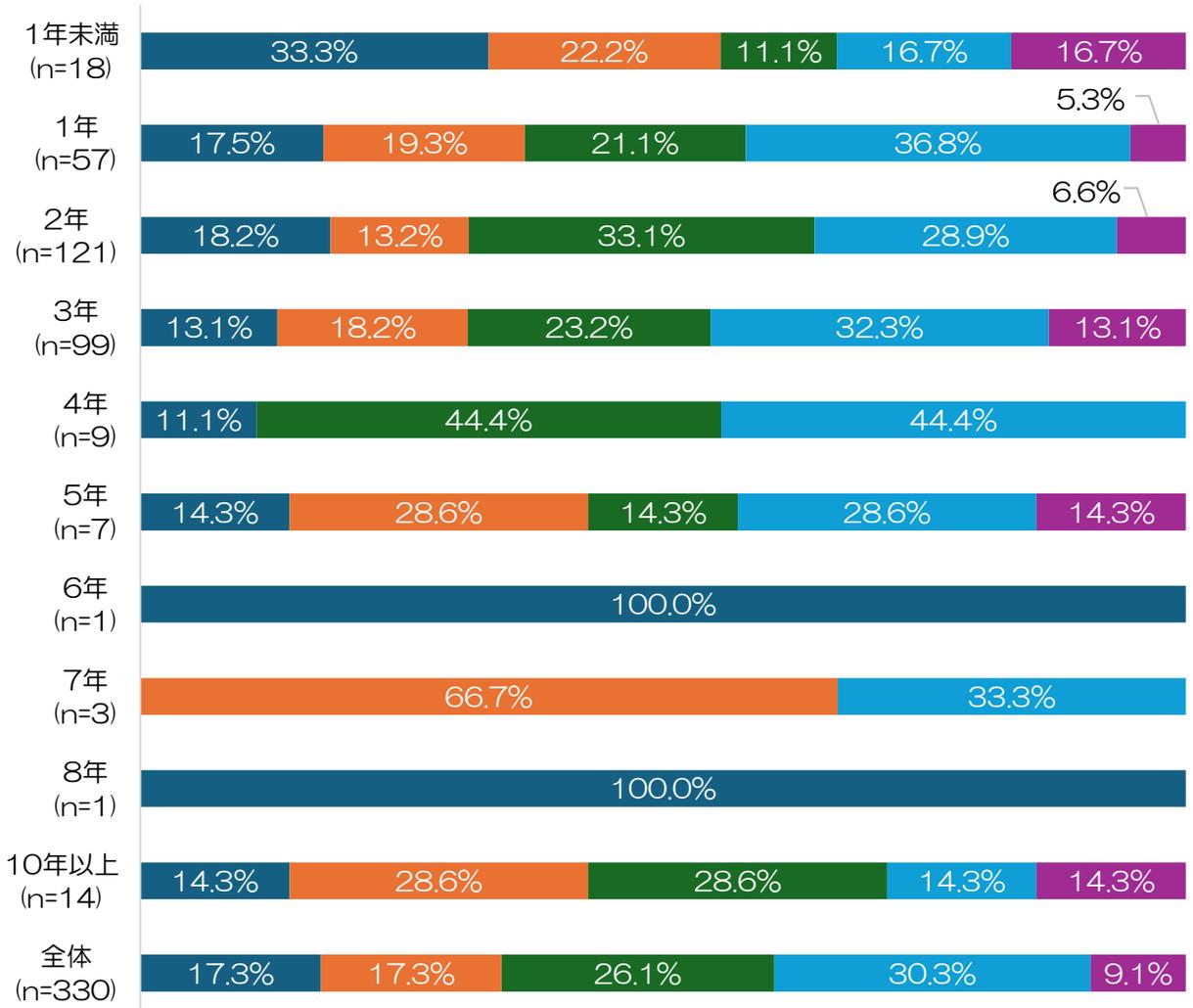
【図6-11 復帰の不安な点（園児の保護者対応）とブランク期間】



7. 現在保育士の仕事をしていない方のブランク期間と保育士として就業する場合の気持ち

現在保育士の仕事をしていない方の保育士として就業する場合の気持ちについては、ブランク期間の長さ按比例して、就業したい気持ちの割合が少なくなっているが、ブランク期間「5年～8年」で就業したい気持ちの割合が上昇する結果となった。

【図7 ブランク期間と保育士として就業する場合の気持ち】

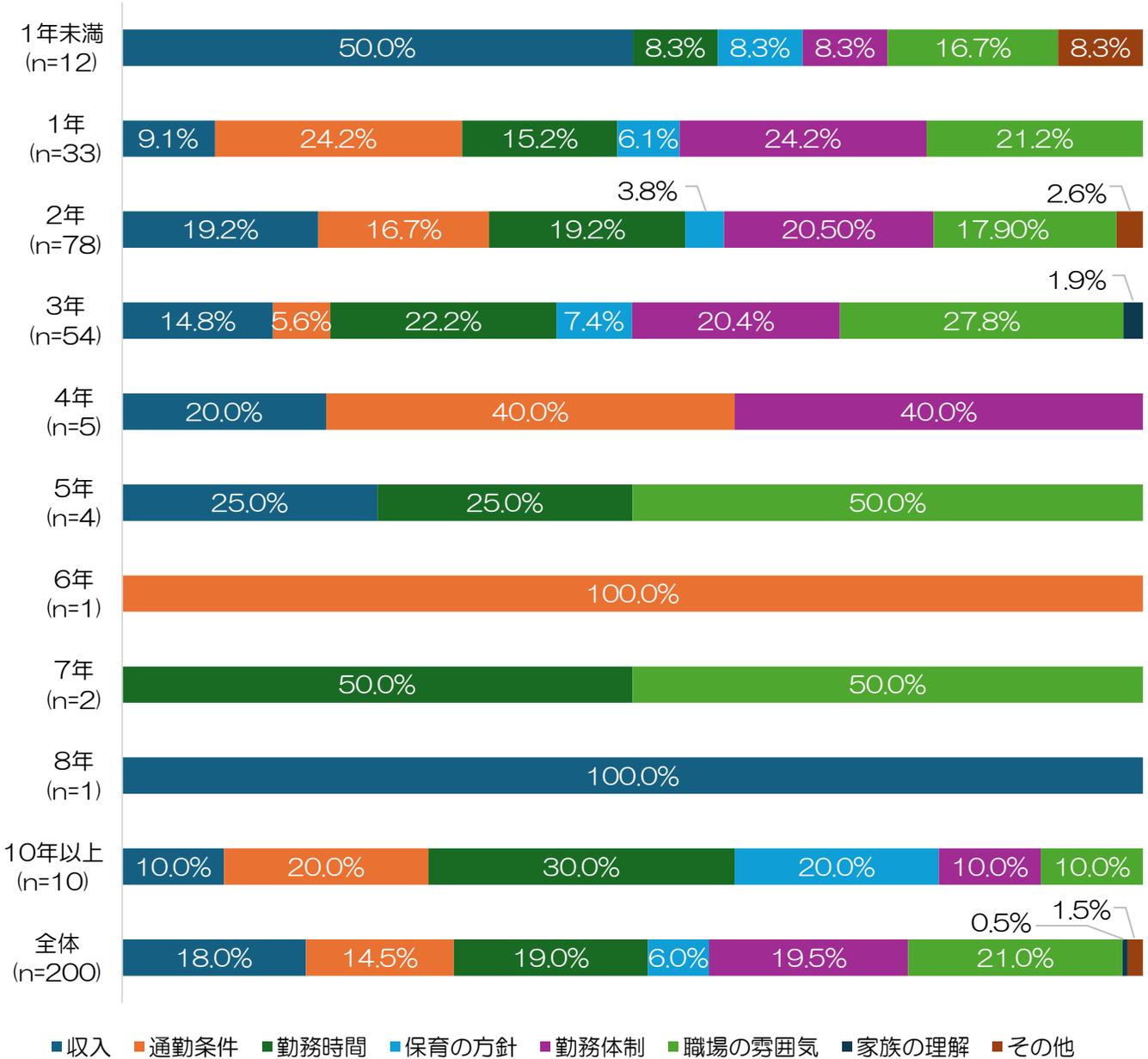


- 条件に合うところがあればやってみたいと思う
- 条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う
- 子育て、介護などが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う
- 保育士として仕事することは当面考えられないと思う
- 保育士としての仕事は今後することはないと思う

8. 現在保育士の仕事をしていない方のブランク期間と保育士資格を活かして働くために重視する点

現在保育士の仕事をしていない方のブランク期間別の保育士資格を活かして働くために重視する点については、「1年未満」「8年」においては「収入」、「7年」「10年以上」においては「勤務時間」、「1年」「4年」「6年」においては「通勤時間」、「1年」「4年」においては、「勤務体制」を重視する割合が高い結果となった。

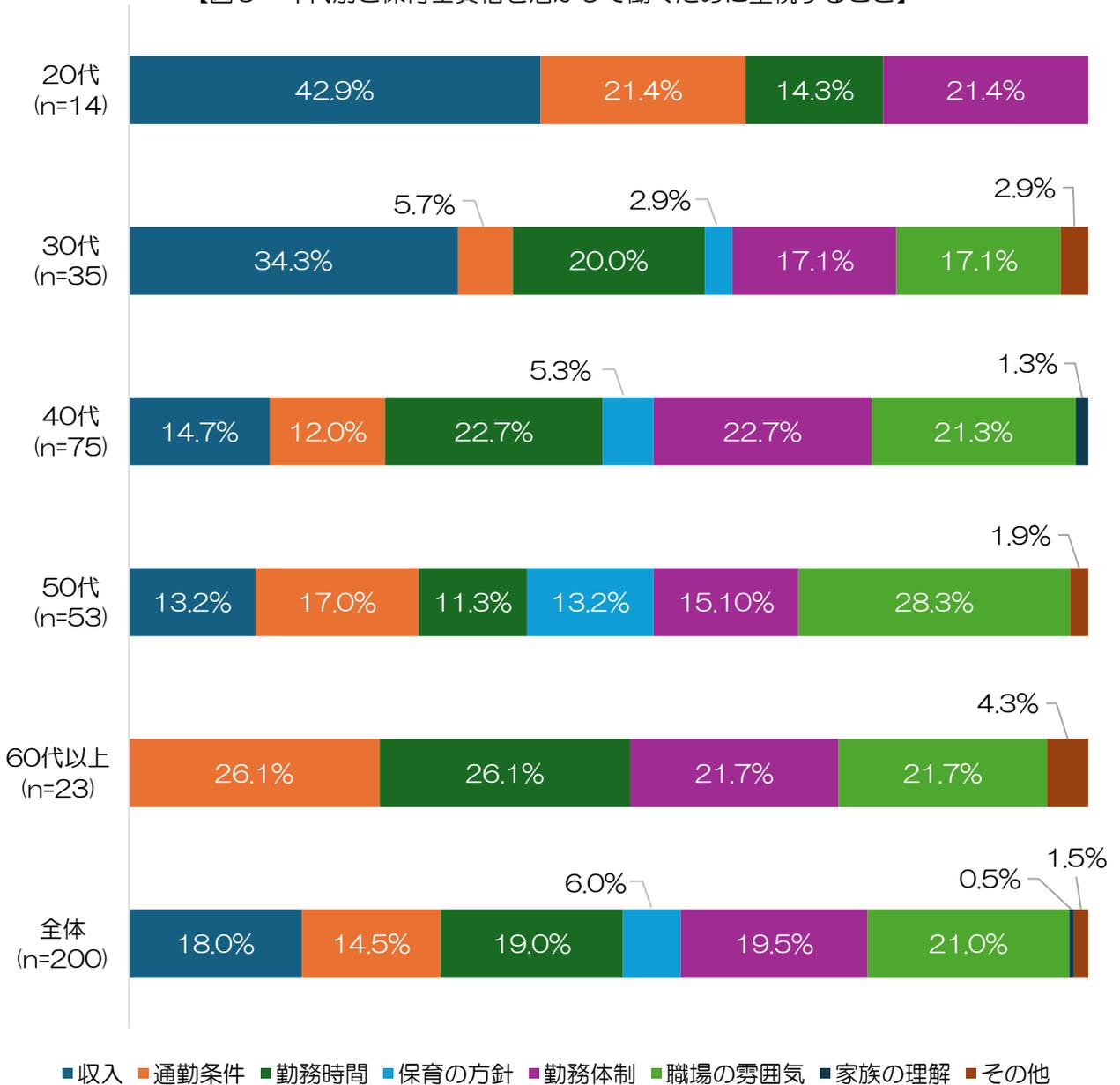
【図8 ブランク期間と保育士資格を活かして働くために重視すること】



9. 現在保育士の仕事をしていない方の年代と保育士資格を活かして働くために重視する点

現在保育士の仕事をしていない方の年代別の保育士資格を活かして働くために重視する点については、年代が上がるにつれて「収入」を重視する割合が低下している一方、「通勤条件」「勤務時間」「職場の雰囲気」等の勤務条件については重視する割合が一部上昇している傾向にある。

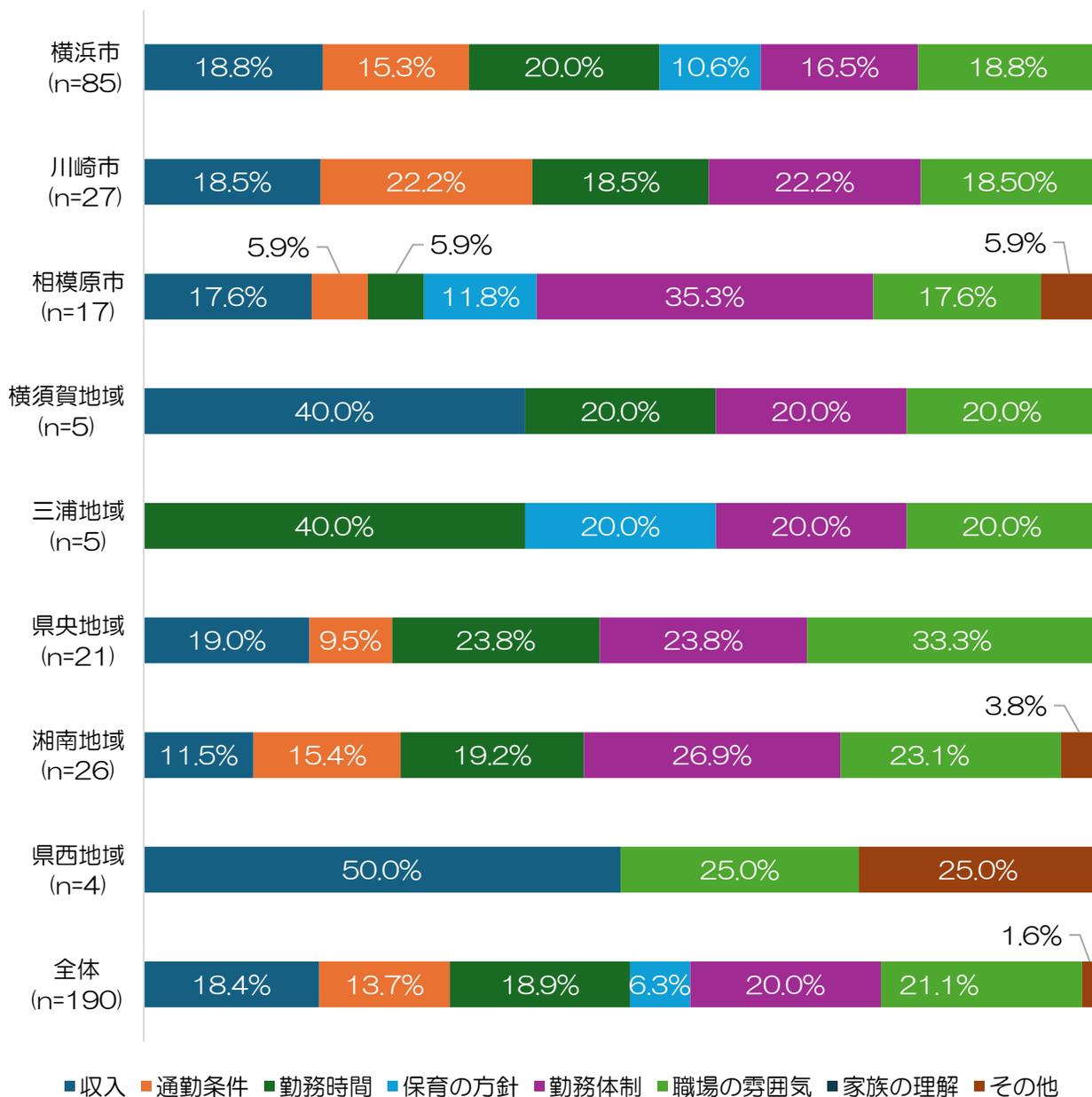
【図9 年代別と保育士資格を活かして働くために重視すること】



10.現在保育士の仕事をしていない方の県内地域と保育士資格を活かして働くために重視する点

現在保育士の仕事をしていない方の県内地域別の保育士資格を活かして働くために重視する点については、「横須賀地域」「県西地域」は「収入」を重視する割合が高く、ほかの地域は「勤務体制」「職場の雰囲気」を重視する割合が高く、「三浦地域」は「勤務時間」を重視する割合が高い結果となった。

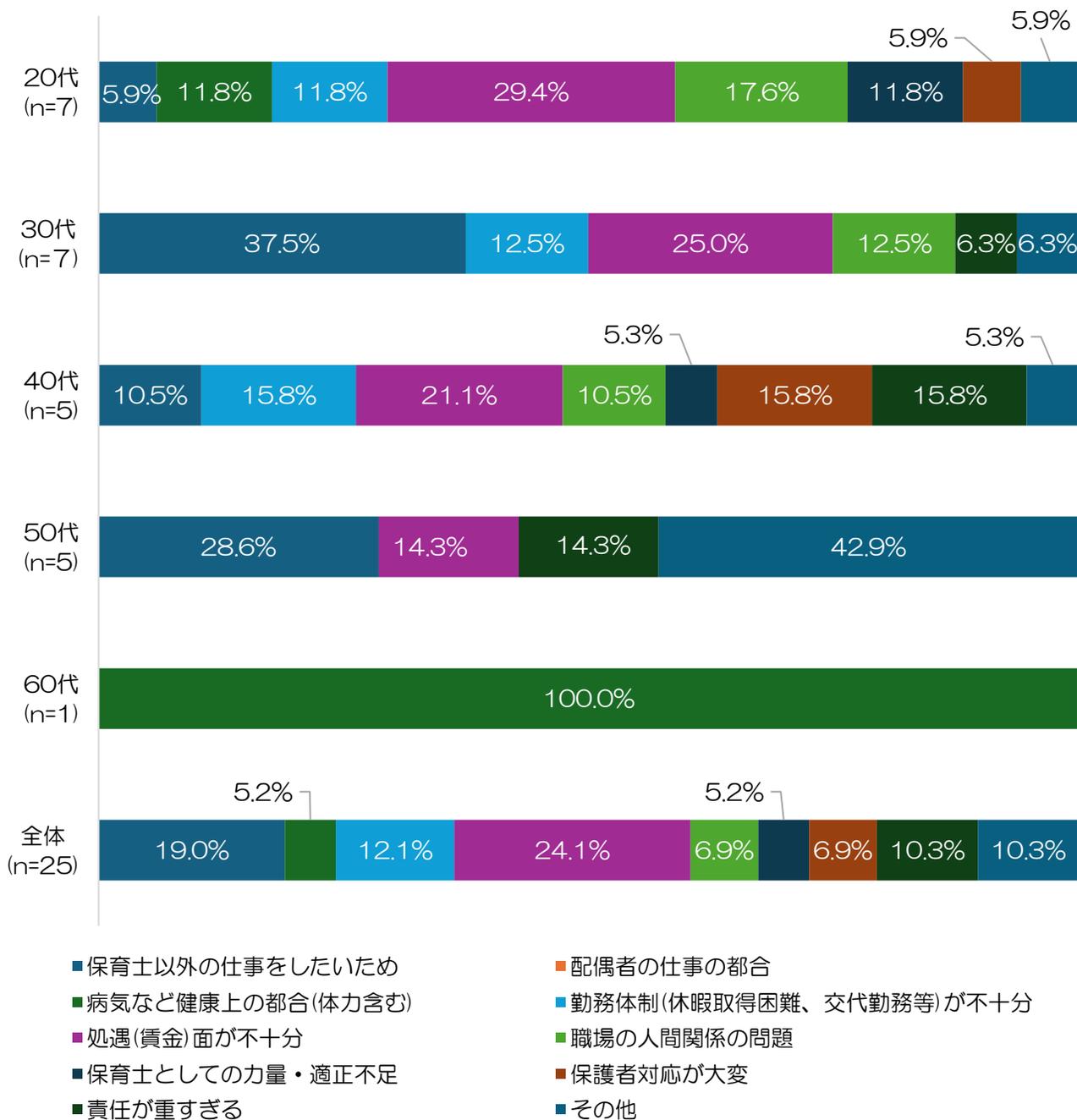
【図10 県内地域別の保育士として就業する場合の気持ち】



11.現在保育士の仕事をしていない方の年代と今後保育士として就業しない理由

現在保育士の仕事をしていない方の年代別の今後保育士として就業しない理由については、「30代」「50代」において「保育士以外の仕事をしたいため」と回答する割合が高い一方、「20代」「40代」においては「処遇（賃金）面は不十分」と回答する割合が高い結果となった。

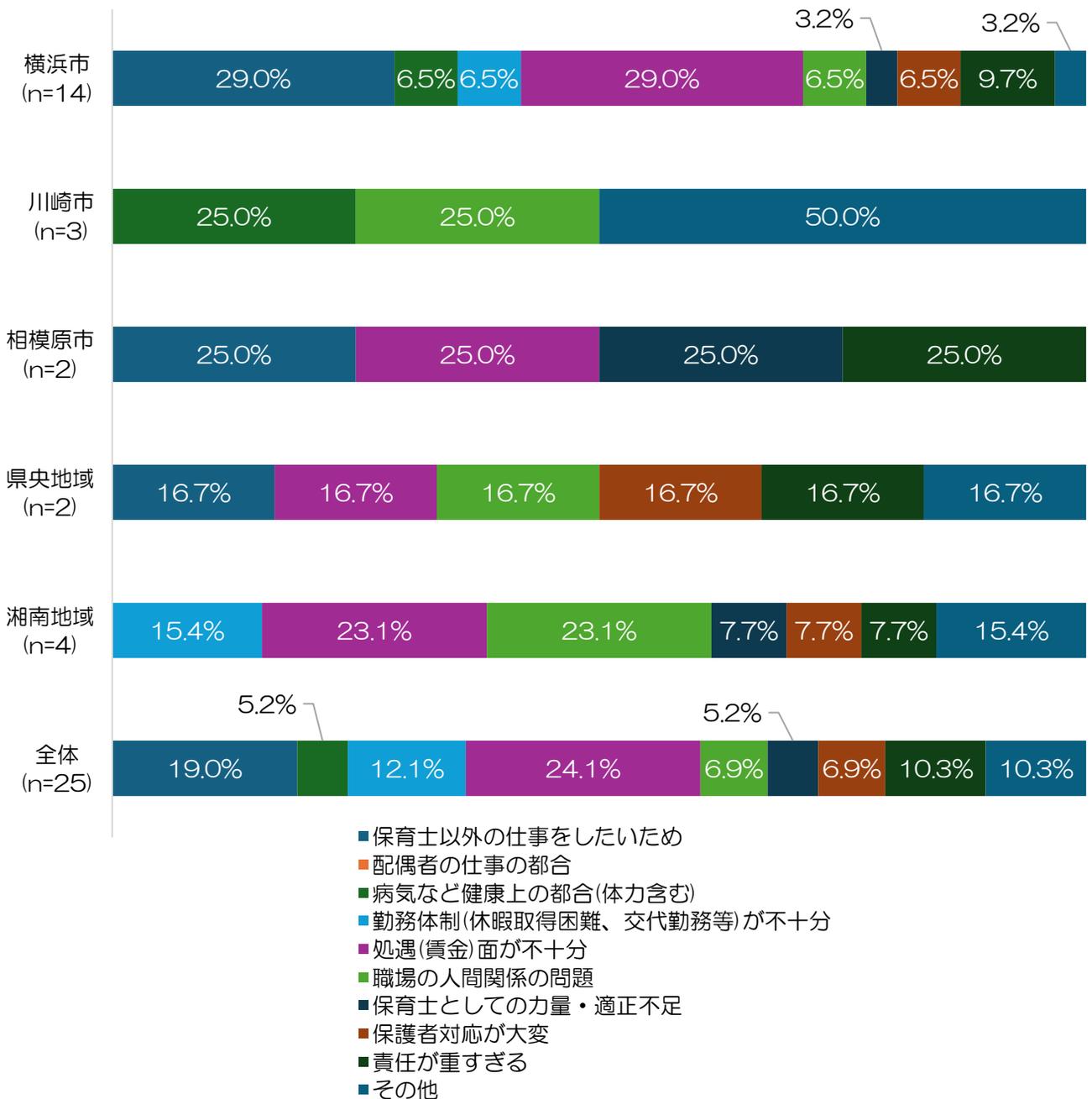
【図11 年代別の今後保育士として就業しない理由】



12.現在保育士の仕事をしていない方の県内地域と今後保育士として就業しない理由

現在保育士の仕事をしていない方の県内地域別の今後保育士として就業しない理由については、「横浜市」においては「保育士以外の仕事をしたいため」「処遇（賃金）面が不十分」の割合が多く、「川崎市」においては「病気など健康上の都合（体力含む）」「職場の人間関係の課題」の割合が多く、「相模原市」においては「保育士以外の仕事をしたいため」「処遇（賃金）面が不十分」「保育士としての力量・適正不足」「責任が重すぎる」の割合が多く、「県央地域」においては「保育士以外の仕事をしたいため」「処遇（賃金）面が不十分」「職場の人間関係の課題」「保護者対応が大変」「責任が重すぎる」の割合が多く、「湘南地域」においては「処遇（賃金）面が不十分」「職場の人間関係の課題」と回答する割合が高い結果となった。

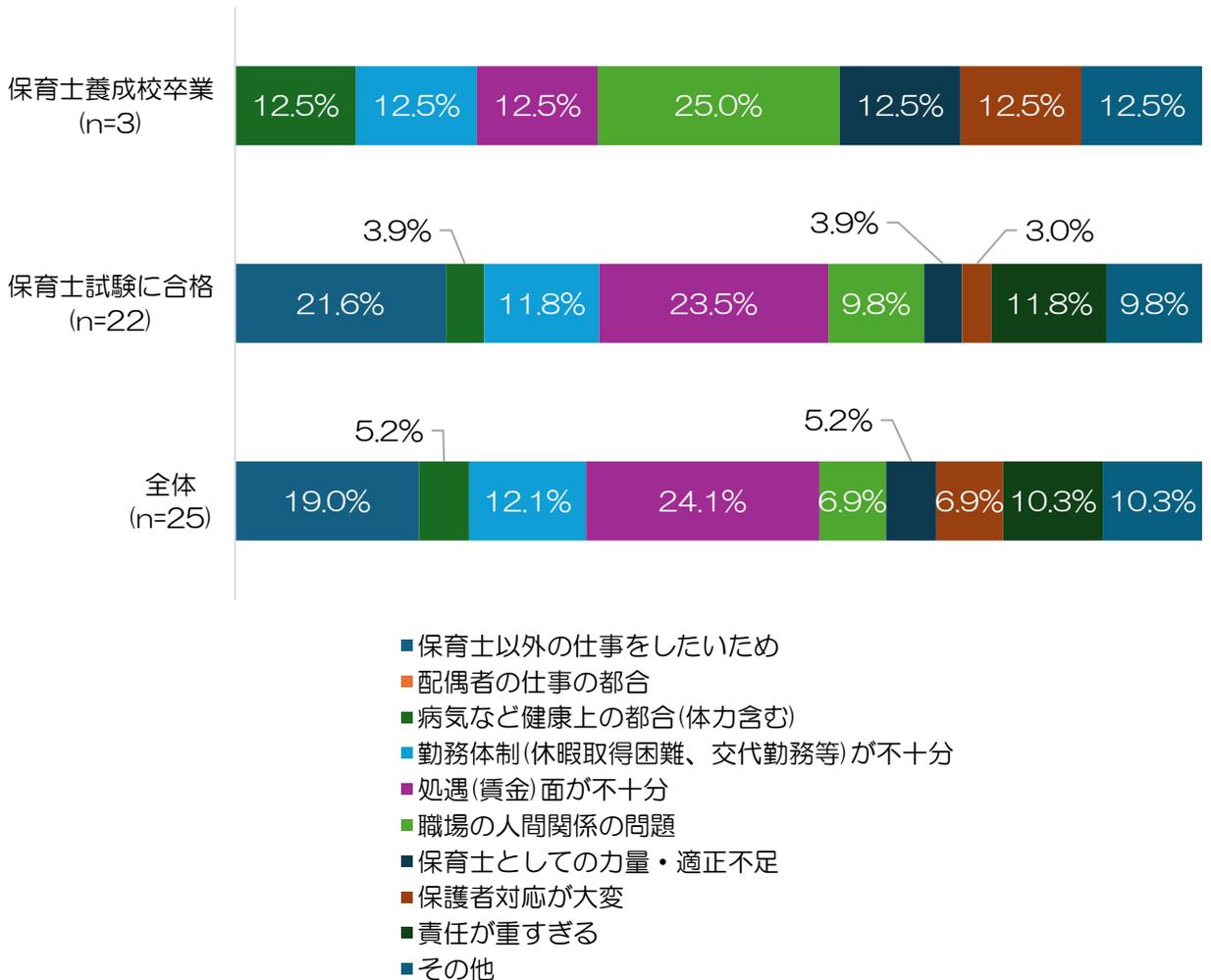
【図12 県内地域別の今後保育士として就業しない理由】



13.現在保育士の仕事をしていない方の資格取得方法と今後保育士として就業しない理由

現在保育士の仕事をしていない方の資格取得方法別の今後保育士として就業しない理由については、保育士養成校卒業者においては「職場の人間関係の問題」と回答する割合が多い一方、保育士試験合格者においては「処遇（賃金）面が不十分」と回答する割合が多い結果となった。

【図13 資格取得方法別の今後保育士として就業しない理由】



令和7年度神奈川県保育士登録者アンケート

令和7年度神奈川県保育士登録者アンケート

10分程度で回答可能ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

保育士資格を有する方の現在の就労状況や、保育現場で働くことに関するお考えをお答えいただくことで、今後の県の取組みに活かしていきたいと考えています。

また、保育所等で体験・実習ができる「潜在保育士向け復職支援研修事業」を実施しています。ご関心のある方は、調査回答後、特設ページ(<https://www.pref.kanagawa.jp/osiras/e/1386/kanagawa-kidssmile/index.html>)をご確認のうえお申込みください。

令和7年8月1日時点の状況をご記入ください。

性別 **必須**

男性

女性

選択解除

年齢 **必須**

現在の年齢を年代別でご入力ください。

選択してください

現在のお住まい(在住市町村名) **必須**

選択してください

保育士資格の取得方法としてあてはまるものを選択してください。 **必須**

保育士養成校を卒業

保育士試験に合格

選択解除

保育士資格を取得された理由について、主なものに3つまでチェックを付けてください。

必須

子どもと接することが好きだから

保育の仕事に興味があったから

あこがれの職業だったから

学校や塾などの先生に勧められたから

親や家族に勧められたから

自分の子育てに役立つと思ったから

- 就職に困らないと思ったから
- 資格がとりやすそうだったから
- その他（30字以内で具体的に記入ください）

幼稚園教諭免許をお持ちか伺います。 必須

あなたの現在の就業状況（自営・パートを含む）をお答えください。 必須

※現在、休職中の方（産休・育休含む）は、「働いている」としてお答えください。

- 現在、保育士として働いている
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
- 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない

選択解除

現在の保育士としての就職状況と施設所在地について伺います。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 保育士として神奈川県内に就職している ※以下に施設が所在する市町村名（神奈川県内）をご入力ください

- 保育士として神奈川県外で就職している ※以下に施設が所在する都道府県名をご入力ください

選択解除

就職施設種別に1つチェックを入れてください。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

保育士として（県内・県外問わず）就職していると回答した方については、こちらの質問へのご回答もお願いします。

- 保育所
- 認定こども園
- 障害児関連施設
- 児童福祉施設（保育所、認定こども園、障害児関連施設を除く）
- 小規模保育事業所
- 家庭的保育事業所
- 事業所内保育事業所
- 居宅訪問型保育事業所
- 幼稚園
- 学童保育・学童クラブ等
- 横浜保育室など自治体の補助対象となっている認可外保育施設
- 認可外保育施設（企業主導型）

上記以外の認可外保育施設（30字以内で記入してください）

その他（30字以内で記入してください）

選択解除

雇用形態 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください



現在の保育所へ就職した際の就職活動方法について、あてはまるものをチェックしてください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

複数回答可

- 学校の求人票・紹介
- ハローワークの求人
- かながわ保育士・保育所支援センターの紹介
- 友人等の紹介
- 就職フェア・面接会
- 求人サイト
- 就職相談誌
- 職業紹介会社への登録
- 人材派遣会社への登録
- 上記以外の方法

保育の仕事のやりがいや魅力について、あてはまるものを選択してください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

（複数チェック可）

- 子どもの成長を支えているという実感
- 子どもとのふれあいの楽しさ
- 障害のある子どもの育ちを導くことができる
- 福祉を必要としている子どもや親を支援できる
- 保護者からの感謝
- その他（100字以内で具体的に記入ください）

中途退職の経験はありますか。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

有（以下に回数を数字で入力）

無

選択解除

中途退職の理由について、あてはまるものを選択してください。(最大3つ)

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 結婚のため
- 妊娠・出産のため
- 育児のため
- 介護のため
- 配偶者の転勤のため
- 病気など健康上の理由（感染症リスク含む）
- 勤務体制（休暇取得困難・交代勤務等）の不满
- 処遇（賃金等）面の不满
- 自分の思う保育ができないなど保育への不满
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- バワハラ
- 保護者対応の苦慮
- その他（100字以内で具体的にご記入ください）

次の項目のうち、現在の職場に対してあなたが改善してほしいと思っていることを選択してください。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

（複数チェック可）

- 事務・雑務（感染症対策含む）の軽減
- 職員数の増員
- 園(など)の理念や運営方針
- 勤務シフトの改善
- ハラスメントへの対応方針
- 職員間のコミュニケーション
- 相談体制の充実
- 未消化(有給等)休暇の改善
- 権限範囲の拡大
- 研修機会の充実
- 給与・賞与等の改善
- 責任範囲の縮小
- 雇用の安定化(正社員登用)
- 評価制度の見直し
- デジタル化・ICT化の推進
- 感染症防止対策の強化
- その他（100字以内で具体的にご記入ください）

- 特になし

あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

(複数チェック可)

- 保育実技
- 保育所保育指針
- 保護者との対応の仕方
- 救命救急
- 食に関する指導
- 同僚とのコミュニケーション
- 安全管理
- 特別な支援を必要とする子どもへの接し方
- パソコン等デジタル機器の操作
- 衛生管理・感染症対策
- 幼稚園教諭免許取得のための学習
- 保育計画の作り方、記録の方法
- 発達心理学
- 地域の子育て支援
- 仕事と家庭の両立支援
- キャリアプラン研修
- その他（100字以内で具体的にご記入ください）

- 特に習得したいと思うことはない

保育士として就職していない理由を選択してください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 保育士として神奈川県内で就職活動中
- 保育士として神奈川県外で就職活動中
- 保育士としてすぐに働くつもりがないため
- 保育士資格を活かして他職種で勤務しているため
- その他（30字以内で具体的にご記入ください）

選択解除

保育士として仕事をしていない期間は何年くらい伺います。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

保育士としての仕事経験がある方は辞めてからの期間、経験がない方は資格取得後の期間を半角数字でご記入ください。

約 年

保育士としての仕事を辞めた理由としてあてはまるものを選択してください（最大3つ）。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 結婚のため

- 妊娠・出産のため
- 育児のため
- 介護のため
- 配偶者の転勤のため
- 病気など健康上の理由（感染症リスク含む）
- 勤務体制（休暇取得困難・交代勤務等）の不满
- 処遇（賃金等）面の不满
- 自分の思う保育ができないなど保育への不满
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- バワハラ
- 保護者対応の苦慮
- その他（100字以内で具体的に記入ください）

今後、保育士として仕事をするとしたら、どのような点が特に不安に思われますか？

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(2) 家事との両立 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(3) 育児との両立 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(4) 介護との両立 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(5) 家族の理解 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(6) 収入 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(7) 勤務時間 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください ▼

(8) 仕事の負担 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください

(9) 体力の低下 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください

(10) 保育の職場での人間関係 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください

(11) 園児の保護者の対応 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください

(12) その他、不安なことがあればご記入ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

(具体的にお願います)

神奈川県内で保育士として仕事をする事について、今どのようにお考えか一つ選んでください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください

保育所等へ就職する際の就職活動方法について、あてはまるものをチェックしてください。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

複数回答可

- 学校の求人票・紹介
- ハローワークの求人
- かながわ保育士・保育所支援センターの紹介
- 友人等の紹介
- 就職フェア・面接会
- 求人サイト
- 就職相談誌
- 職業紹介会社への登録
- 人材派遣会社への登録
- 上記以外の方法

保育士資格を活かして働くためにもっとも重視する点は何か、あてはまるものを選択ください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 収入
- 通勤条件（自宅からの距離など）
- 勤務時間
- 保育の方針

- 勤務体制（職員数・休みが取りやすい等）
- 職場の雰囲気
- 家族の理解
- その他（30字以内で具体的に記入ください）

選択解除

保育士として仕事をする場合の条件について伺います。

(1) 勤務形態について **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

フルタイム（正職員）で勤務する場合、年収の条件を半角数字でご入力ください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

年収 万円以上

非常勤・パートタイムで勤務する場合、時給の条件を半角数字でご入力ください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

時給 円以上

非常勤・パートタイムで勤務する場合、1日の勤務時間の条件を半角数字でご入力ください。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1日 時間程度

非常勤・パートタイムで勤務する場合、週に勤務可能な日数の条件を半角数字でご入力ください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

週 日程度

(2) 通勤時間の条件を半角数字でご入力ください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

片道 分以内

(3) 重視する条件について、あてはまるものを選択してください。（最大3つ） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 認可園であること
- 経験を加味した賃金設定
- 扶養の範囲での収入
- 早番や遅番の免除
- 自分の子どもの保育所入所
-

- キャリアアップの可能性
- 専門性の評価
- 研修の機会
- 園の運営方針や施設長・主任などの考え方
- 上記以外

保育士として今後仕事をされない理由としてあてはまるものにチェックをつけてください。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

(複数チェック可)

- 保育士以外の仕事をしたいため
- 配偶者の仕事の都合
- 病気など健康上の理由(体力含む)
- 勤務体制(休暇取得困難・交代勤務等)が不十分
- 処遇(賃金)面が不十分
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- 保護者対応が大変
- 責任が重すぎる
- その他(100字以内で具体的にご記入ください)
-

保育・子育て支援関係の情報提供、ご案内について伺います。

神奈川県では、横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市の5県市共同で、「かながわ保育士・保育所支援センター」(<https://www.kanagawahoiku.jp/>)を開設し、保育のしごとへの就職を希望される方の相談に応じ、就職活動のお手伝いをしています。

将来的に保育の仕事をするをお考えの方につきましては、センターから各種イベントに関する情報提供・ご案内をさせていただきますので、電子メールのアドレスを是非ご登録くださいますよう、よろしくお願いいたします。

情報提供やご案内を受け取る範囲についてご記入ください。 **必須**

※回答いただいた内容は、本情報提供以外の目的で使用することはありません。

- 県・市町村・かながわ保育士・保育所支援センターからの情報提供や案内は全て可
- かながわ保育士・保育所支援センターからの情報提供や案内は全て可
- 情報提供や案内の送付は全て不可

選択解除

メールアドレスをご入力ください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

パソコン、携帯電話、スマートフォンいずれでも結構です。

メールアドレス

送付番号(5桁)をご記入ください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

ハガキの宛名の部分に記載されている番号です。

ア お名前 選択肢の結果によって入力条件が変わります

* 「ア お名前」「イ 郵便番号」「ウ 住所」については、本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある場合のみご記入ください。

氏 名

イ 郵便番号 選択肢の結果によって入力条件が変わります

郵便番号

ウ 住所 選択肢の結果によって入力条件が変わります

住所

幼稚園免許をお持ちの方のみご回答してください。

保育士資格と併せて幼稚園教諭免許をお持ちの方に対し、行政や公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会（以下「幼稚園連合会」）（※）から幼稚園・認定こども園に関する情報提供・ご案内をさせていただきたく、「幼稚園教諭データベース」にあなた様の情報を登録することの可否についてご記入ください。（※幼稚園連合会から就職相談会等の情報を提供させていただく予定です。）各種イベントに関する情報提供・ご案内をさせていただきますので、電子メールのアドレスを是非ご登録くださいますよう、よろしくお願いいたします。

情報提供やご案内を受け取る範囲についてご記入ください。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

幼稚園教諭データベースに登録すること及び幼稚園連合会にご住所・メールアドレス等の連絡先を提供することにご同意いただけますか。
※回答いただいた内容は、本情報提供以外の目的で使用することはありません。

- 同意する
 同意しない

情報提供やご案内の送付先についてご記入ください。

(1) メールアドレスをご入力ください。 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

パソコン、携帯電話、スマートフォンいずれでも結構です。

メールアドレス

(2) 送付番号（5桁）をご記入ください。 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

ハガキの宛名の部分に記載されている番号です。

ア お名前 選択肢の結果によって入力条件が変わります

* 「ア お名前」「イ 郵便番号」「ウ 住所」については、本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある場合のみご記入ください。

氏 名

イ 郵便番号 選択肢の結果によって入力条件が変わります

郵便番号

ウ 住所 選択肢の結果によって入力条件が変わります

住所

以上で調査は終了です。「申込む」ボタンで送信されます。ご協力くださいましてありがとうございます。

●● 各手続の手續内容に関するお問合せ ●●
各手続の担当課にお問い合わせください。
(お問合せ先は、各手続き申込画面の「手続き説明」を御参照ください。)

●● 電子申請システムの操作に関するお問合せ ●●
サポートの「よくあるご質問」を御確認いただき、
それでもシステム操作に係る不明点が解決しない場合は、
次のコールセンターにお問い合わせください。
【システム操作に関するお問合せ先（コールセンター）】
固定電話：0120-464-119（フリーダイヤル）
携帯電話：0570-041-001（有料）

（9：00～17：00 土日祝日及び12月29日から1月3日までを除く。）

WEBフォーム：https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/inquiryForm/inputInquiryForm_initDisplay.action（原則24時間）

FAX：06-6733-7307（原則24時間）

※FAXによるお問合せは、次の項目を必ず御記入ください。

「氏名」「連絡先」「利用環境（OS / ブラウザ）」「申請・届出先自治体名」
これらの記載がない場合、お問合せに回答できない場合があります。

※本コールセンターでは、システム操作に係るお問合せ以外には対応できません。

手續内容に係る問合せについては、各手続の所管課にお問い合わせください。

(お問合せ先は、各手続き申込画面の「手続き説明」を御参照ください。)

神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会
(e-KANAGAWA)

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0108/e-kanagawa/>